

伝染

るんです。

②

吉田戦車



かわうそのてとあしとみみーは なと〜へーちー



ヤットコ スットン、チヨイナチヨイナ

かわうそ音頭

作詞：吉田戦車

一、かわうその手と足と耳、鼻と口

ヤットコ スットン、チヨイナチヨイナ

二、かわうその毛とひげと眉、へそとしつぽ

ヤットコ スットン、チヨイナチヨイナ

三、かわうその血と骨と筋、夢と希望

ヤットコ スットン、チヨイナチヨイナ



小学館。

UTURUN-DESU, 2

©YOSHIDA, Senaya 1991

PRINTED IN JAPAN

スビリツゴーゴーマックス
伝染るんです。②

もくじ.....1

ナンバー(1).....3

ナンバー(2).....43

ナンバー(3).....81

ナンバー(4).....125

あとがき.....165

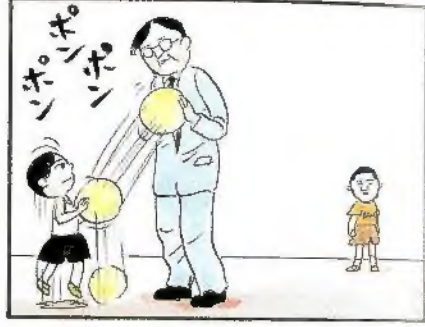
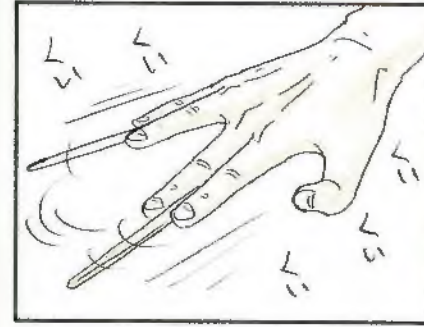
初出一覧.....166

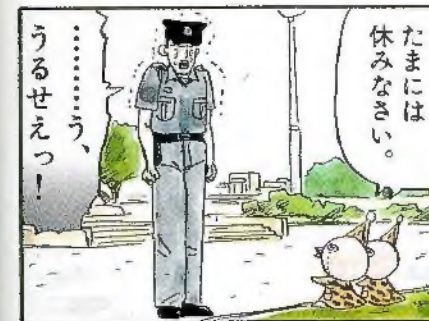
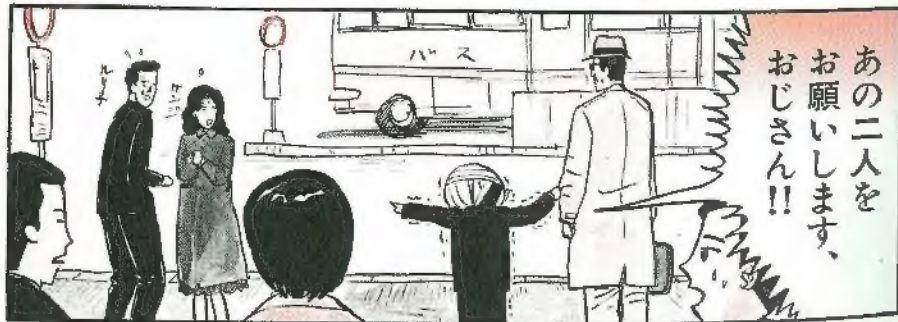
(も)

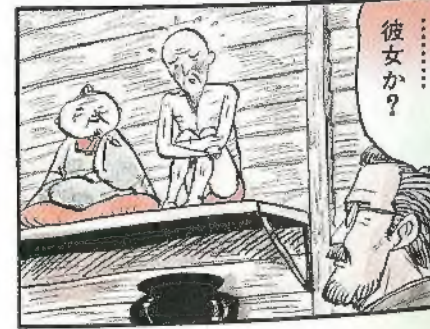
く

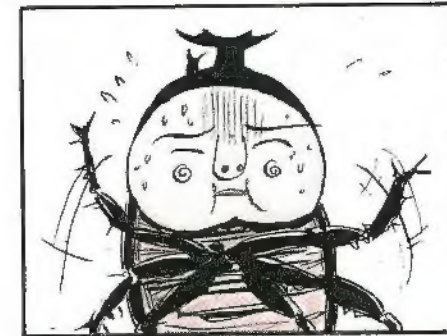
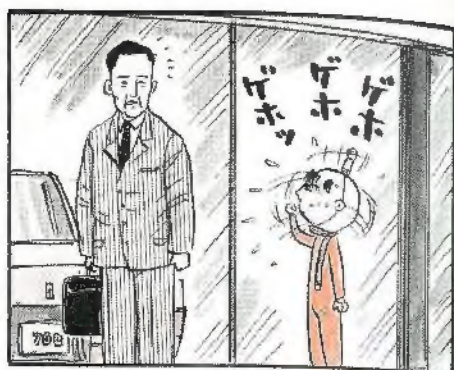
(じ)







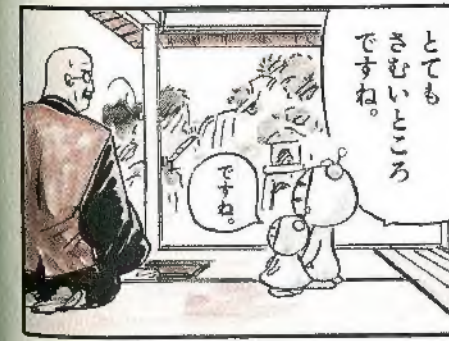


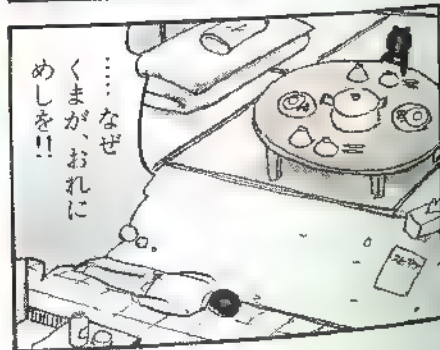
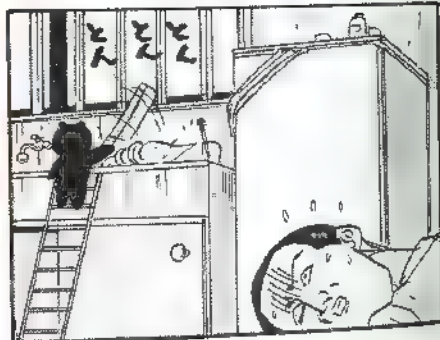
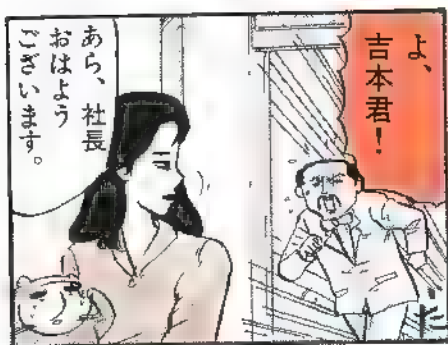
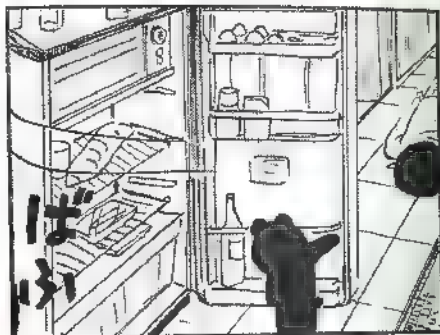
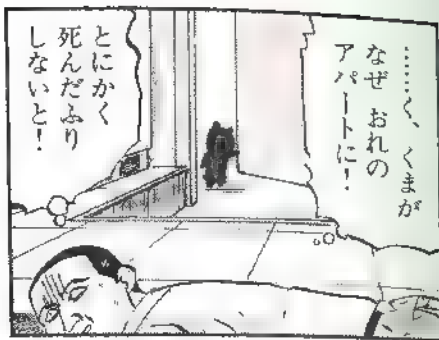
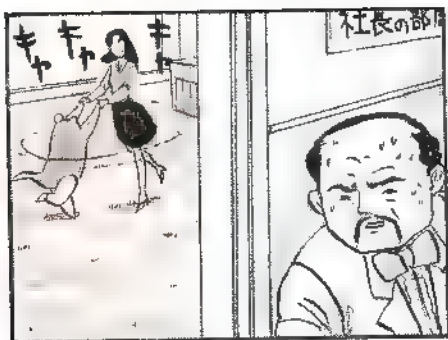




メニュー

コーヒー	350	オレンジジュース	400
紅茶	350	レモンジュース	450
ミルク	350	バインジュース	450
ココア	400	ミックスジュース	500
カフェオレ	400		
ウエイトレスのみみ	1200	リナサンド	600
ウエイターのみみ	50	ナポリタン	700
		チーズケーキ	500
		ピザソース	600
		モナブラン	500



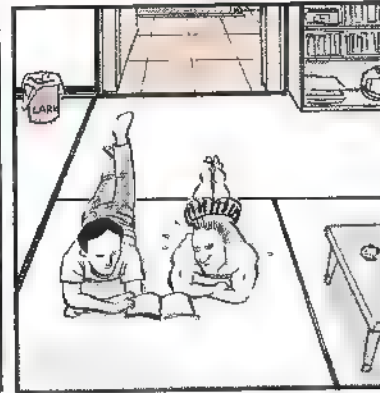
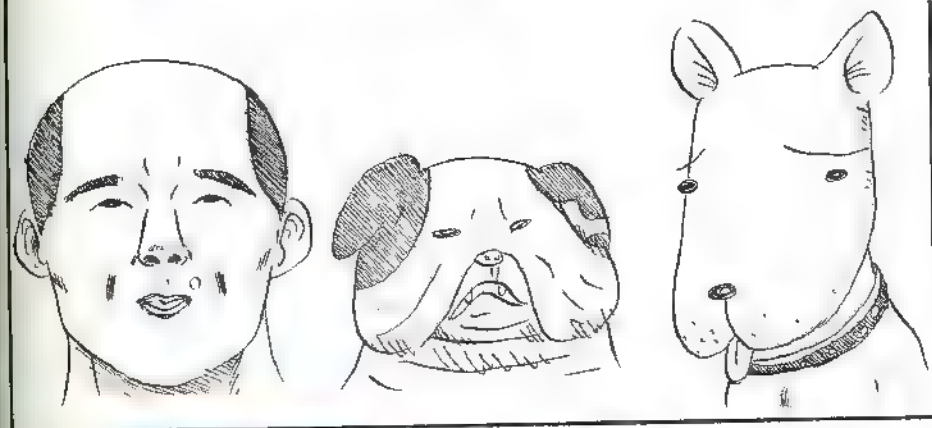


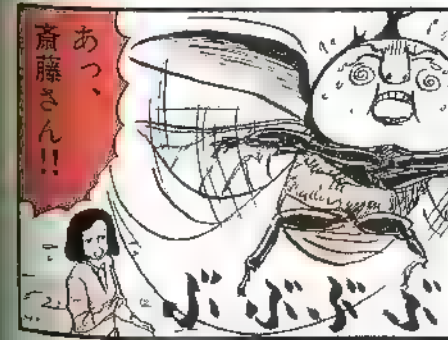
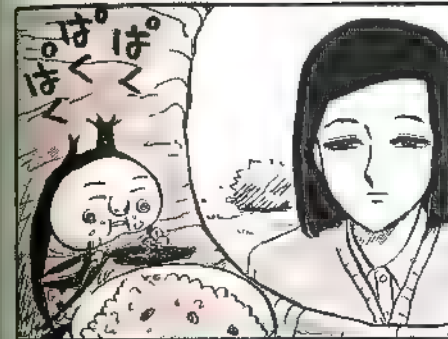
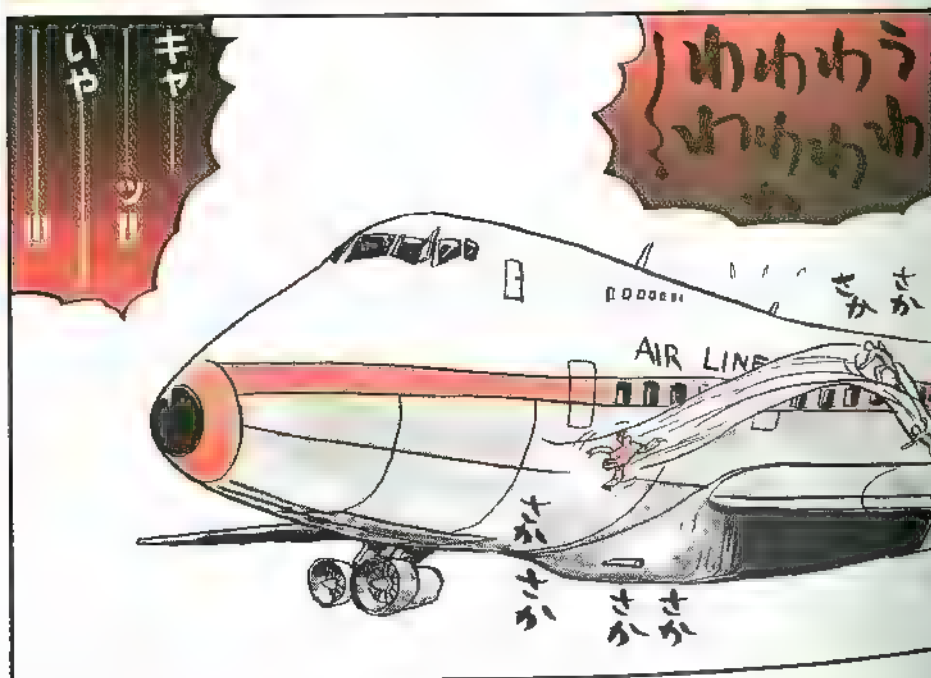
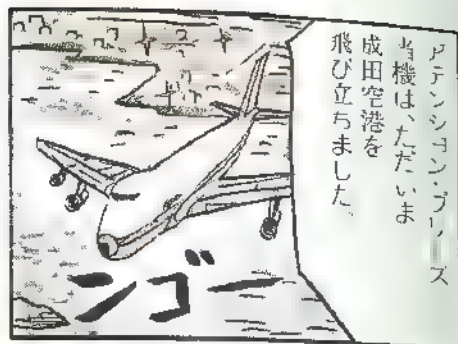
名前がボクなのを次から選べ

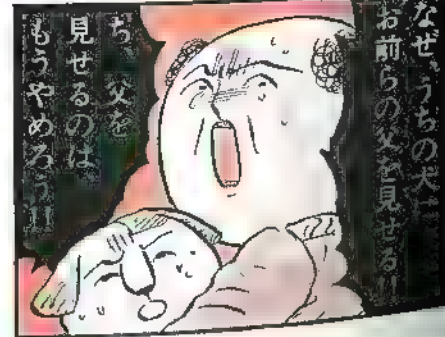
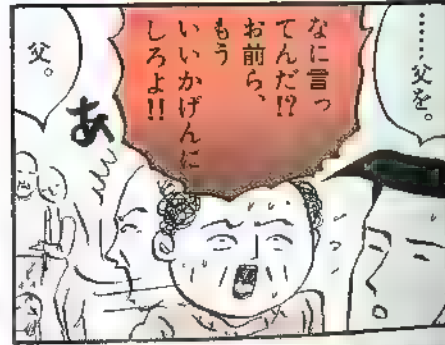
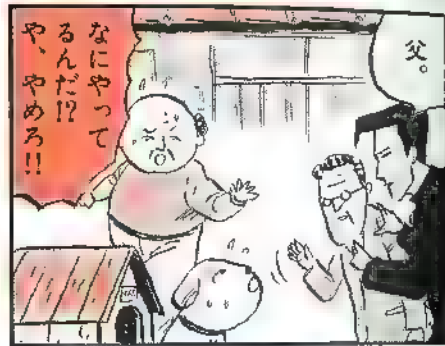
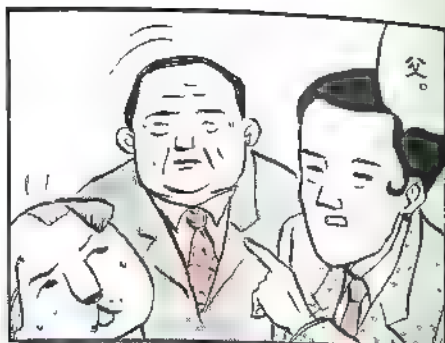
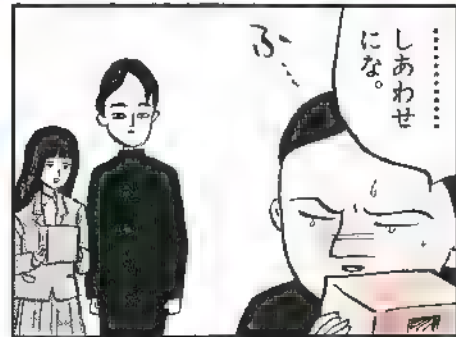
③

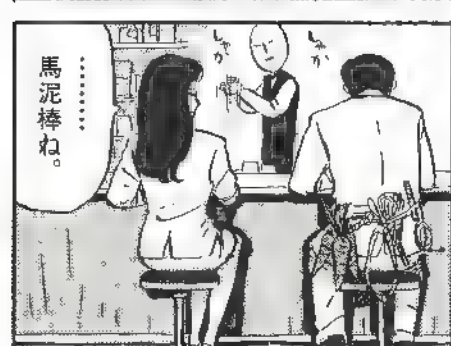
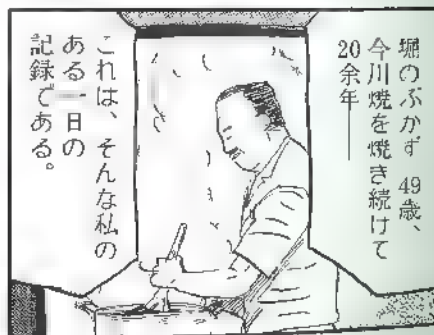
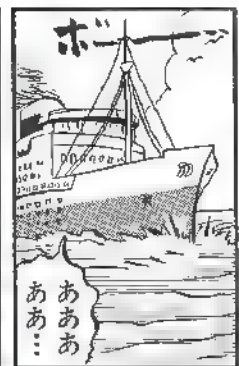
②

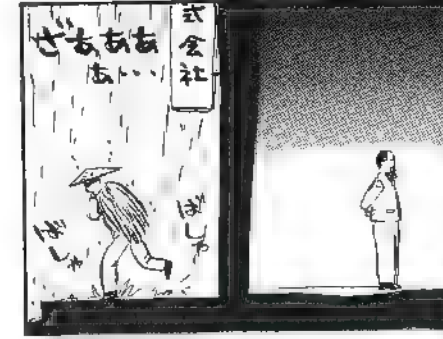
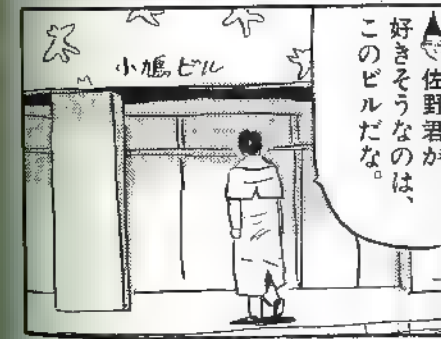
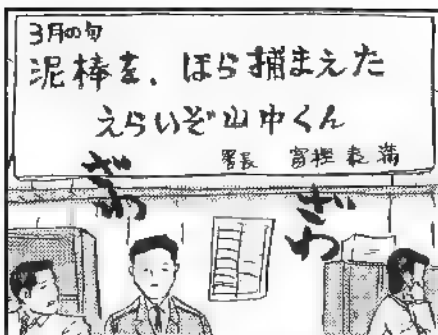
①

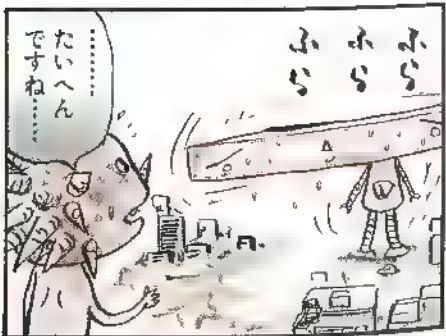
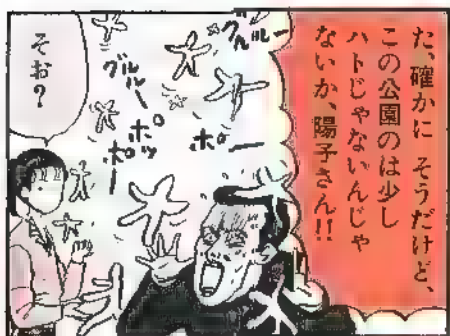
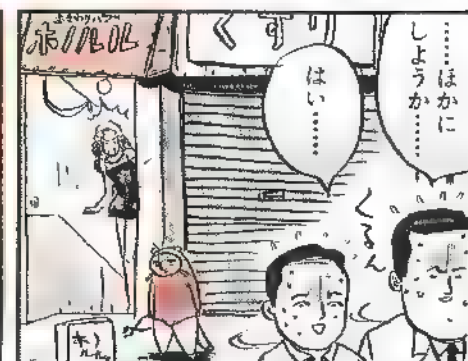
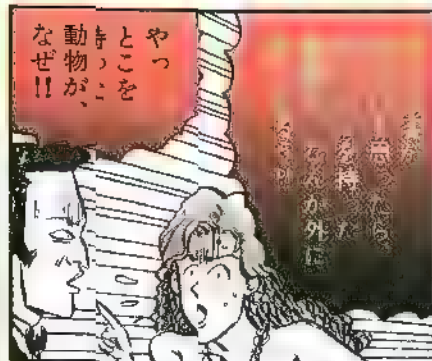
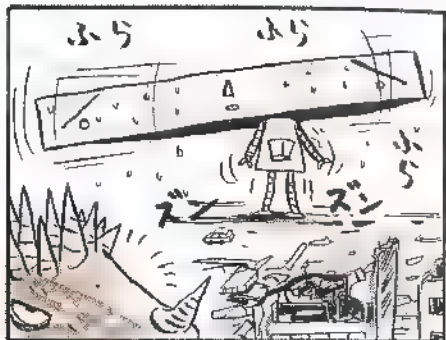
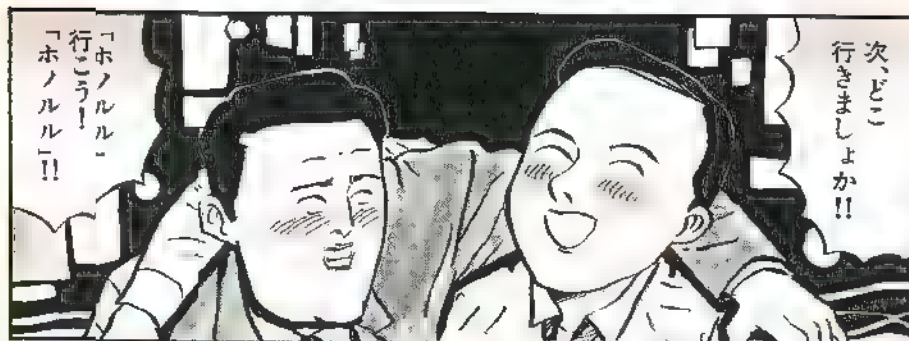
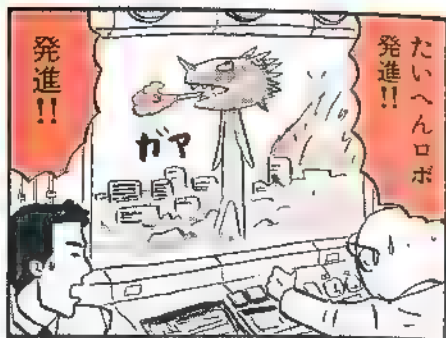


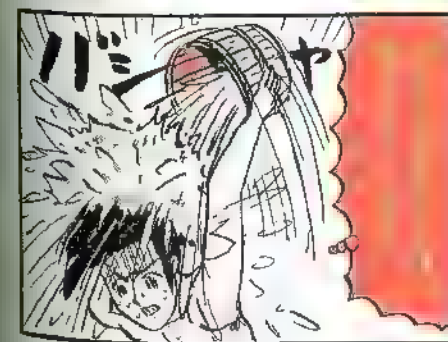
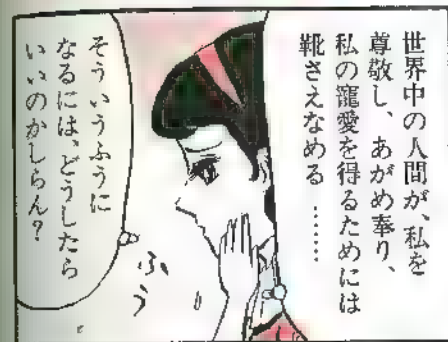
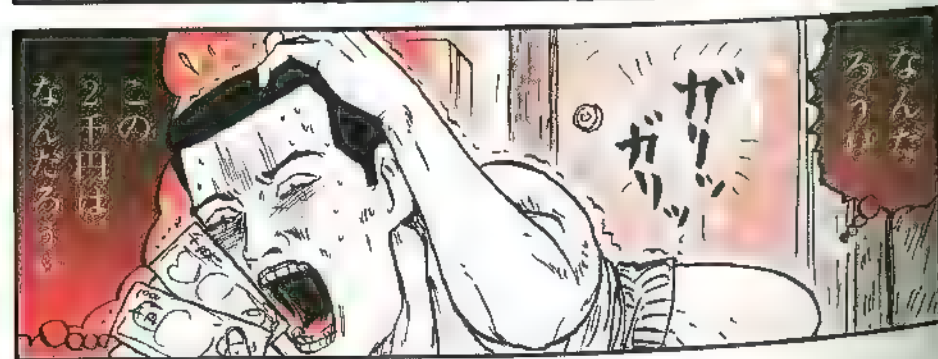
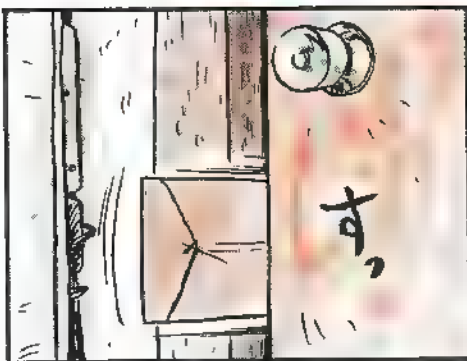


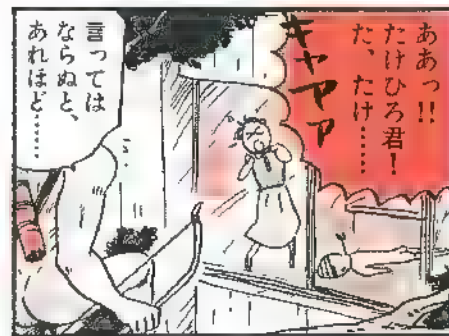
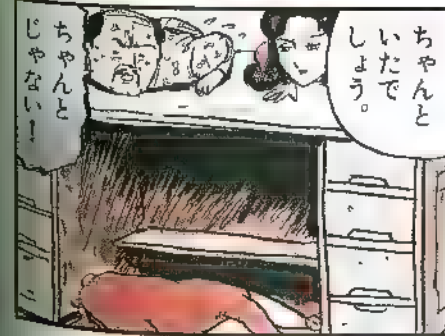
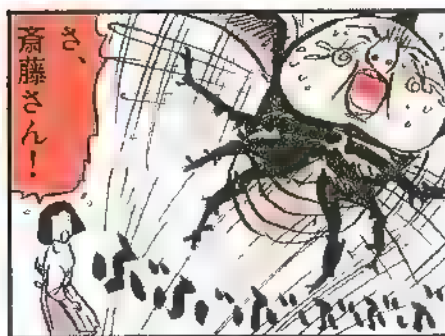
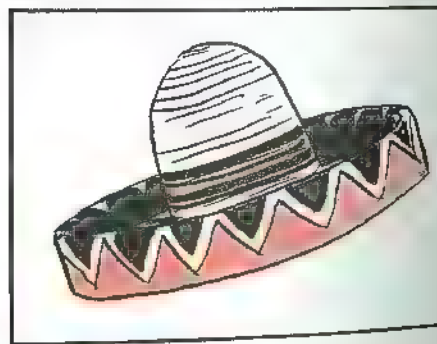
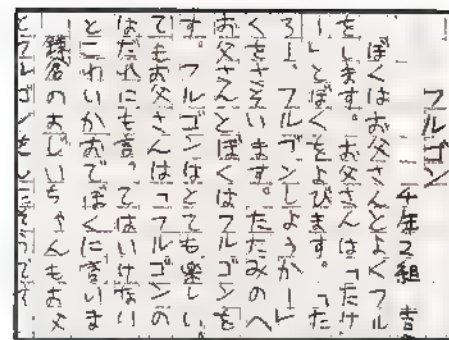






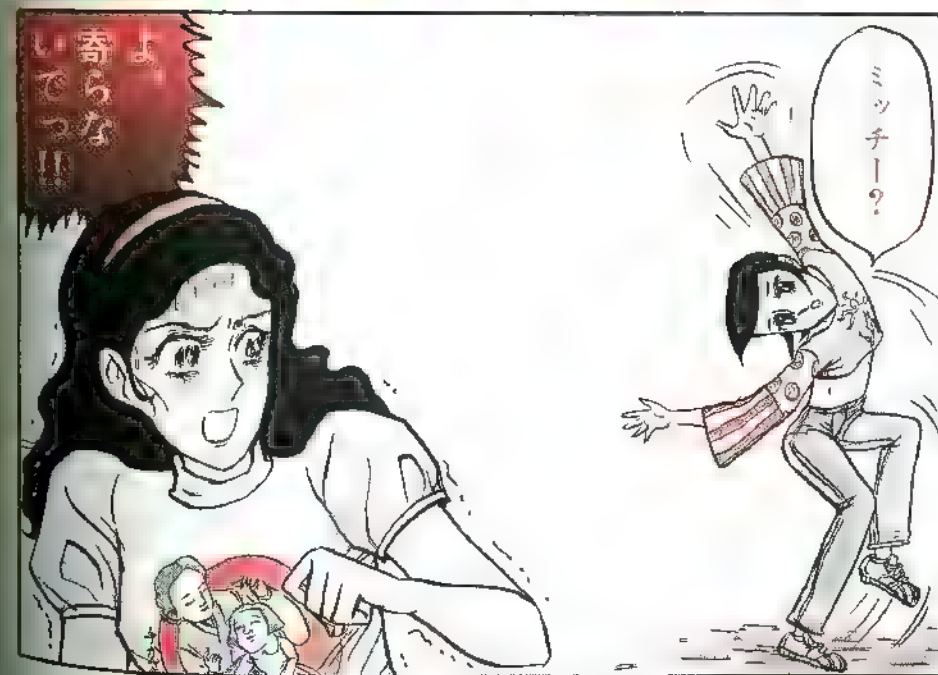
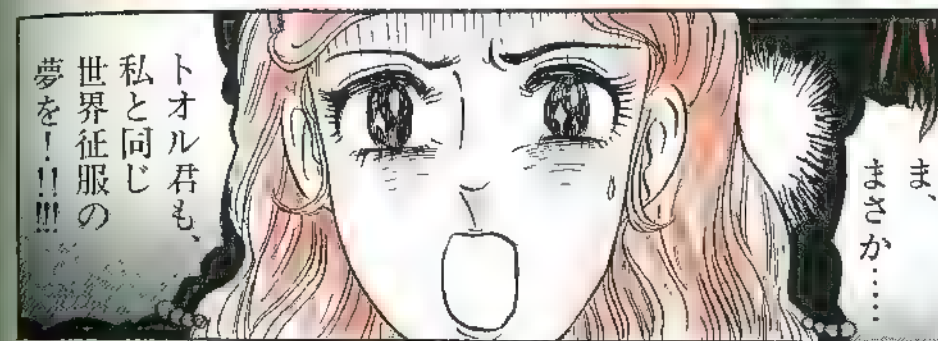
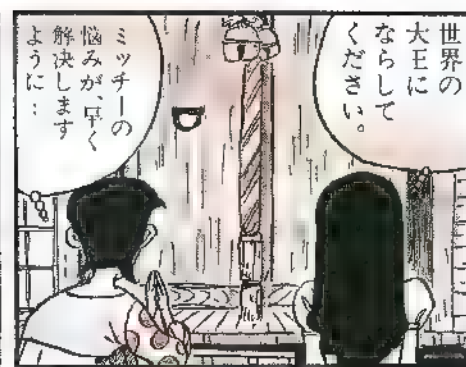
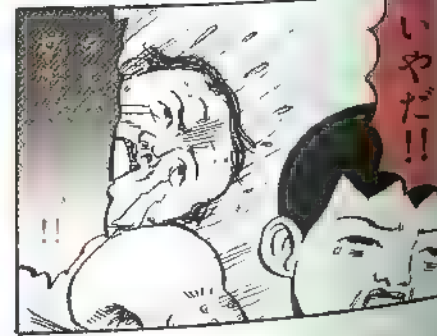
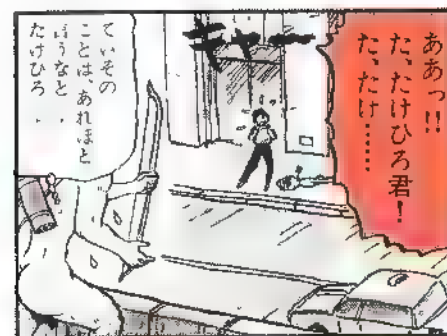


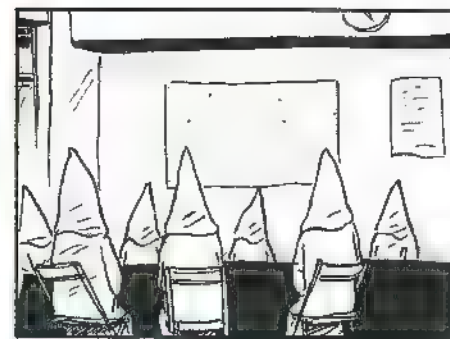
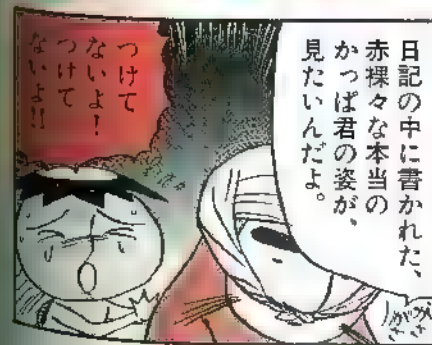
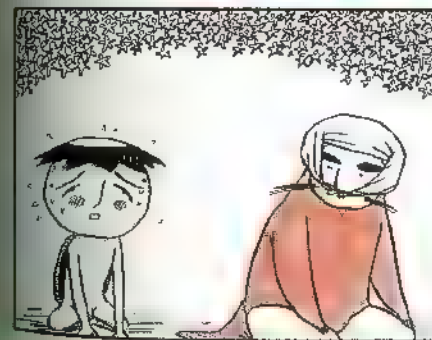
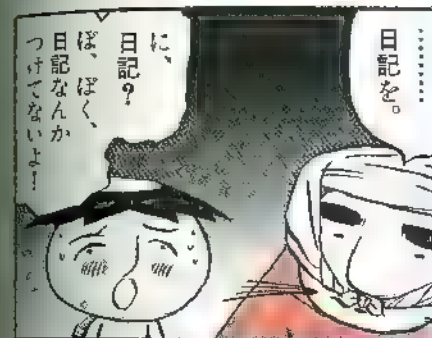
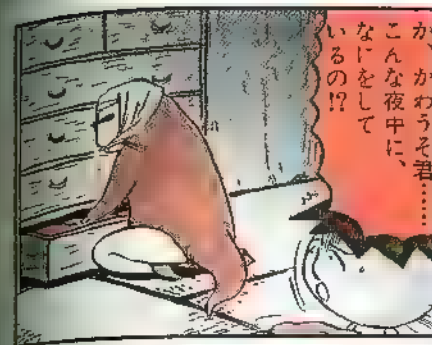
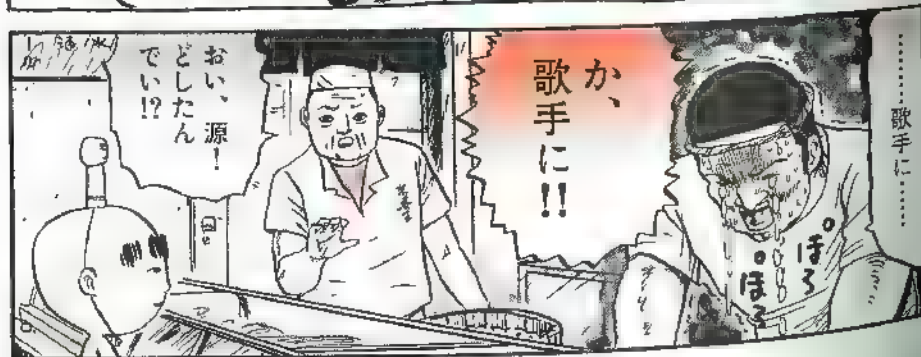


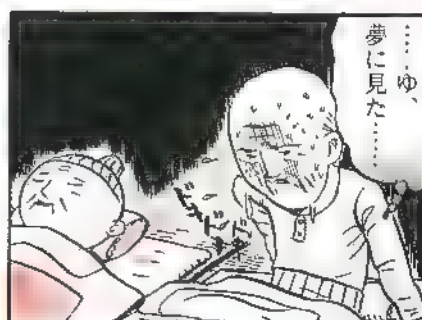
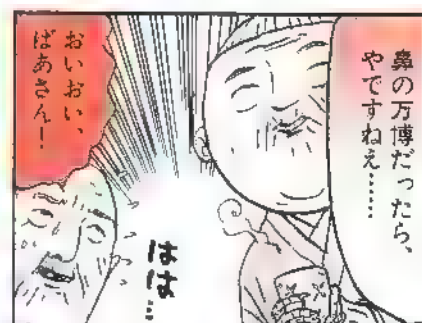
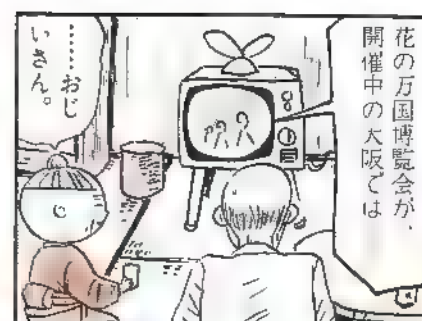
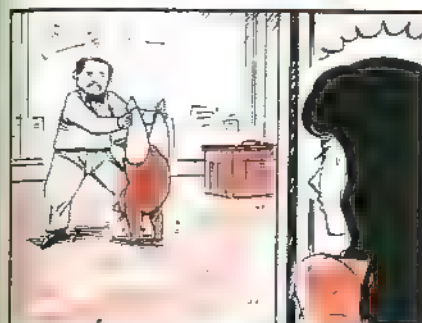
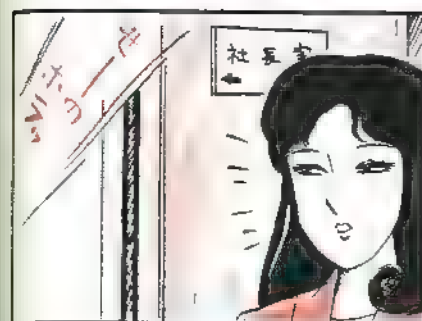
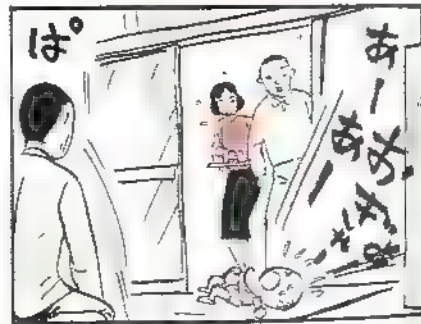
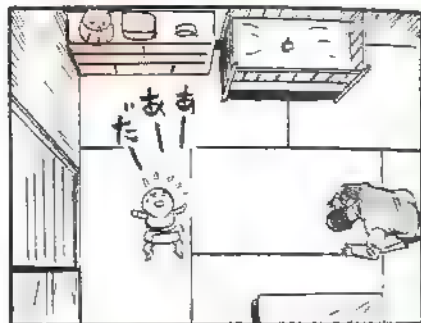
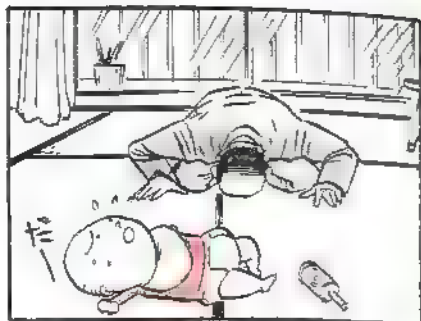
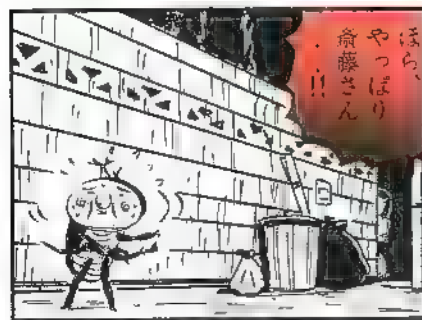
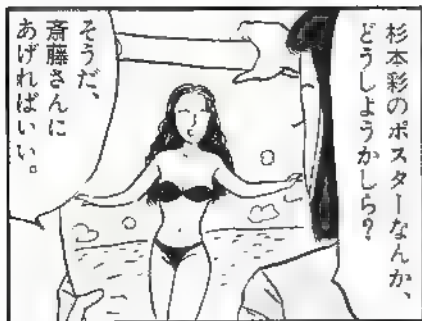


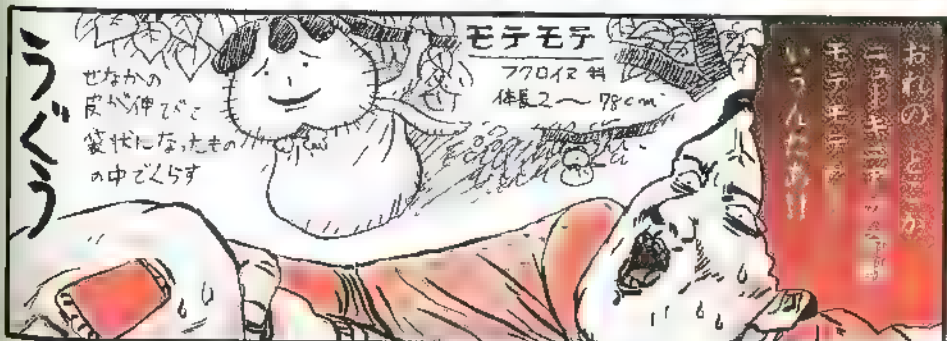
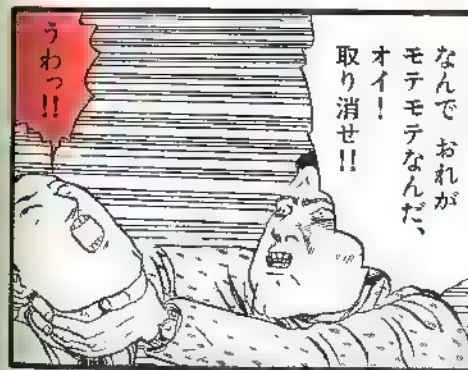
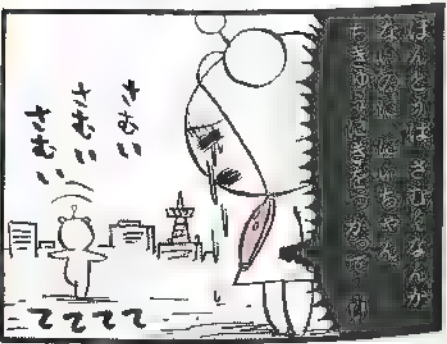
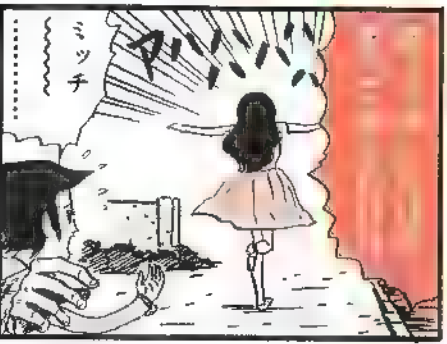
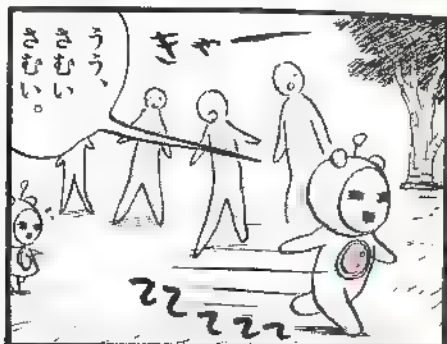
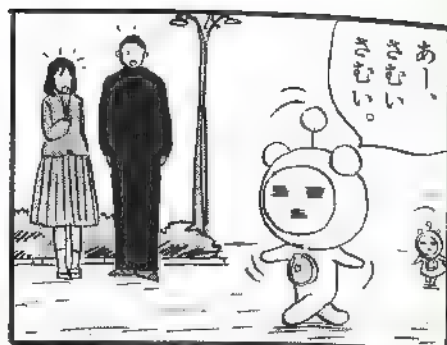


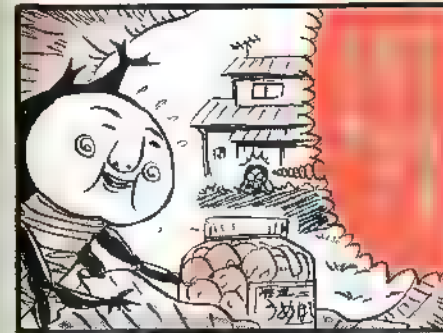
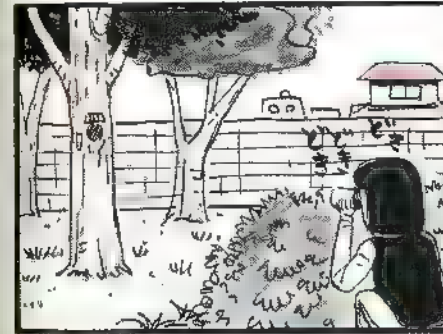
オーレ

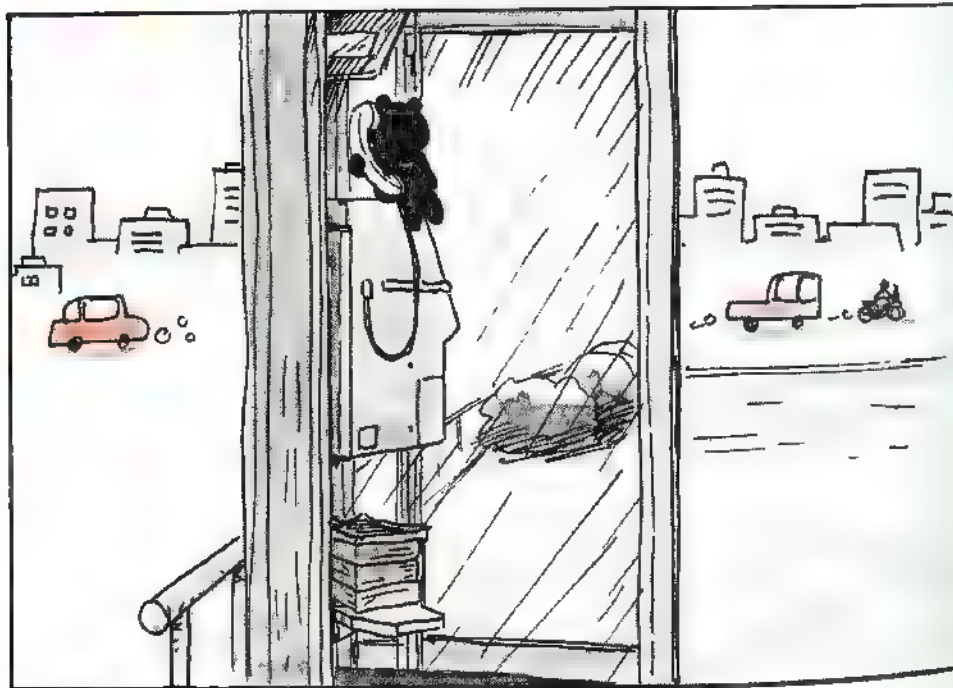


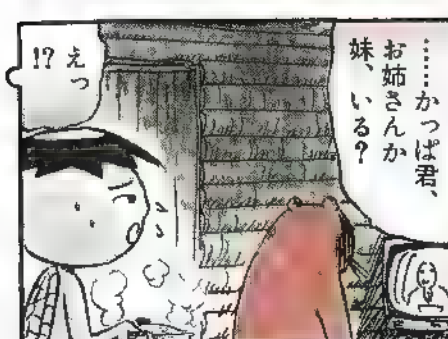
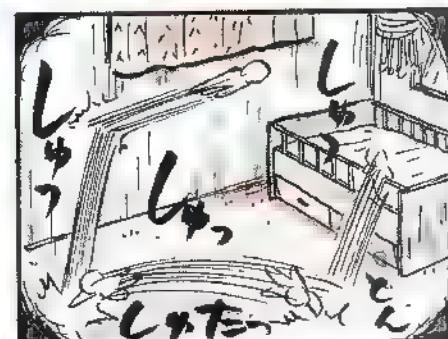
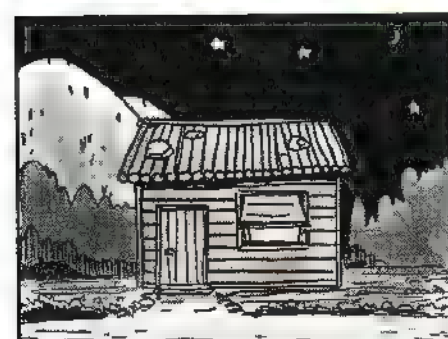
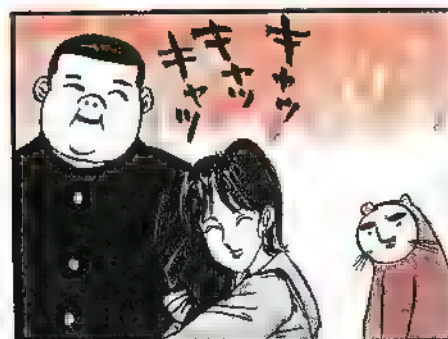


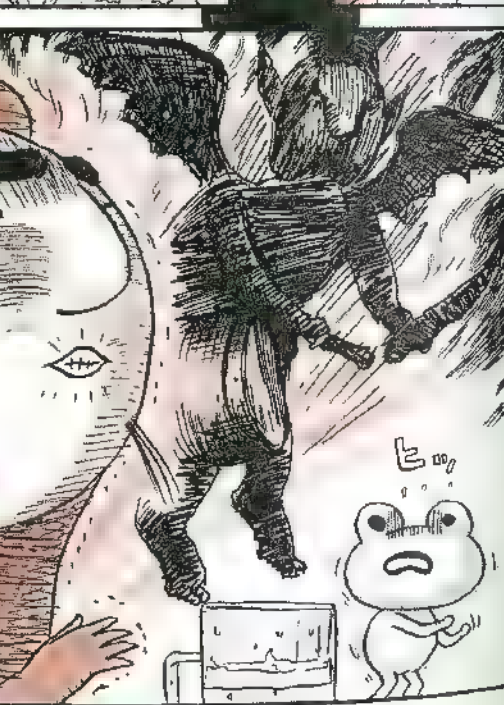
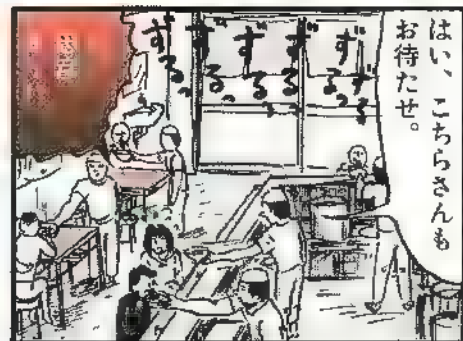


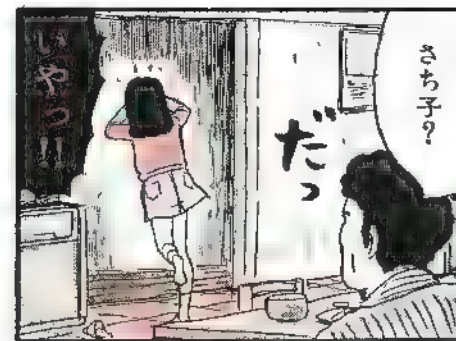
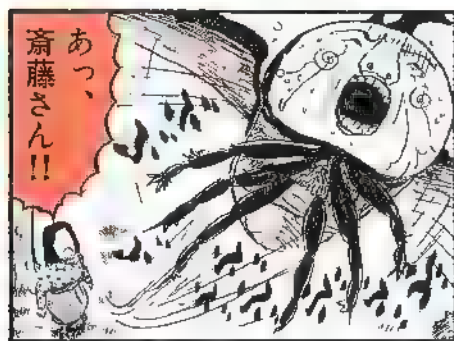
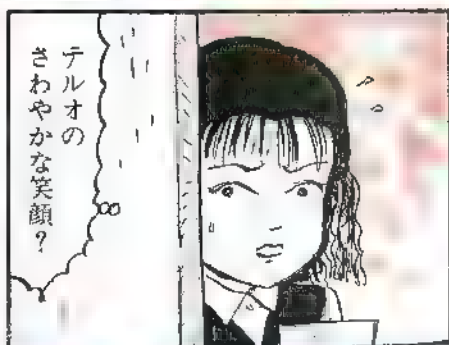
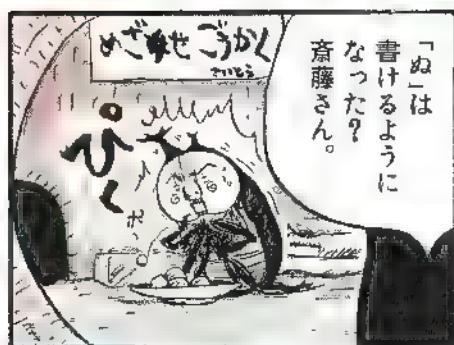
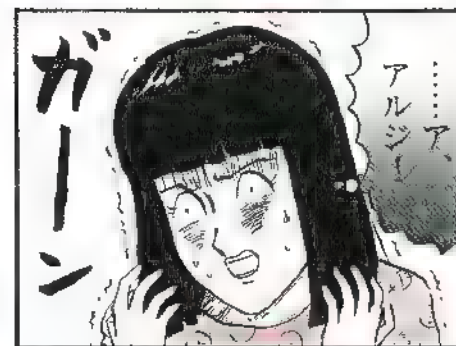
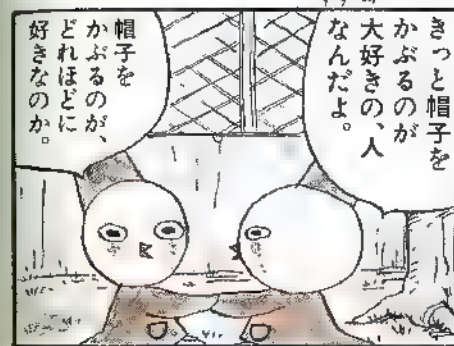
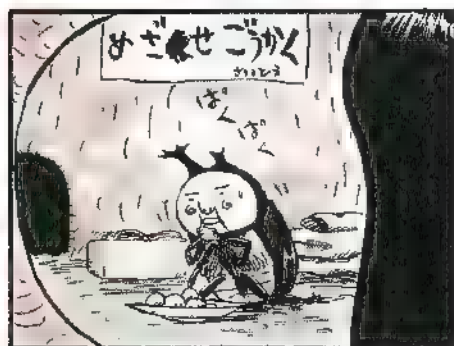
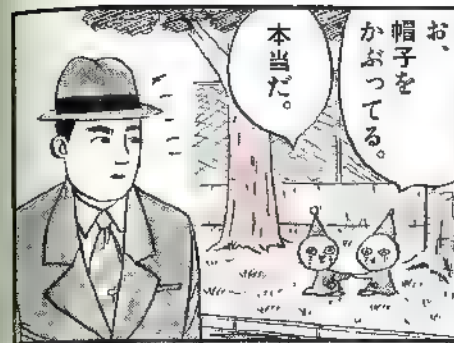
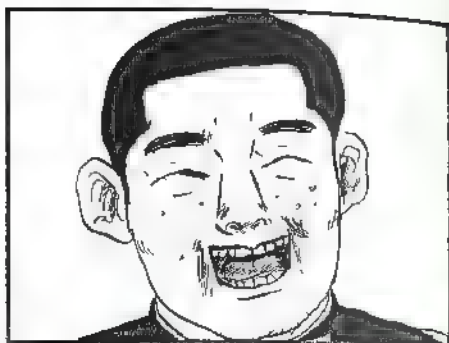
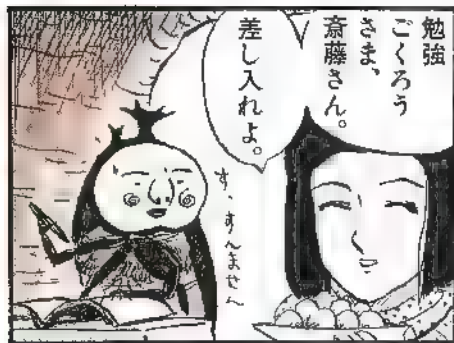


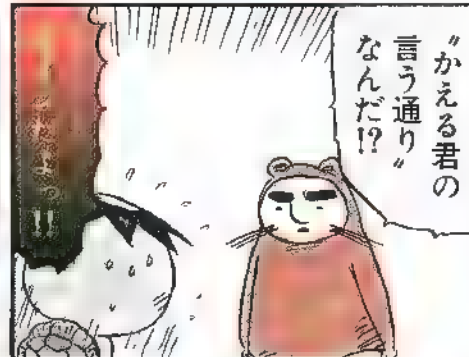
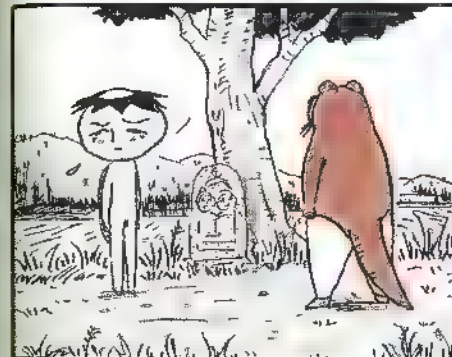
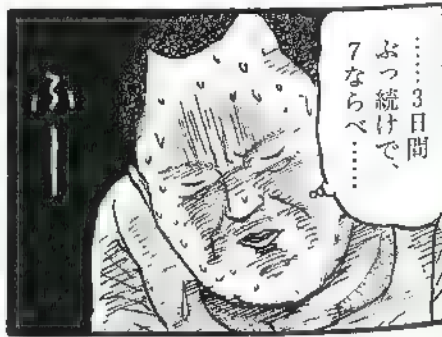
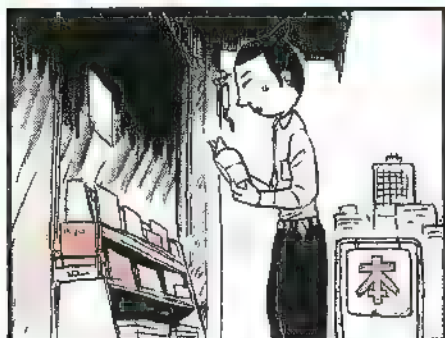


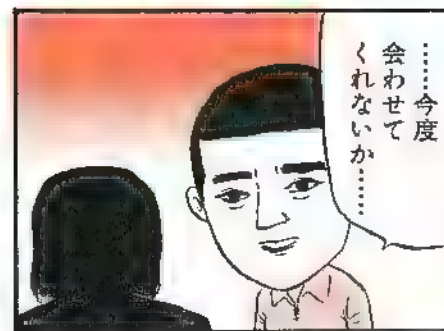
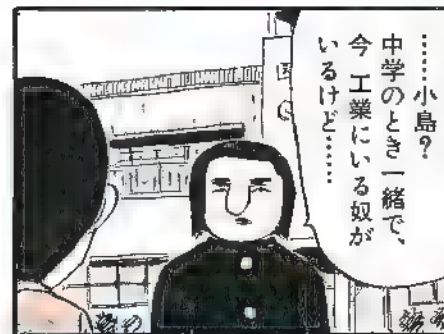
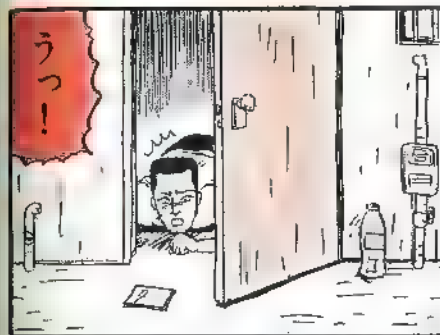
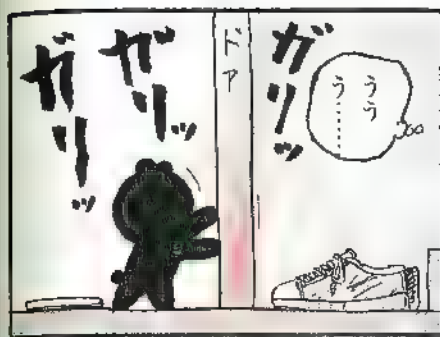


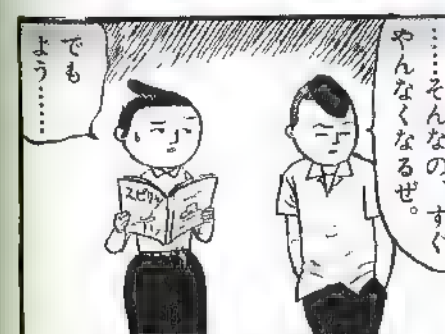
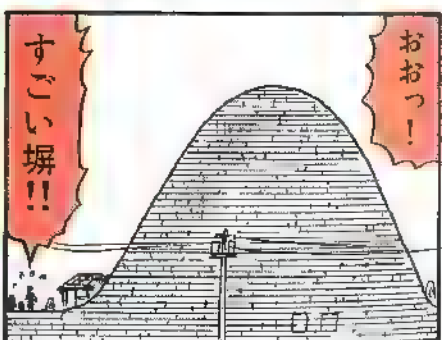
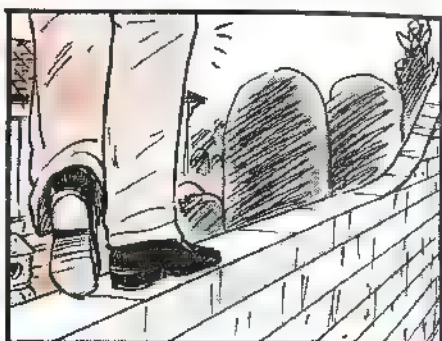
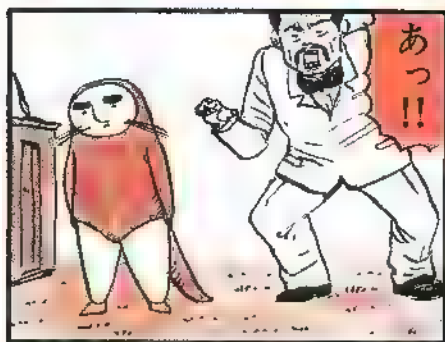
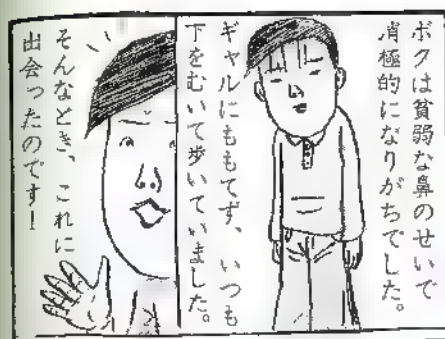
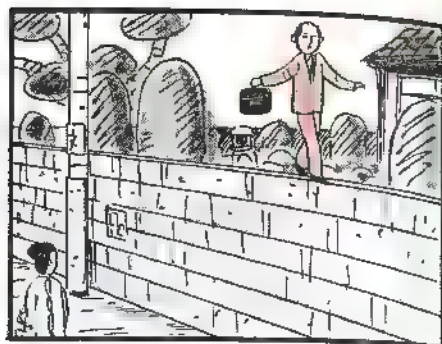


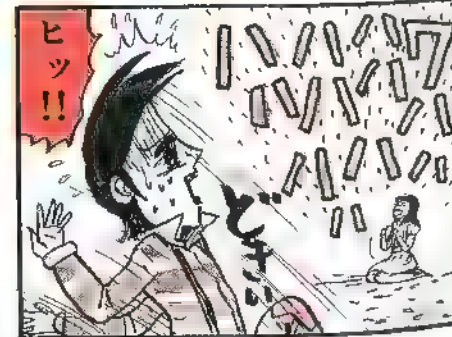
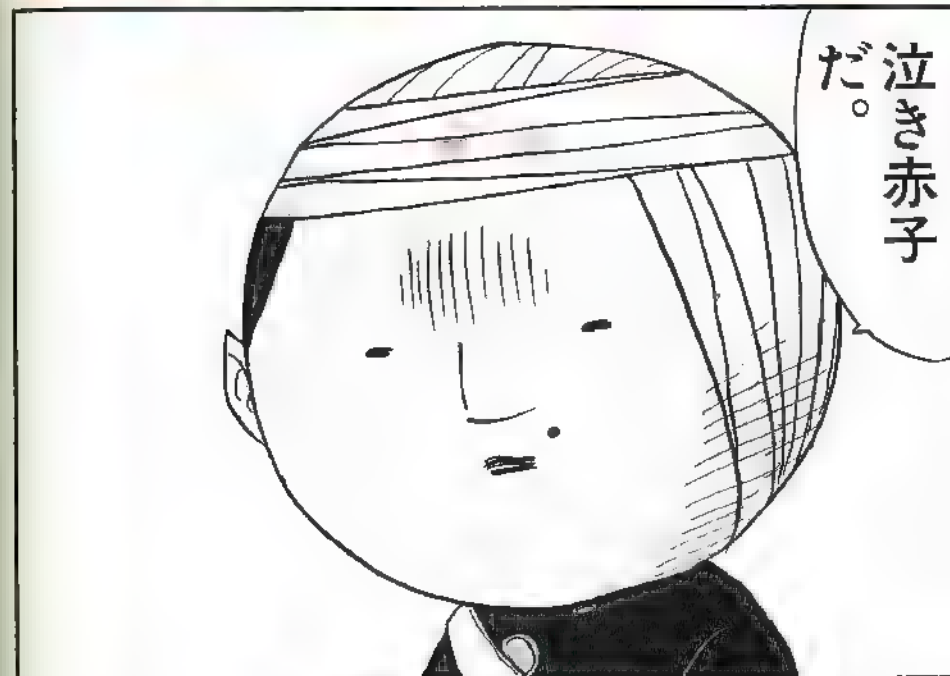
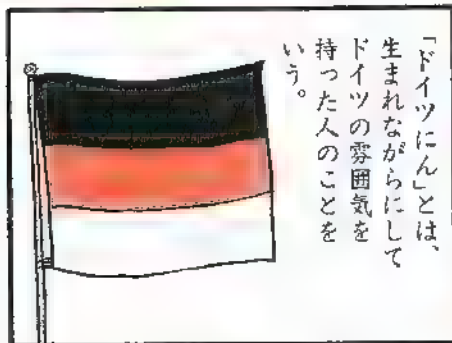
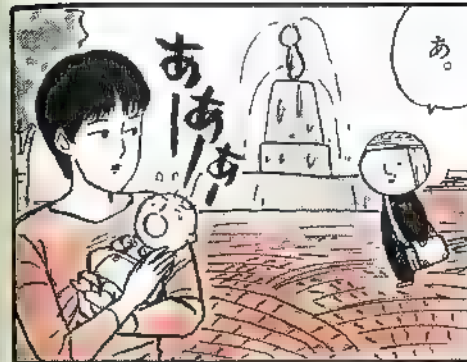
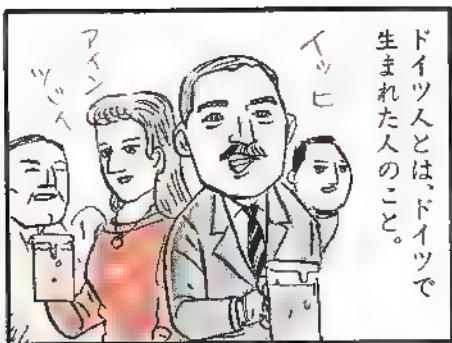


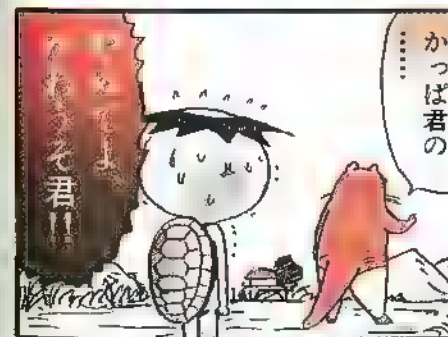
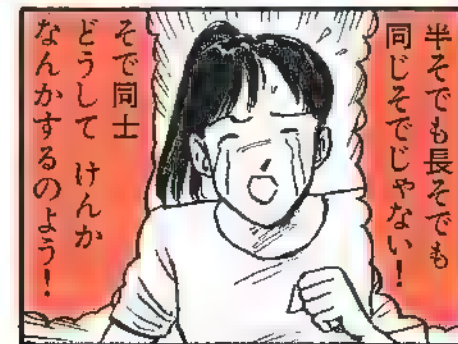
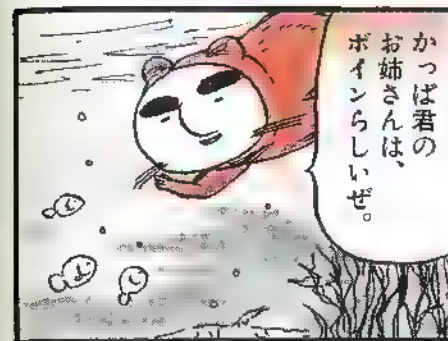
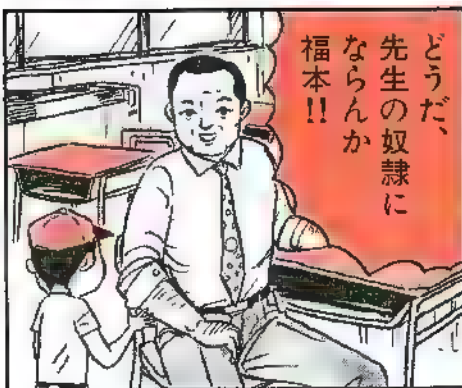


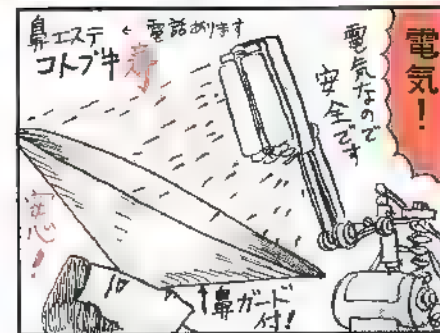
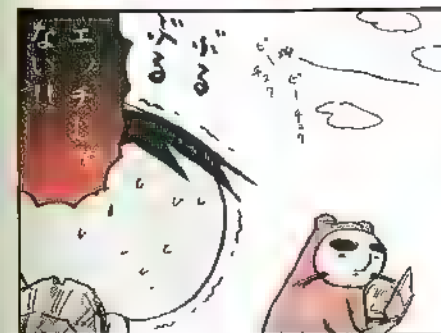
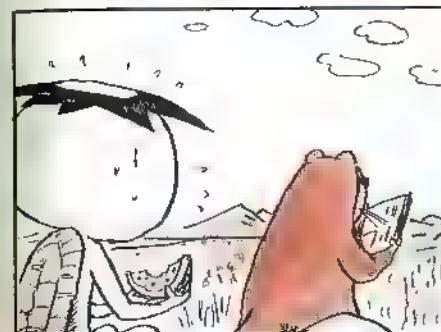
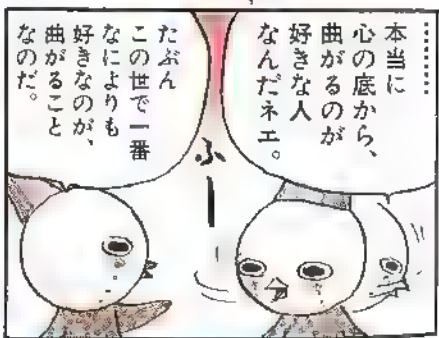
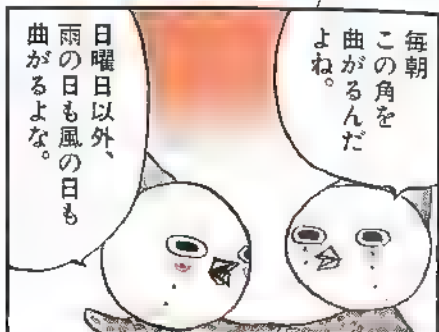
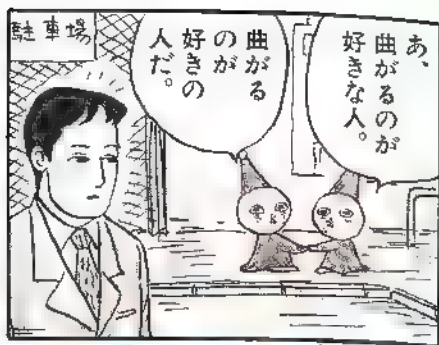
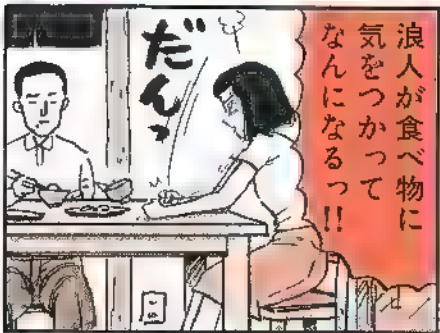
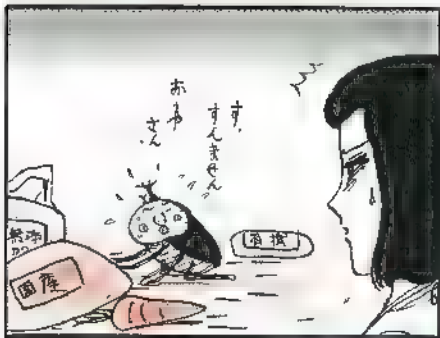
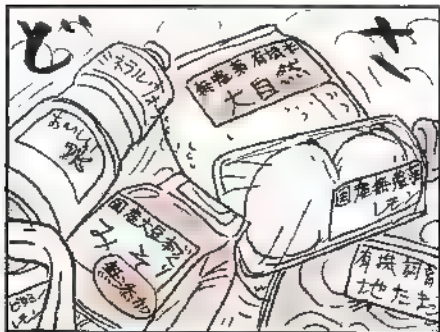
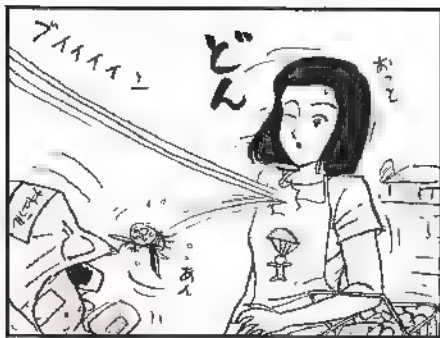


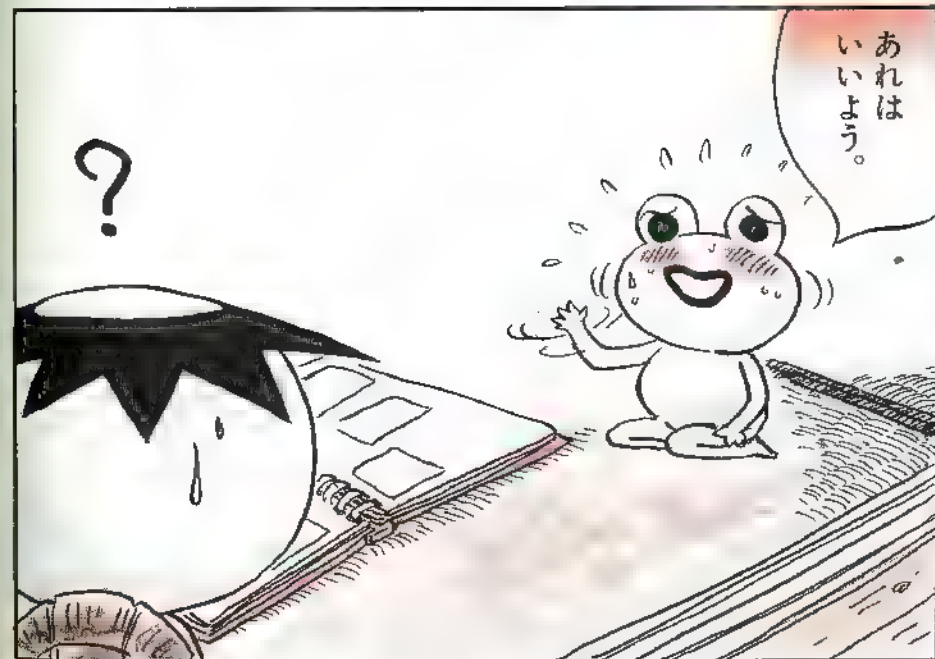
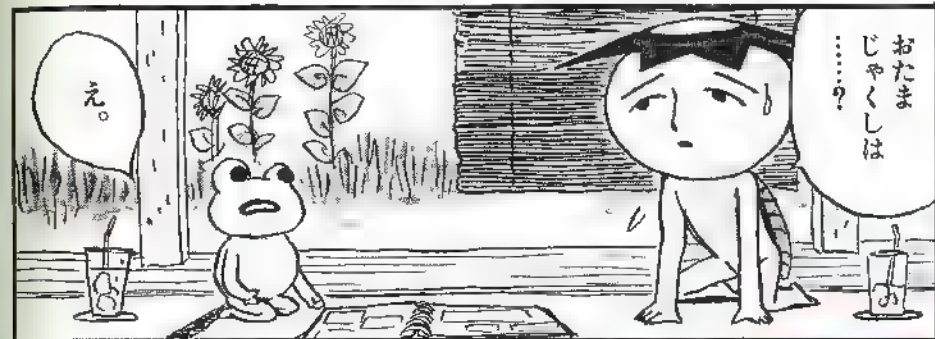
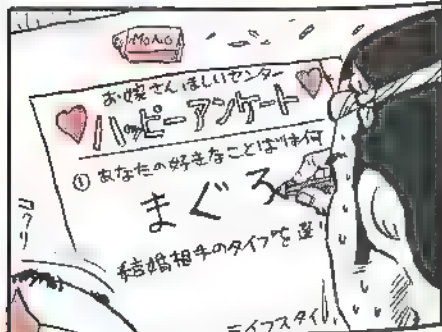
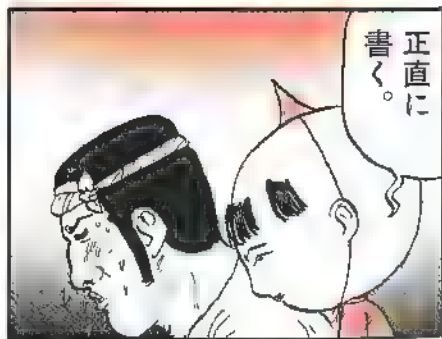
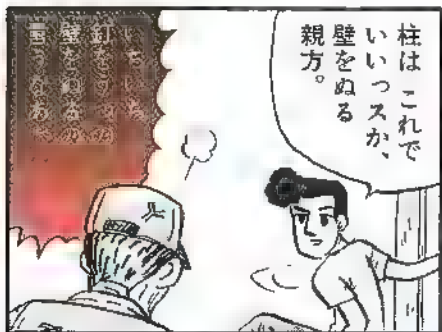


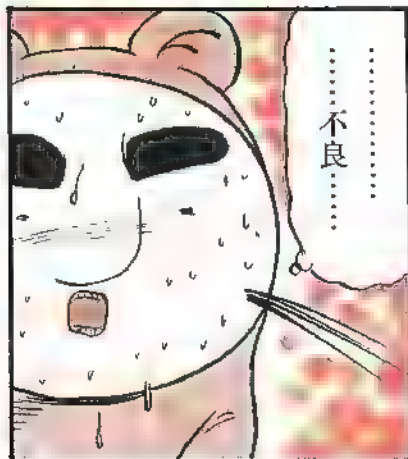












.....不良.....



あつ、
かえる君！



こんにちは、
かえるさん。

.....
どうしたの
!?



ハミガキ
野郎が
来た。



まだ
いいですよ、
おばさん。

そういわずに
お見合いしてみても、
いいお嬢さんよ。



.....毎日
ハミガキ
してる
らしいぜ。

っしてる
ってな。



ちよいと
見て
ごらんよ。

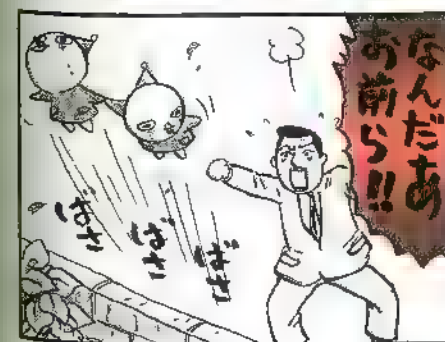
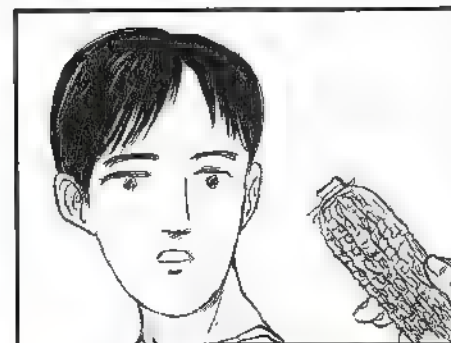
あ、そうそう、
これあずかつて
きたのよ。



毎日
歯をなあ、
クククク...

表も裏も
上も下も
.....

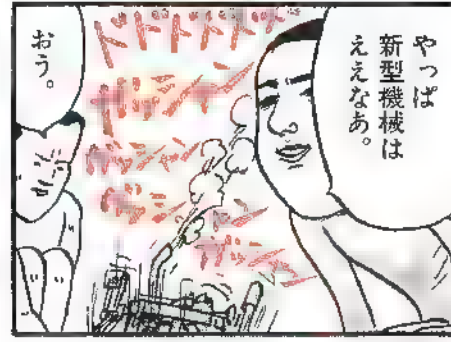
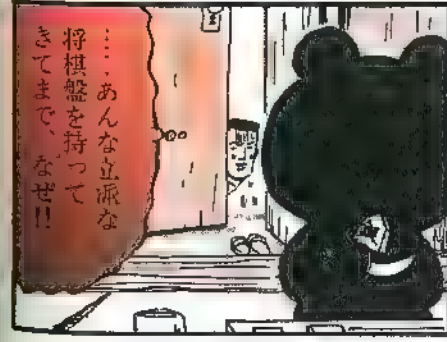
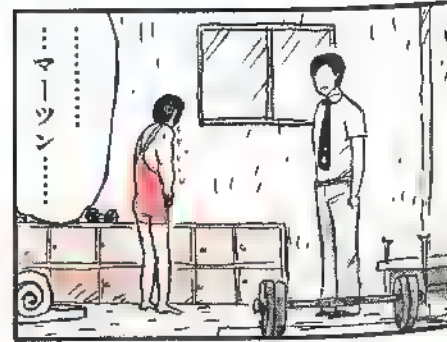
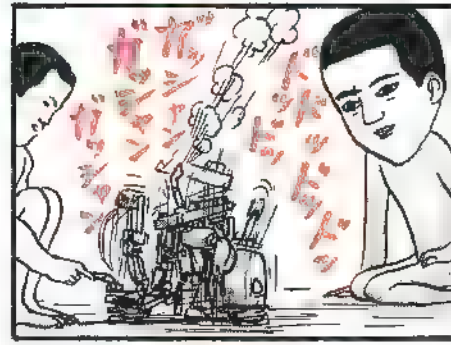
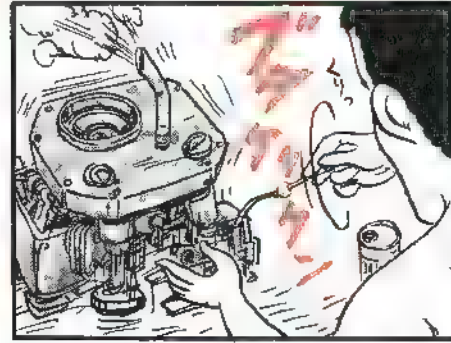
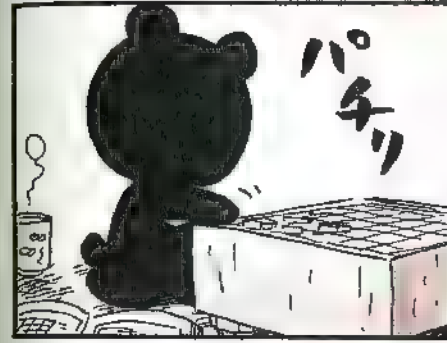
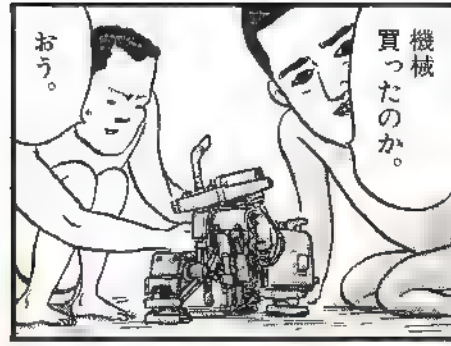
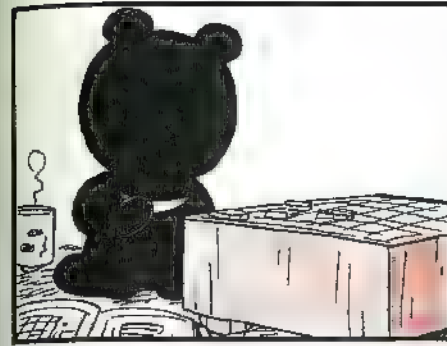
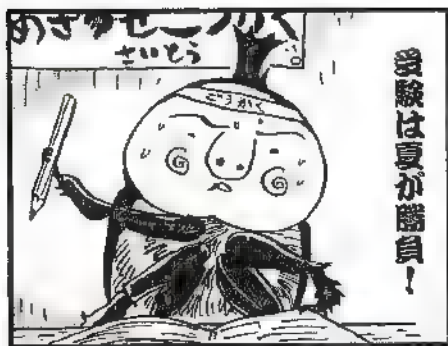
みがき
まくり。

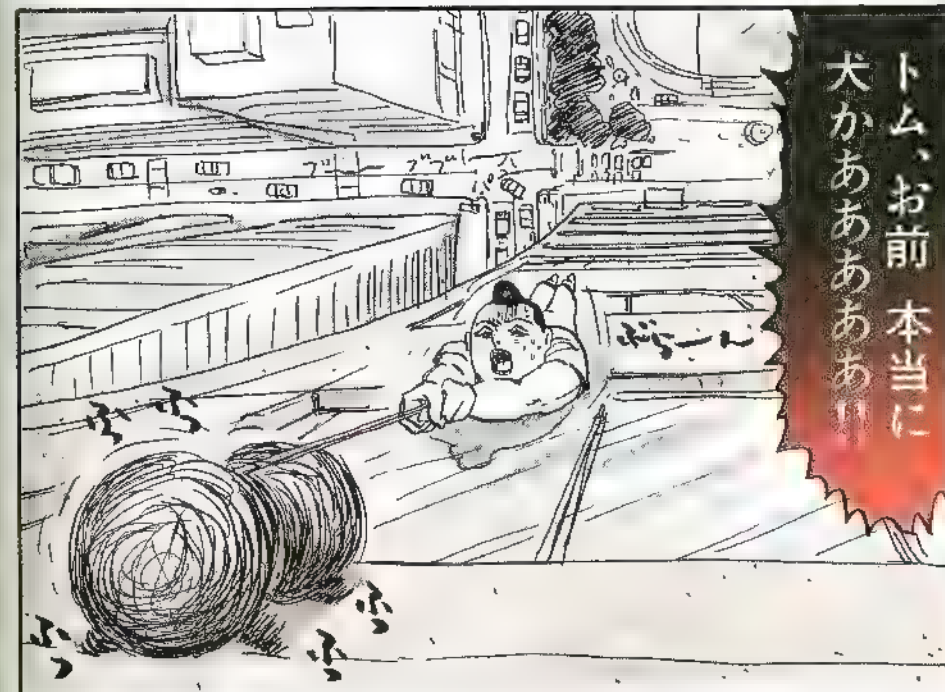
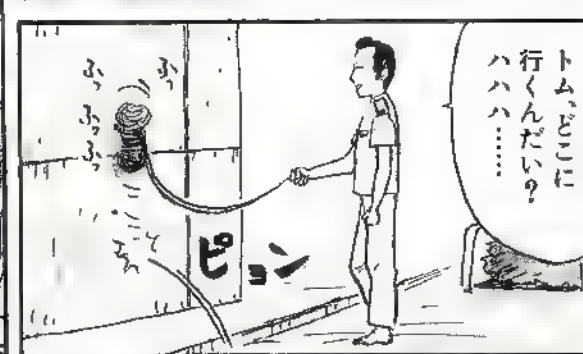
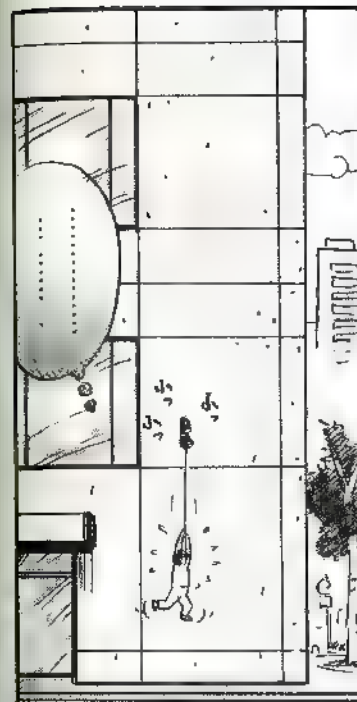
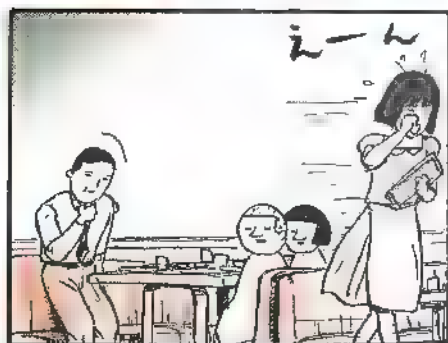
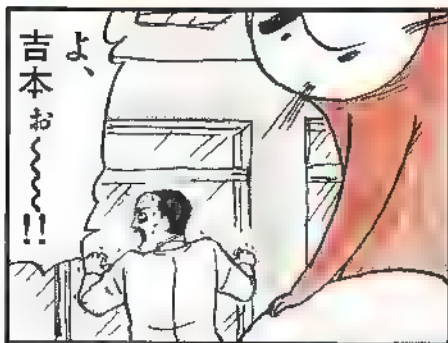
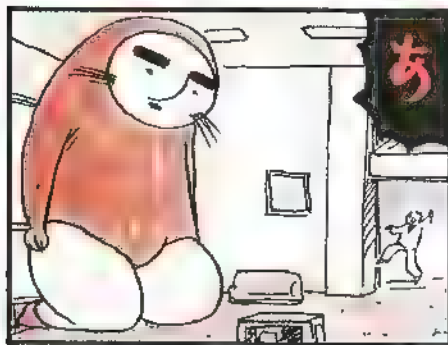
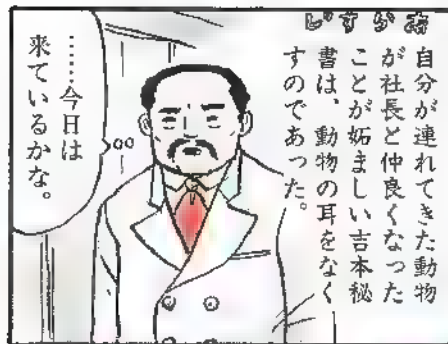


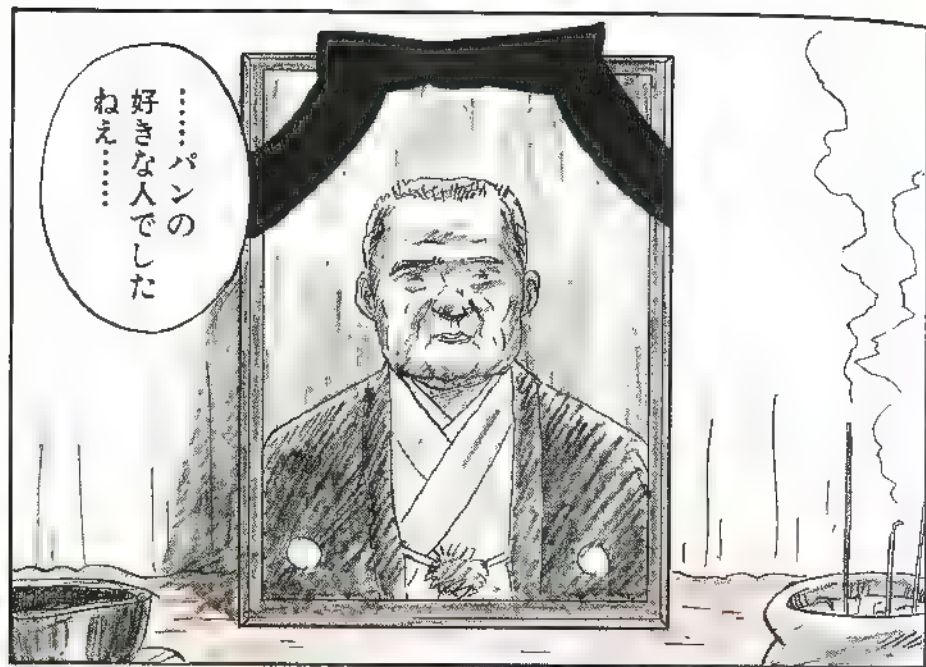
なんだあ
お前ら!!



.....こんなにきれいに
とうもろこしを
食べる人なら、
会ってもいいな。
そうかい！







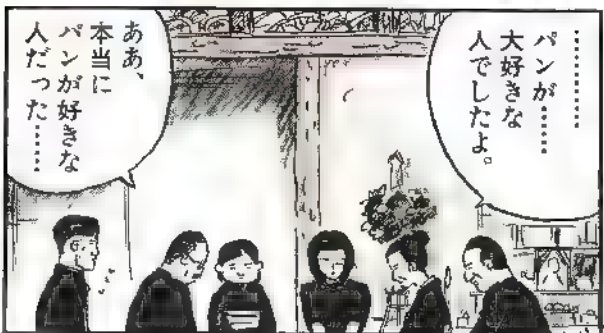
……パンの
好きな人でした
ねえ……



……あの……
おじいちゃんが国鉄の
機関士だった頃の話も
聞きたいな。

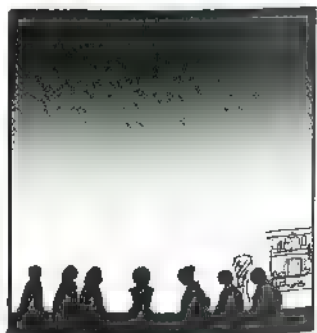


戦後何年目
ぐらいでした
かしら、
パンを盗った
盗らないで
大さわぎ。
もう三食
パンでした
からね、
お義父さん。
君子姉さんが
生まれたとき
にもパンを。



……
パンが……
大好きな
人でしたよ。

ああ、
本当に
パンが好き
な人だった……



きのう
生まれた
ばかりの
赤ん坊だよ。
ぼくの
イトコさ。



おじさんに
目のあたり
似てますよ。
そうか、
ワハハハ
……
あ……あ、
あ……



おたま
じゃくし
は……？



いやあ……
わしや、
あれは
いいよお！
またまた
おじさ
ーん！
？



トオル君が、立派な
郵便局員に
なれますように。



……トオル君は、
将来なにに
なりたいの
？
そうだね、
パイロットか
歌手か
実業家か……
家業をついで
医者つてのも
いいなあ。

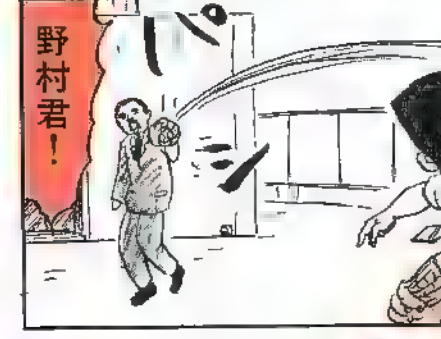
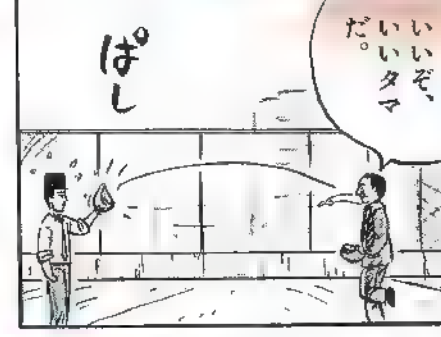
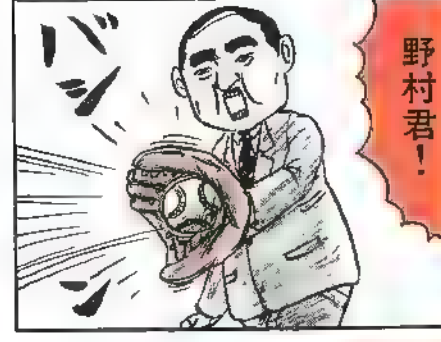
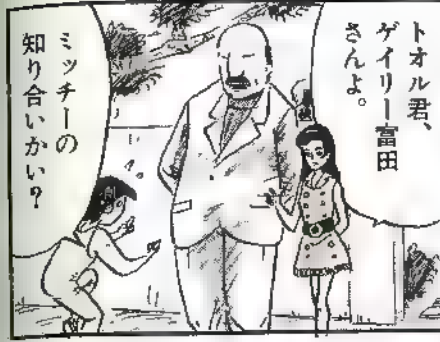
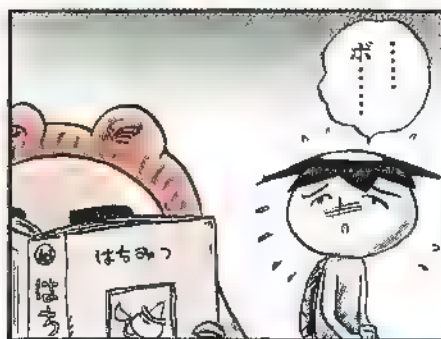
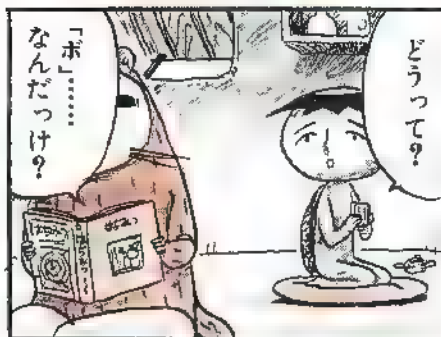


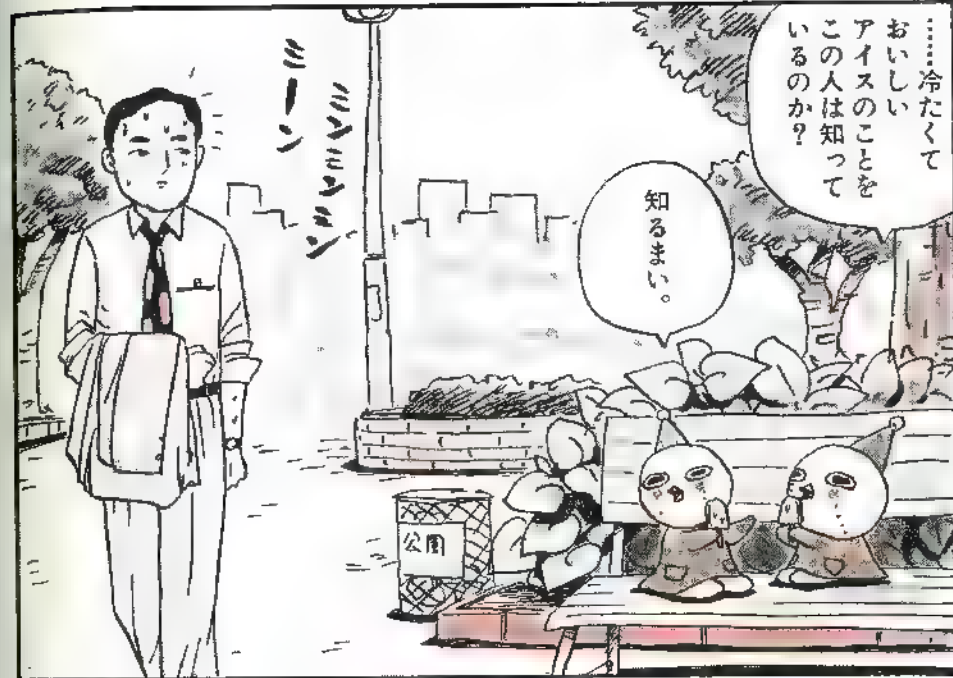
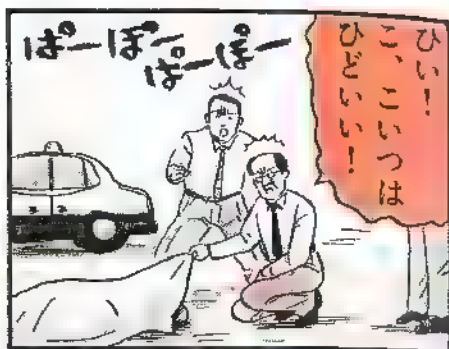
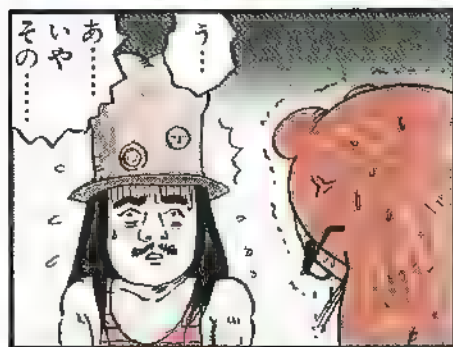
……ミ、
ミツチー？

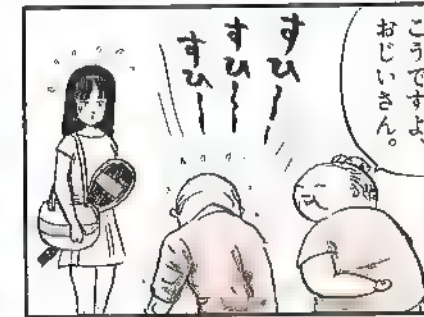
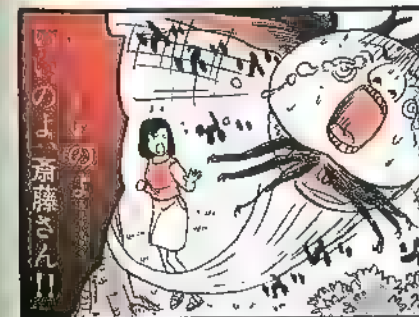
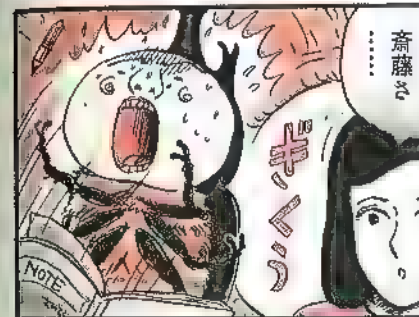
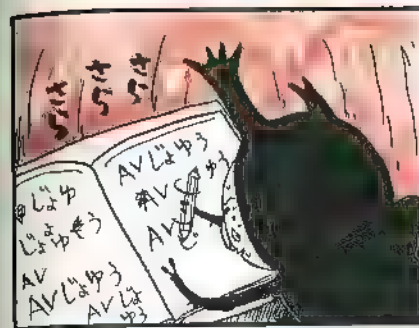


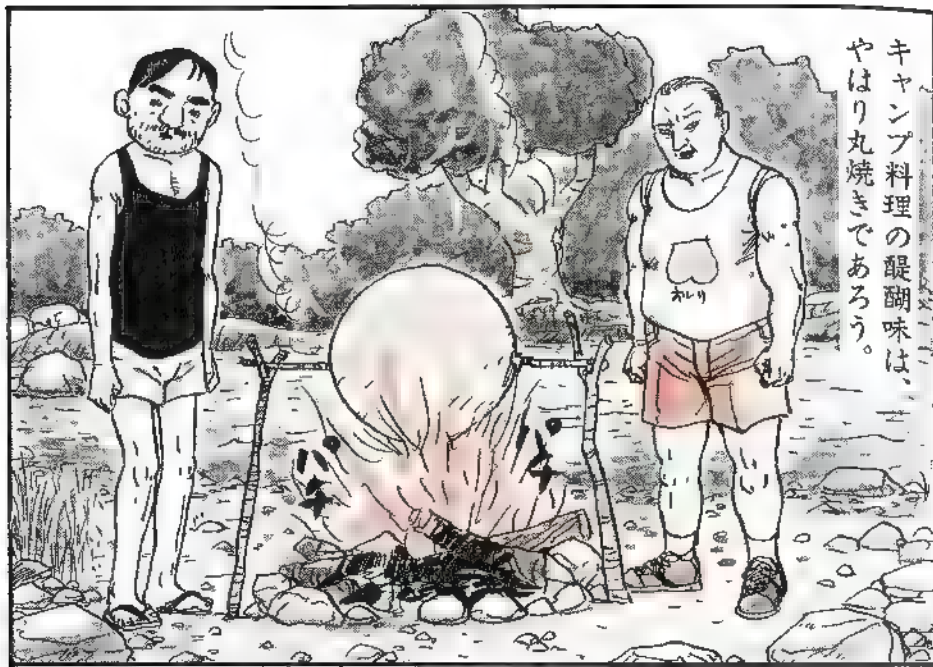
神様、トオル君が
正しい郵便局員の
道を歩むよう
お導きください。

ミツ
チー？
ミツチー
つてば！

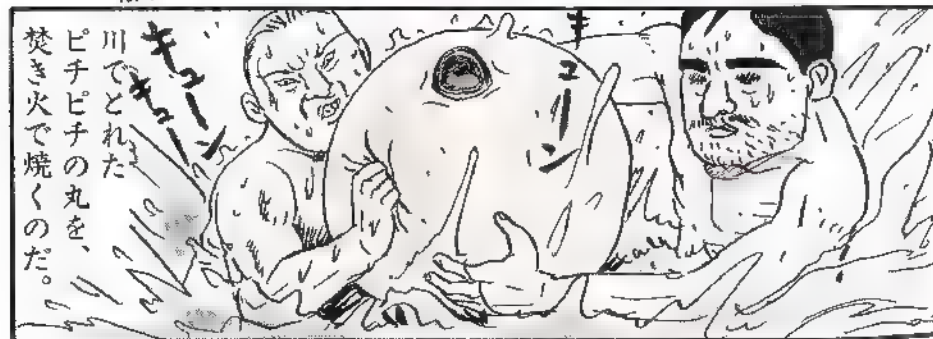




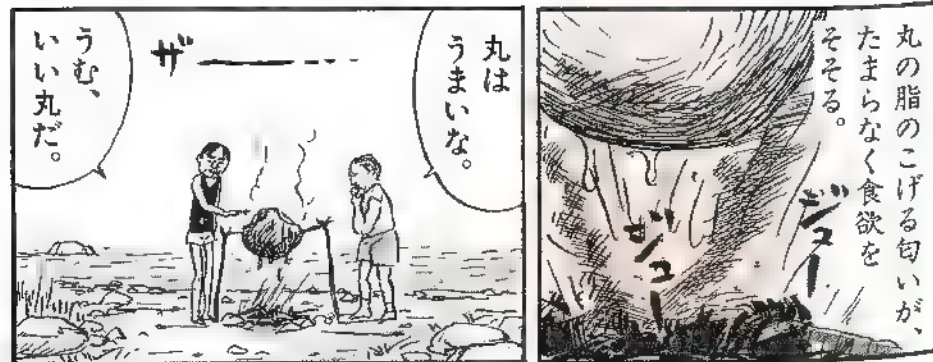




キャンプ料理の醍醐味は、
やはり丸焼きであろう。



川でとれた
ピチピチの丸を、
焚き火で焼くのだ。

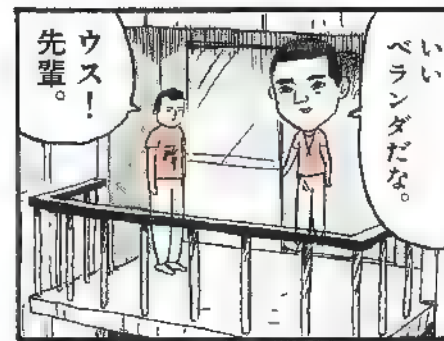
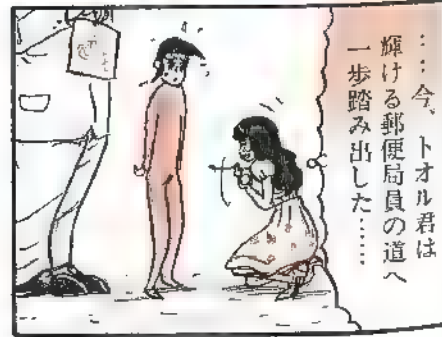
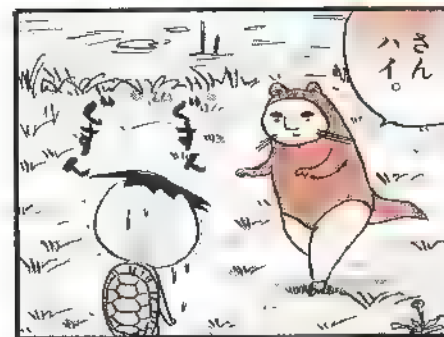
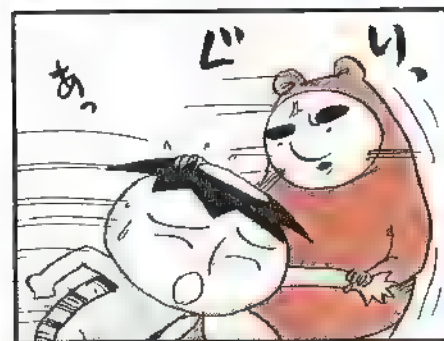


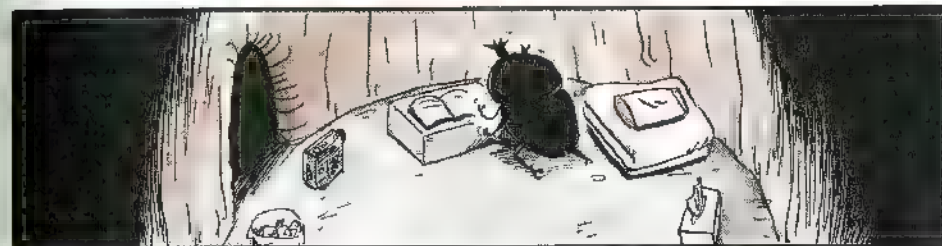
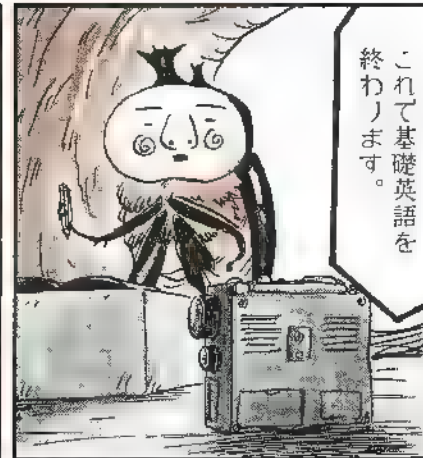
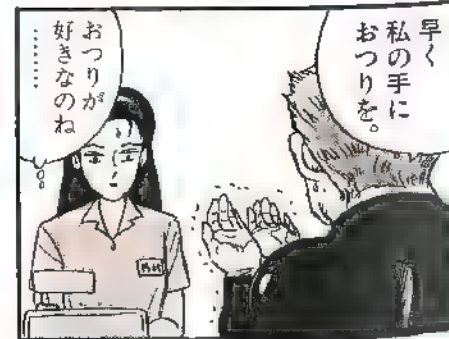
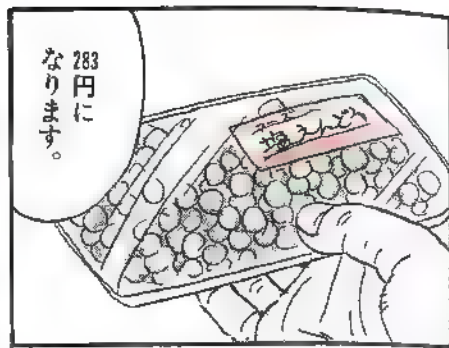
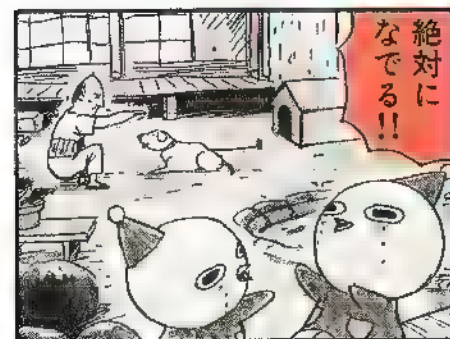
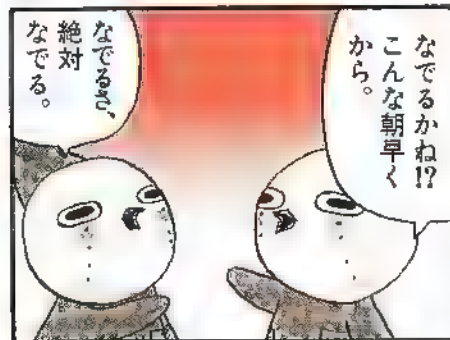
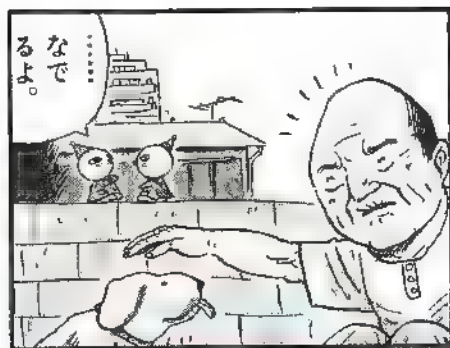
うむ、
いい丸だ。

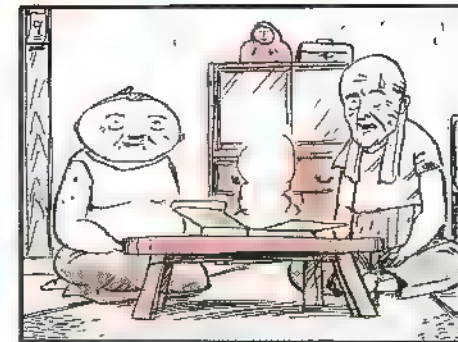
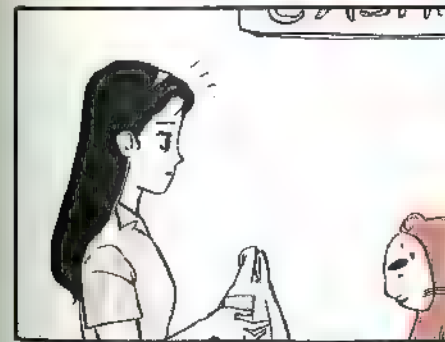
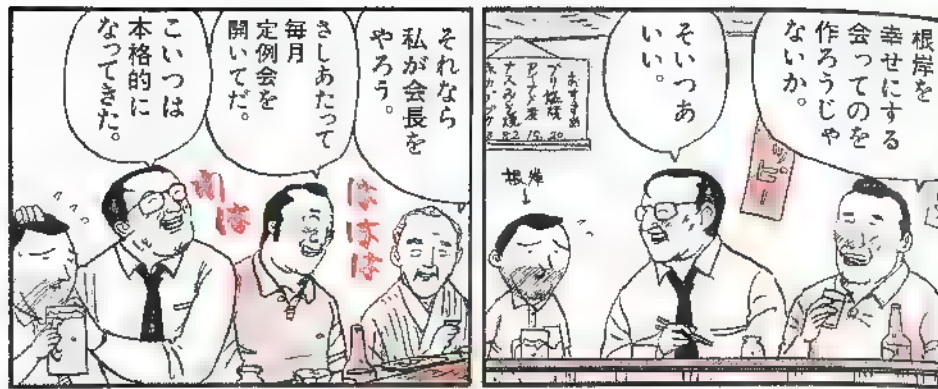
ザ——

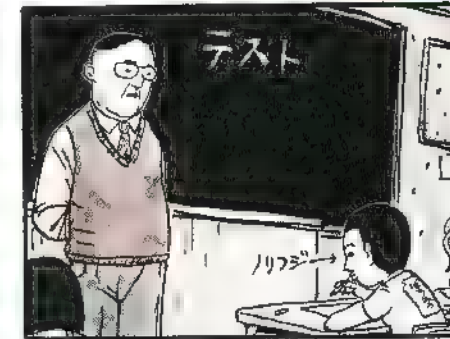
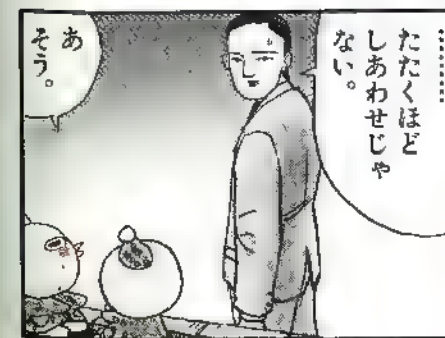
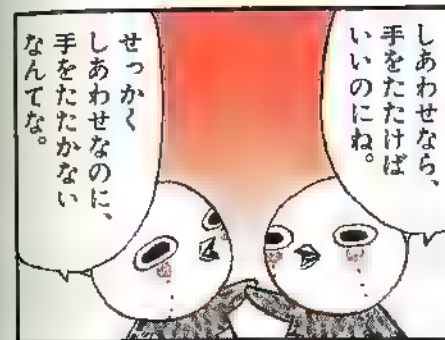
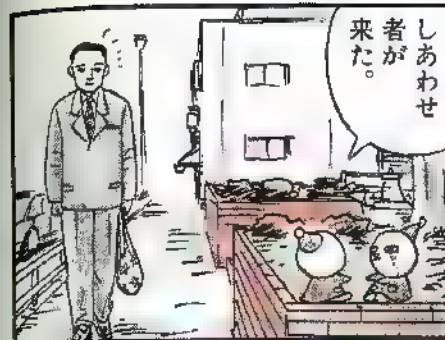
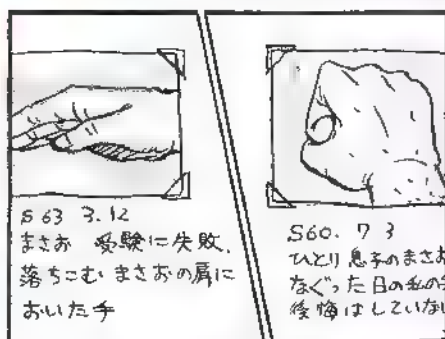
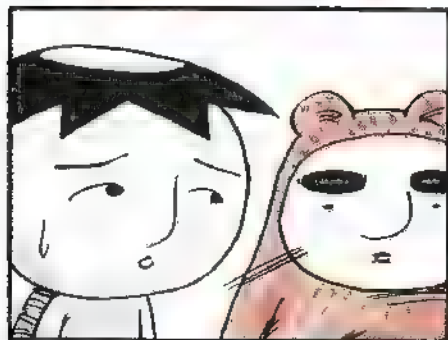
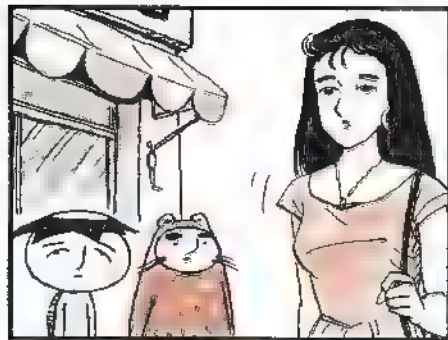
丸は
うまいな。

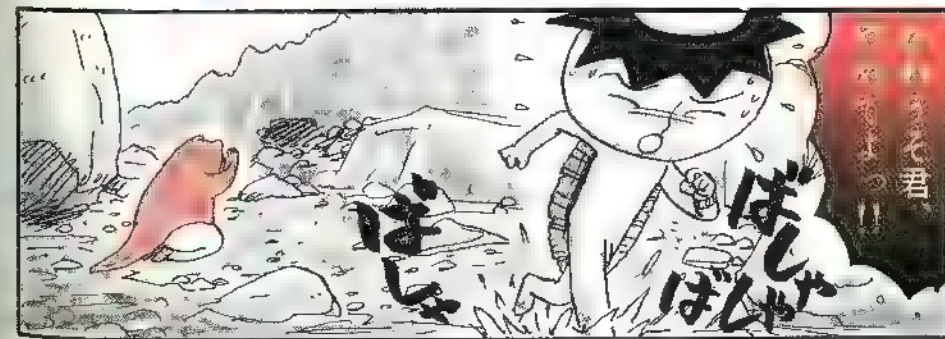
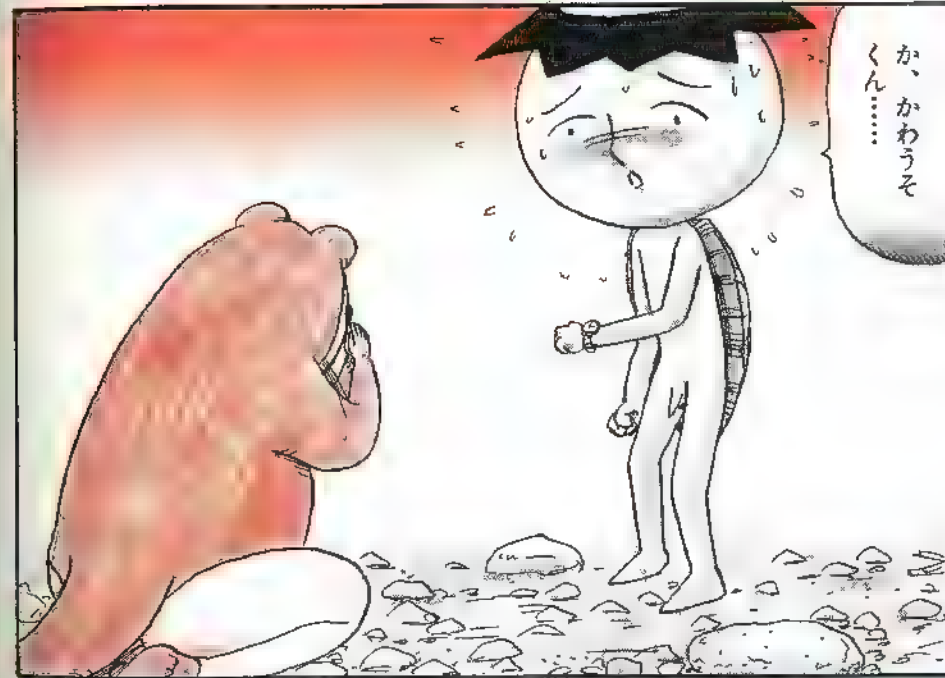
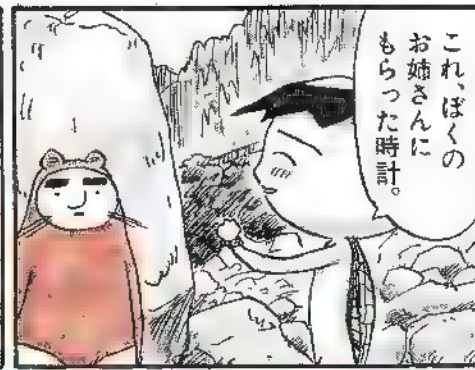
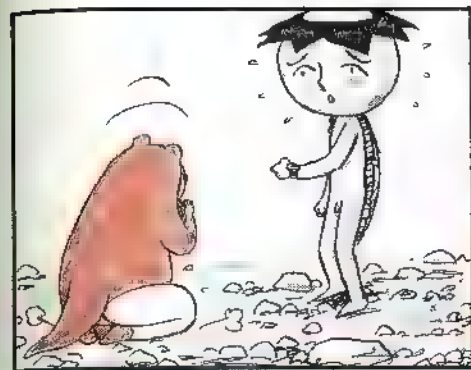
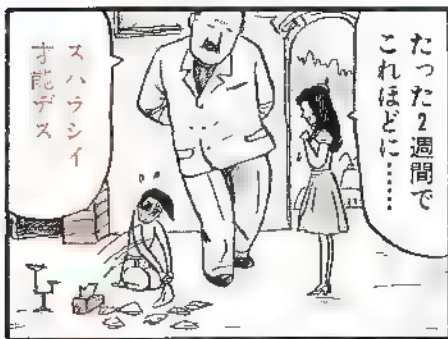
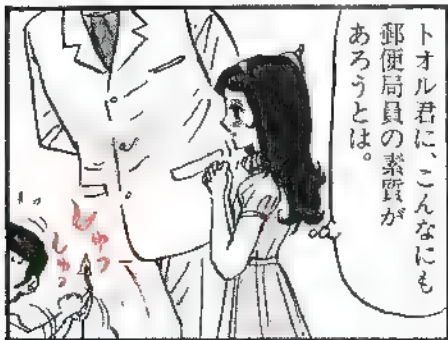
丸の脂のこげる匂いが、
たまらなく食欲を
そそる。
ザ——

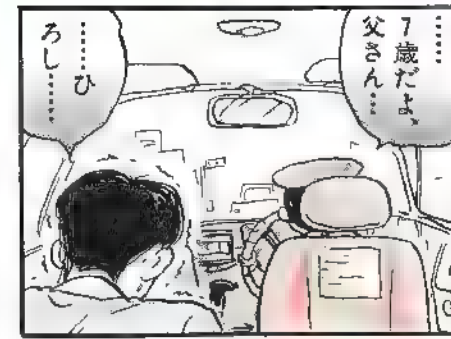
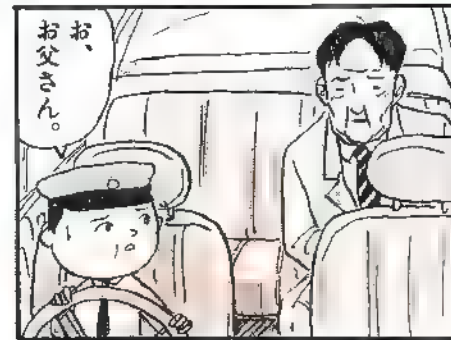
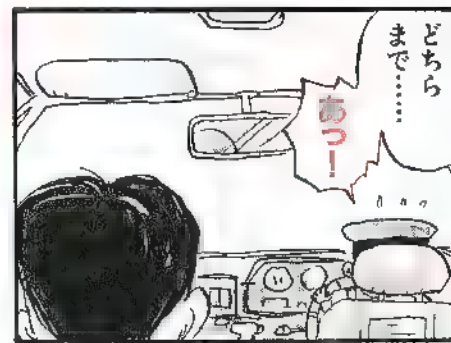
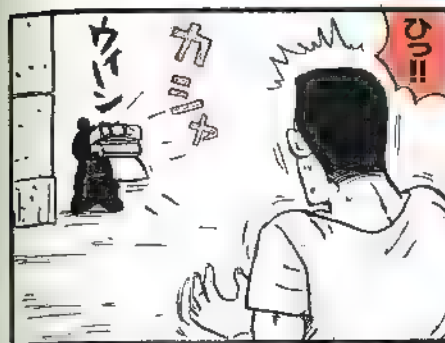
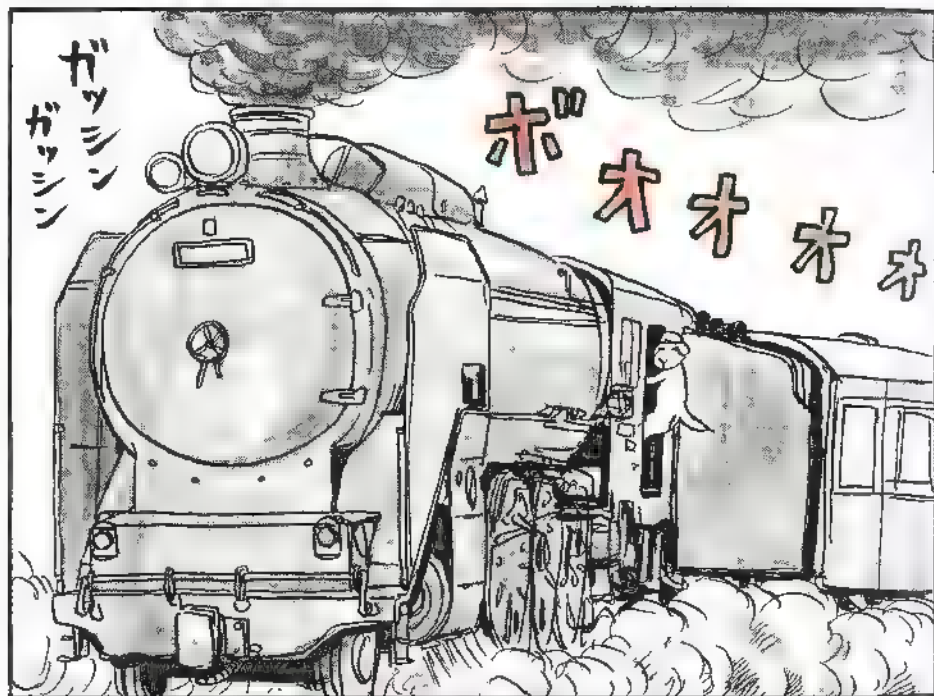


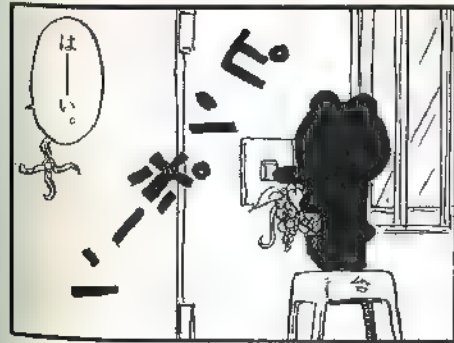
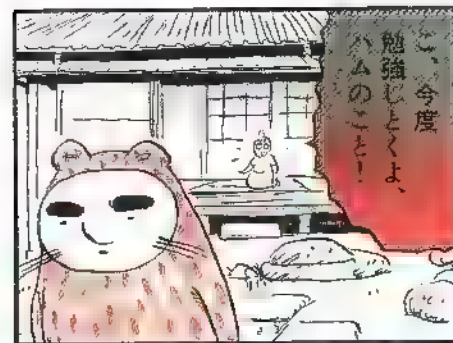
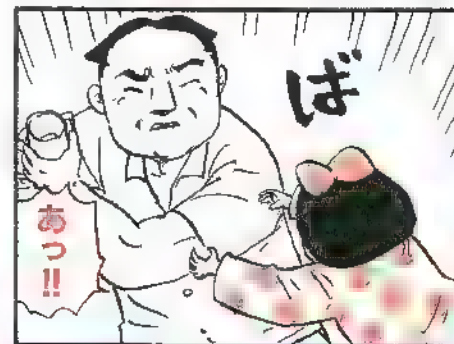


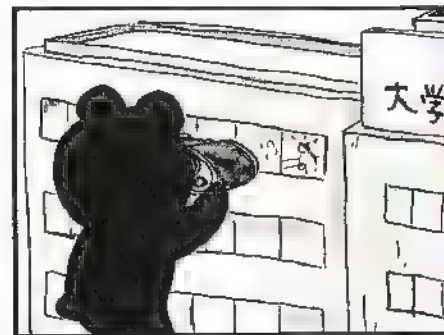
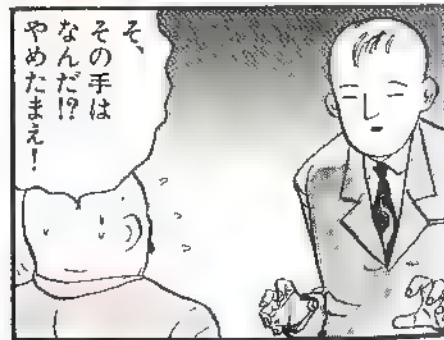












9月

備 校 ニュース

私はこうして合格した

東京大学・理科II類・一年

山下 晴彦くん
さいとう
服

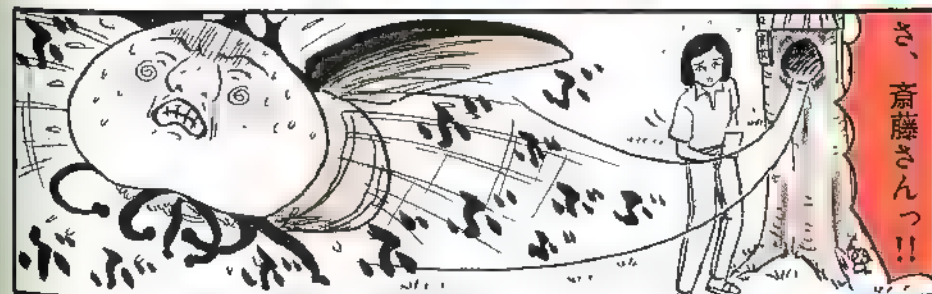
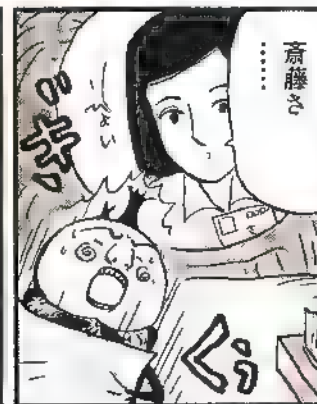
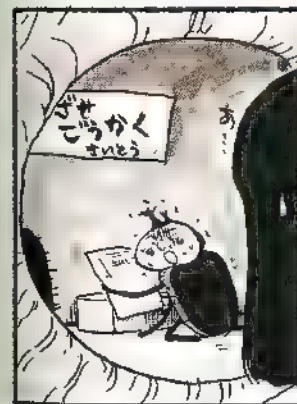
不安と焦りの中で迎えた高三時代
高三になる前の春休み、「私はこんなことで、はたして大学へ試し耐えられる実力をつけられることができるのだろうか」と悩んでいました。

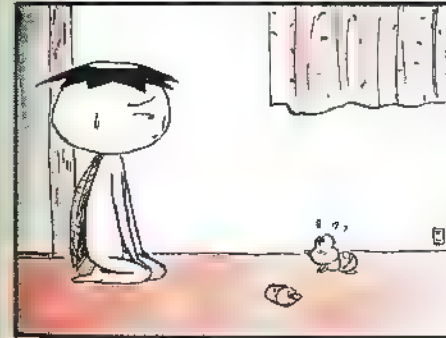
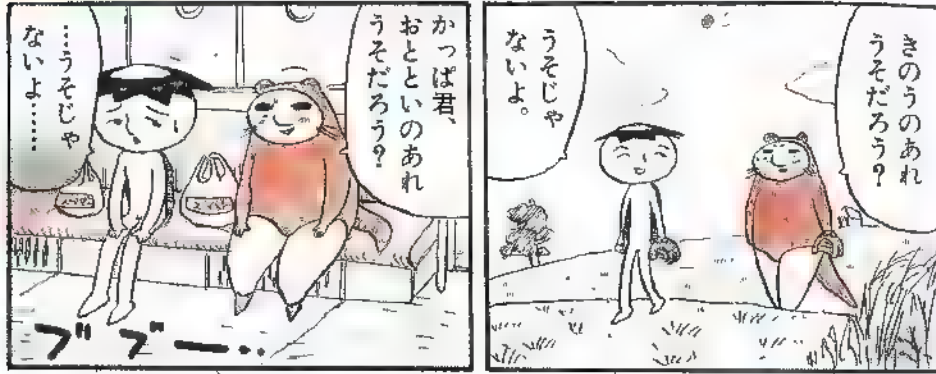
苦手意識のあった数学より多くの問題練習で
数学の力をつけるには、問題に少しくあたらなダメだ」と決心し、問題を多

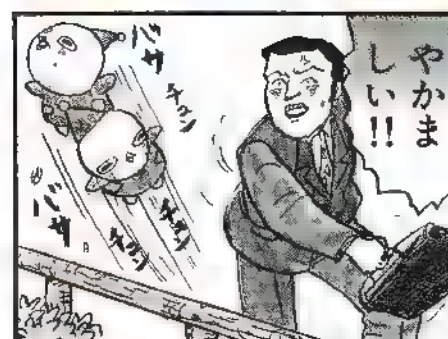
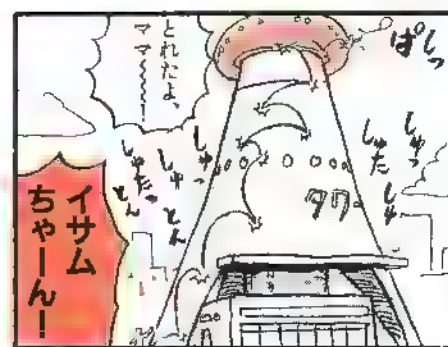
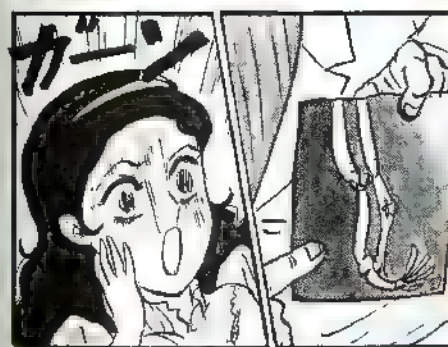
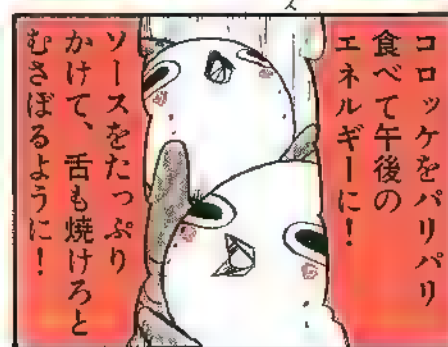
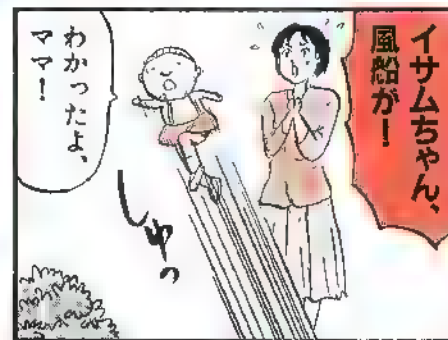
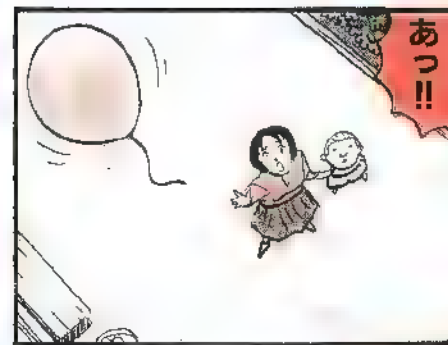
自分で自分のペースを作って学習して、見事難関を突破!

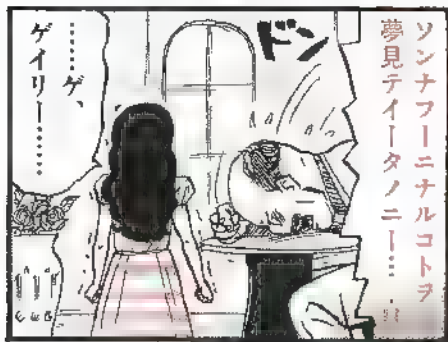
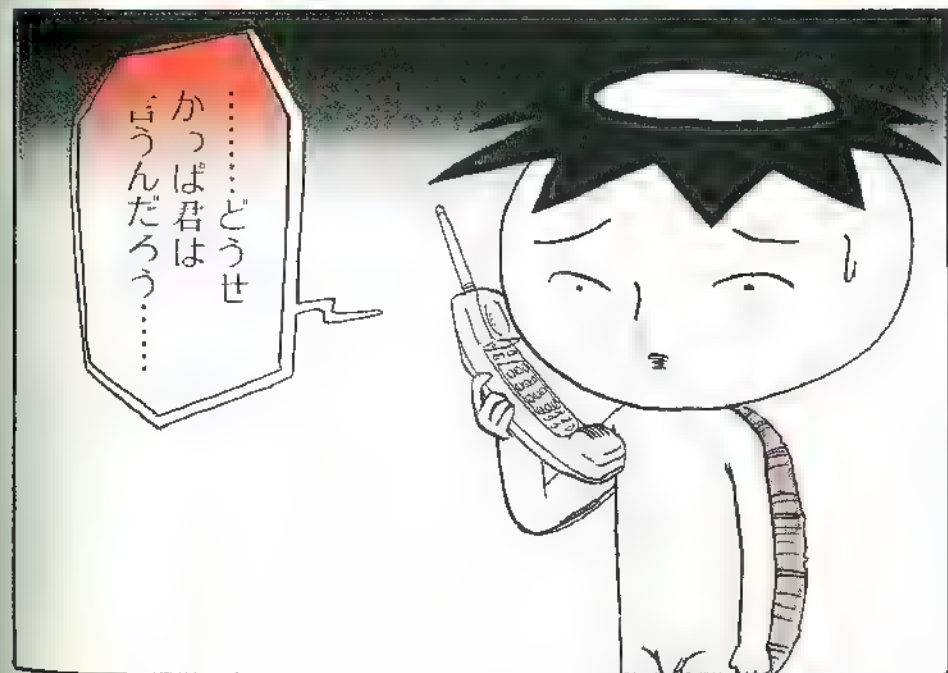
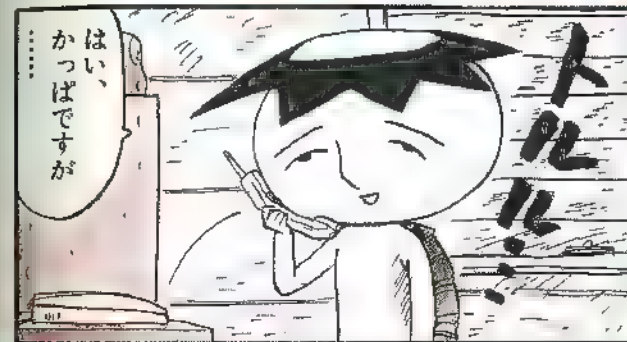
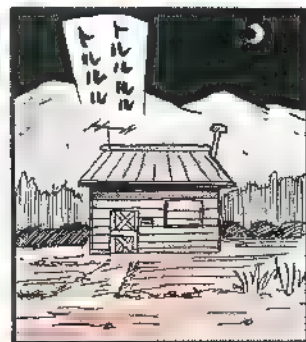
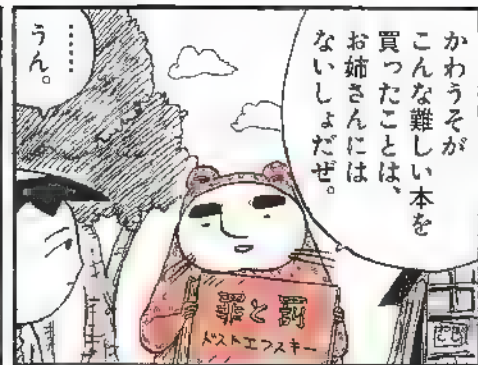
山下くんのプロフィール
山崎女子高校'90年卒

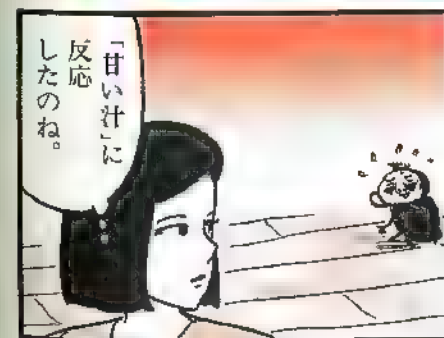
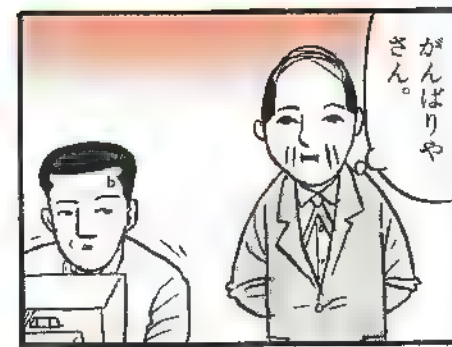
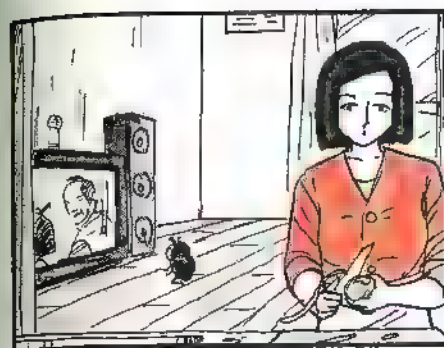
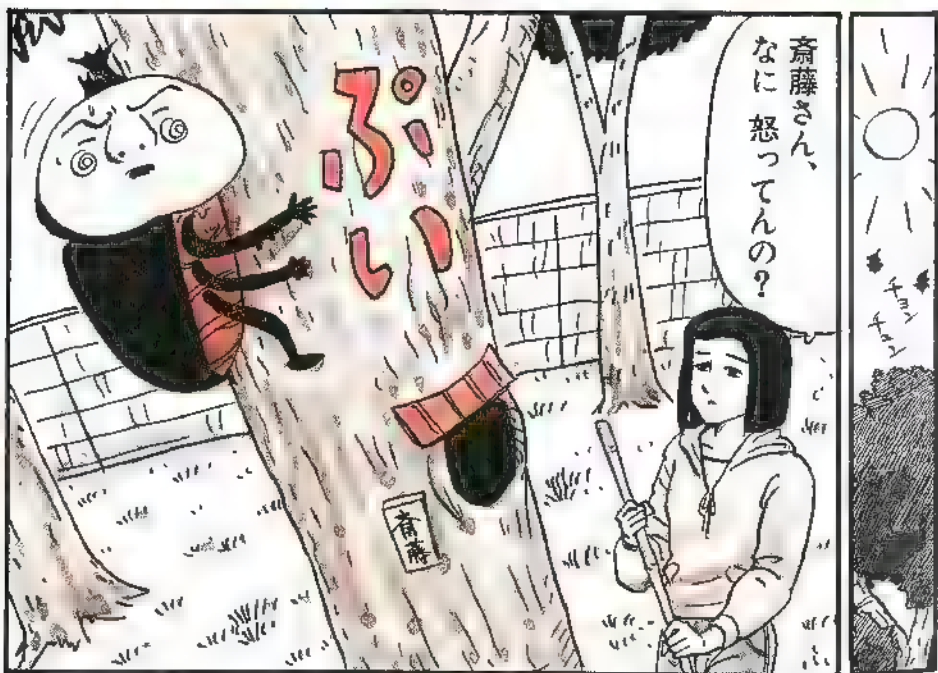
ギョウ

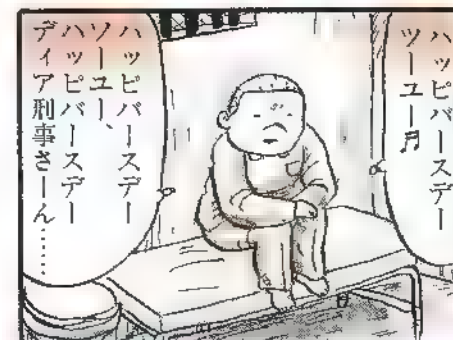
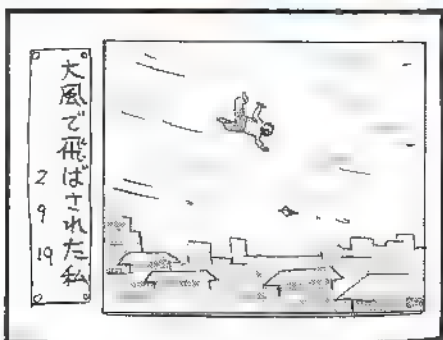
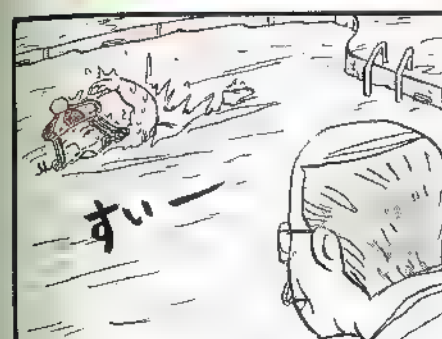


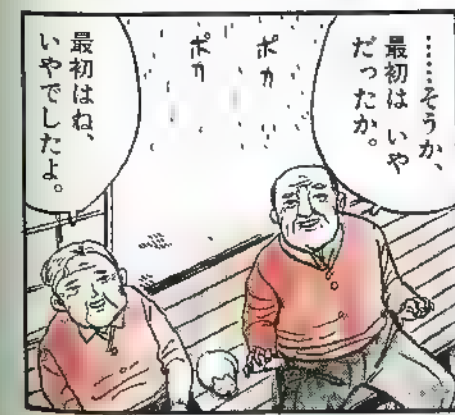
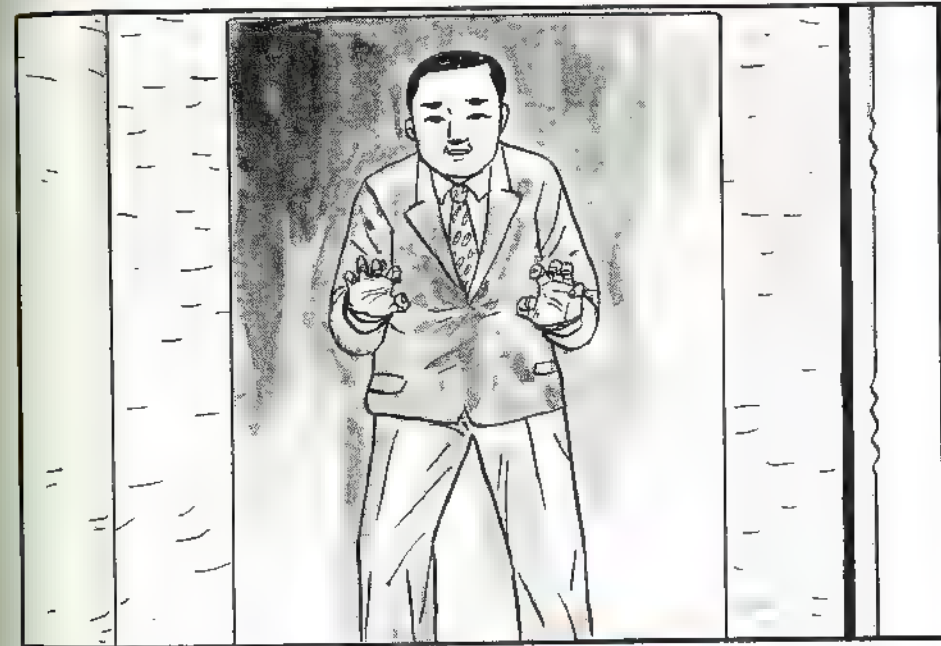
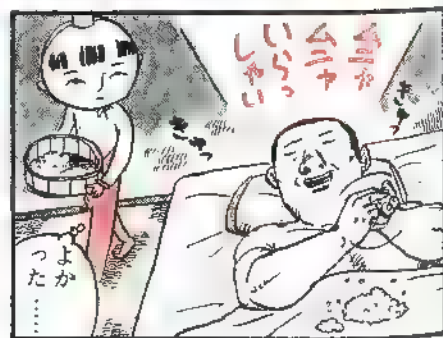
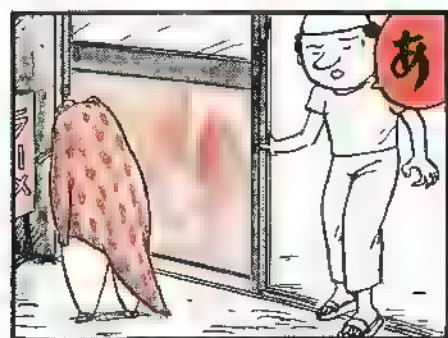
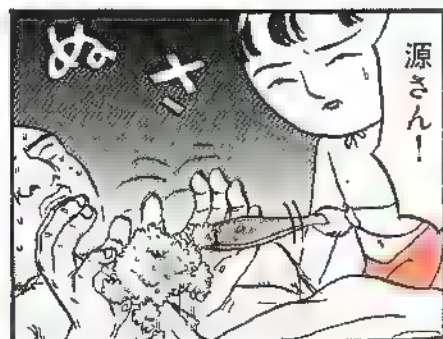
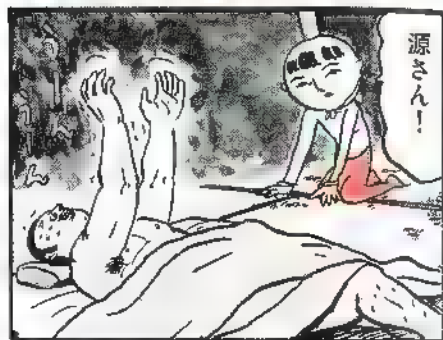


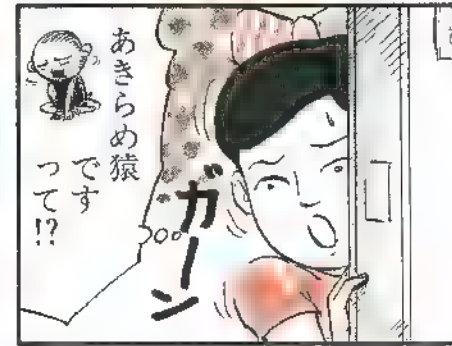
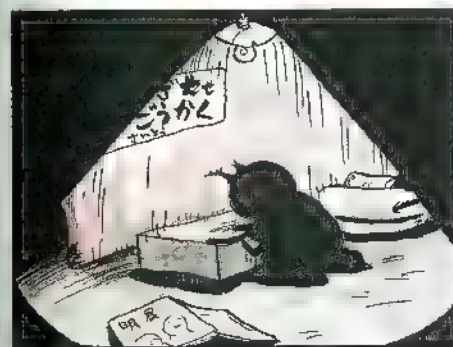
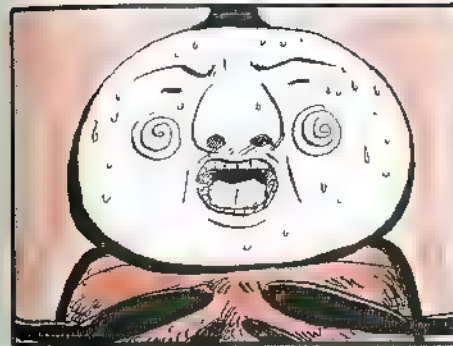
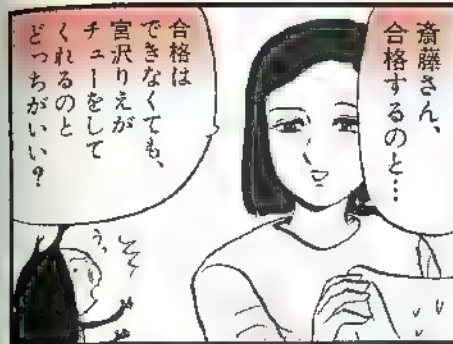
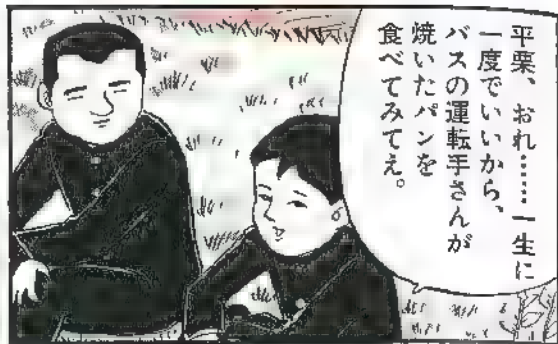


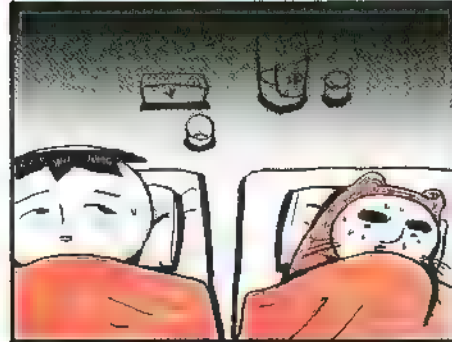
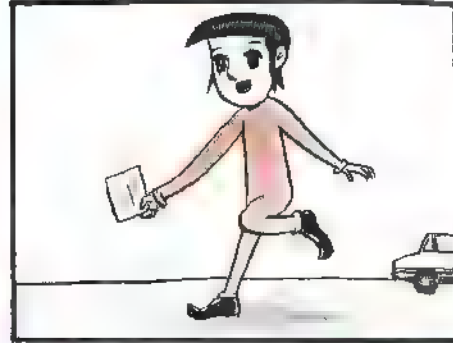


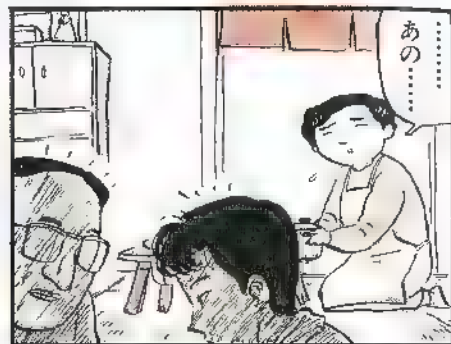
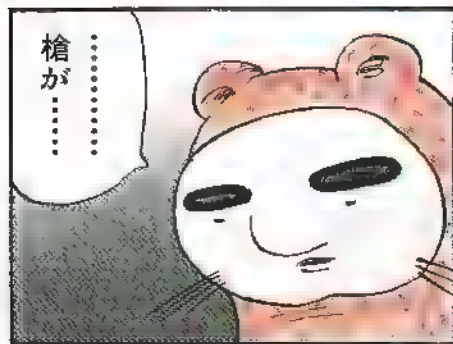
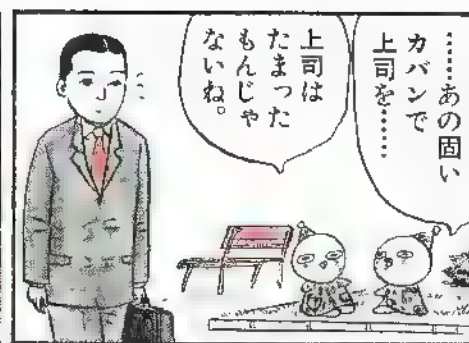
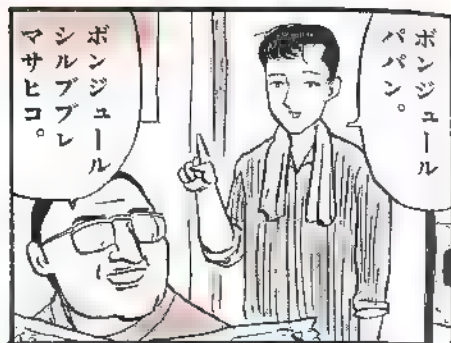






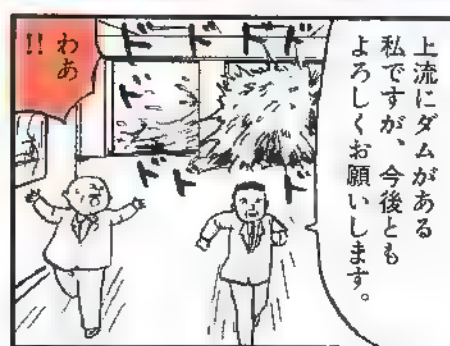
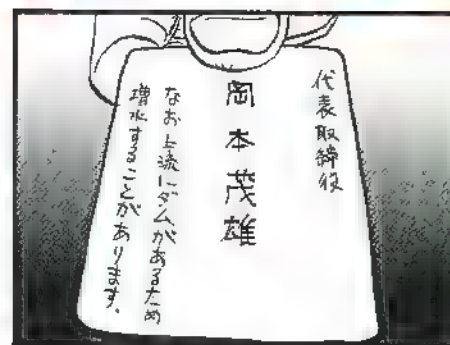
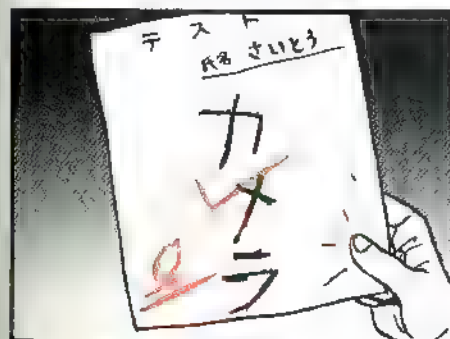
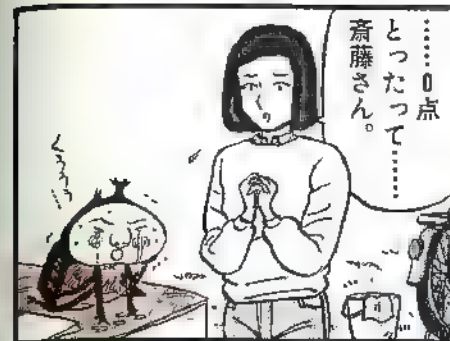


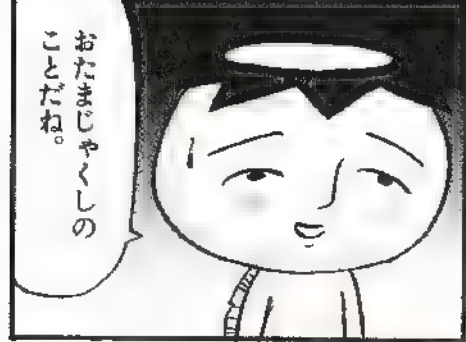
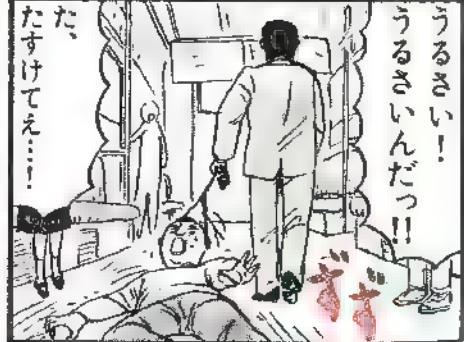
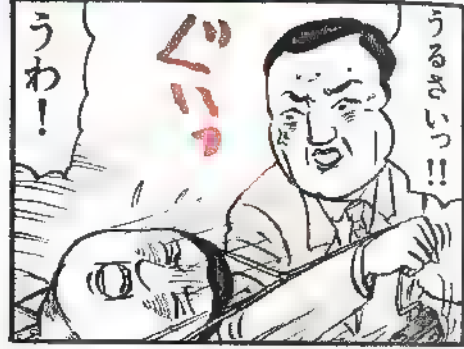
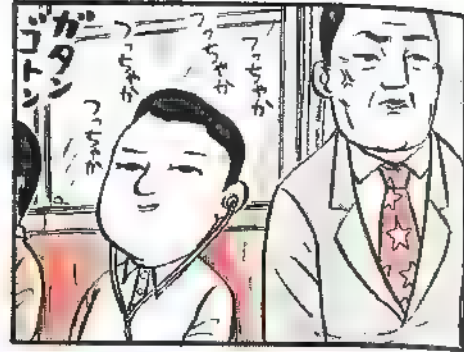
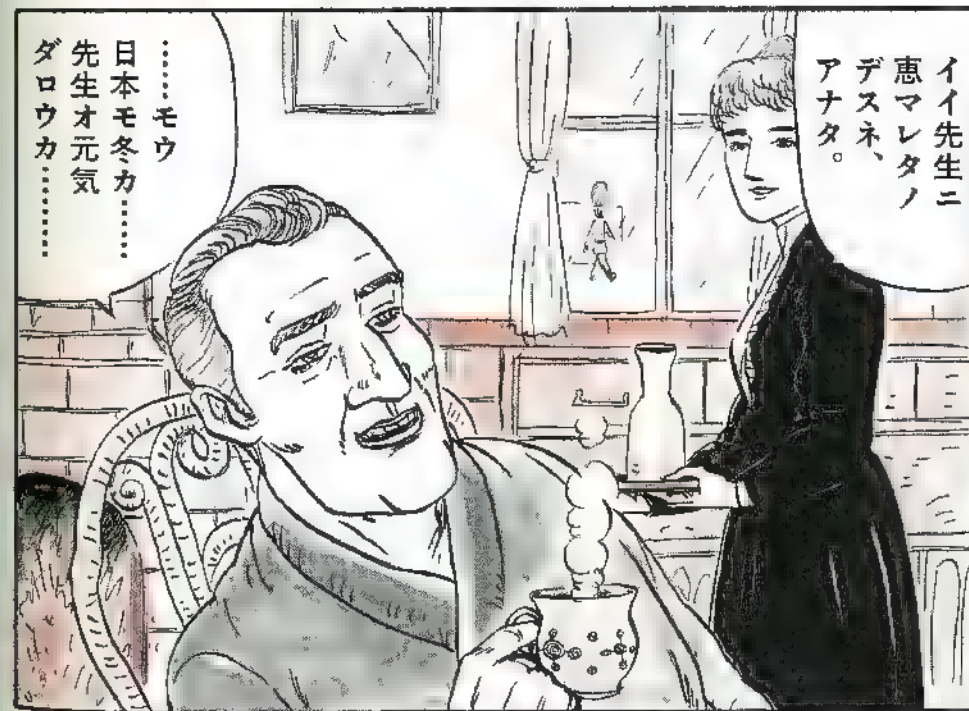
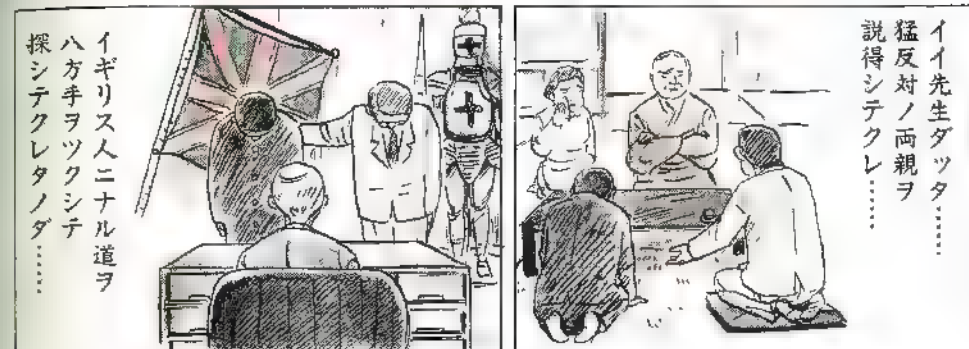


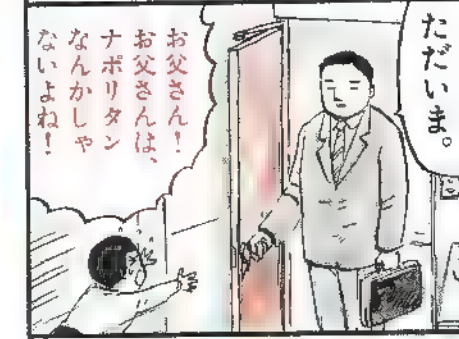
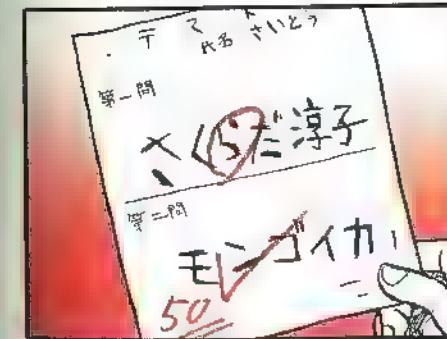


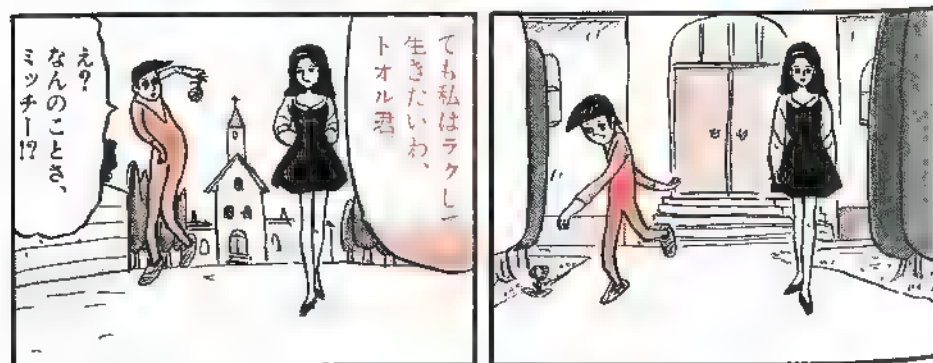
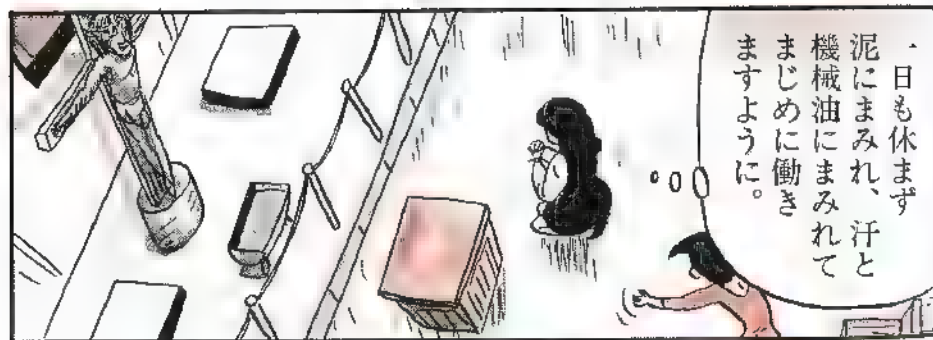
次の日の朝

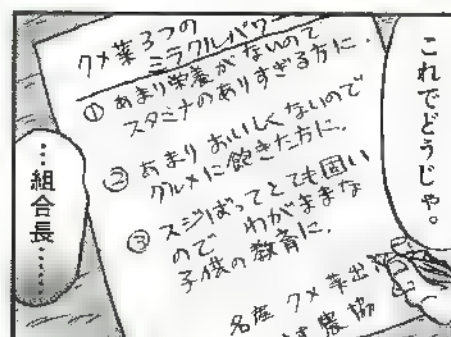
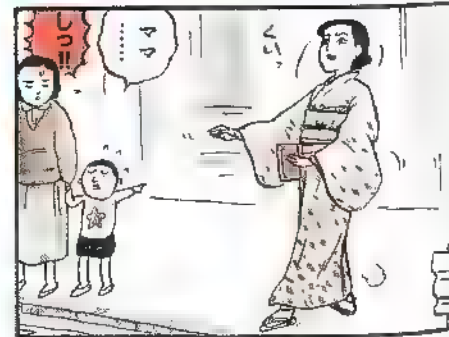
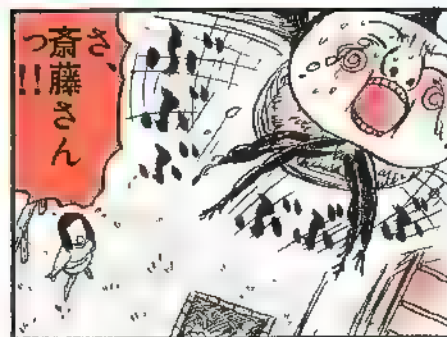
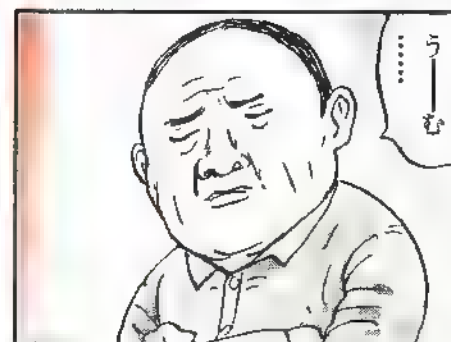
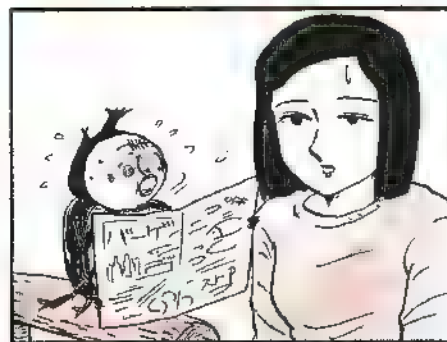
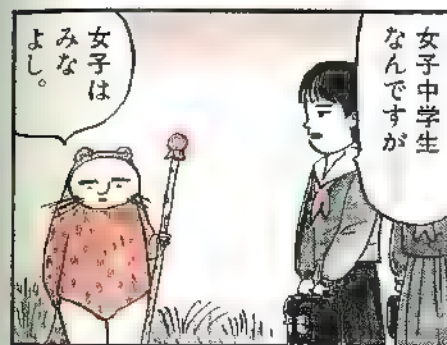
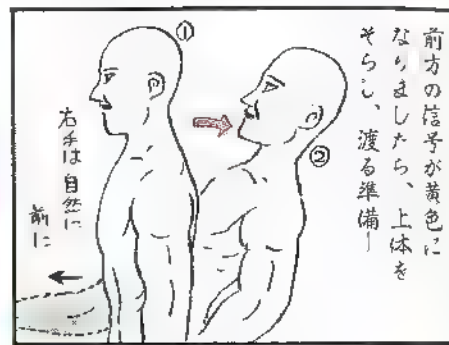
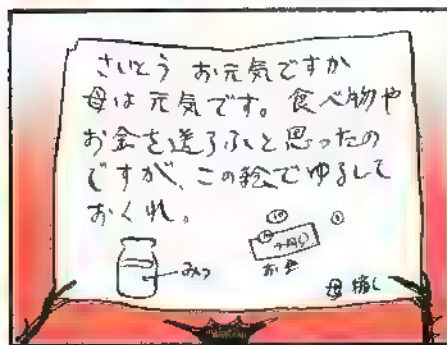
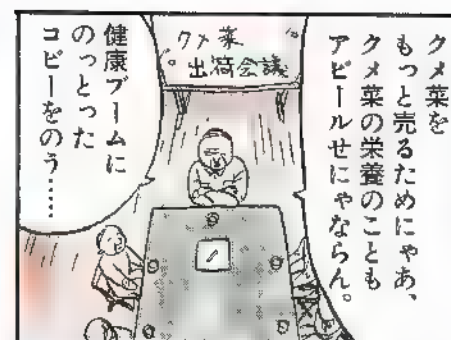
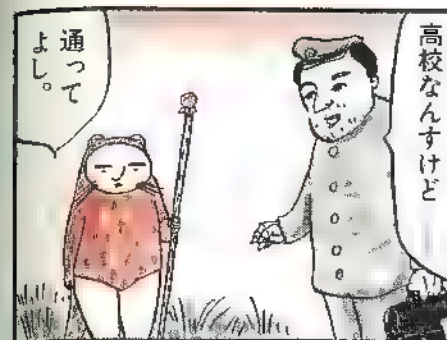
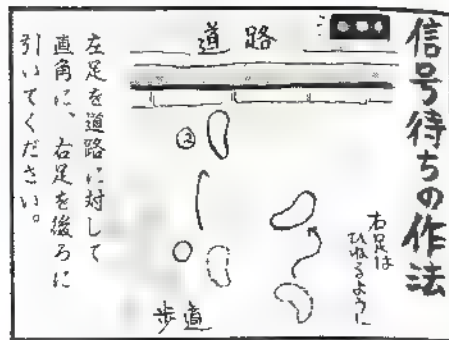
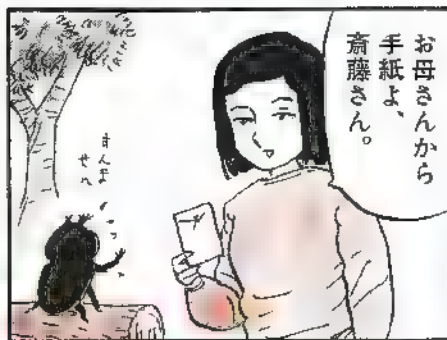


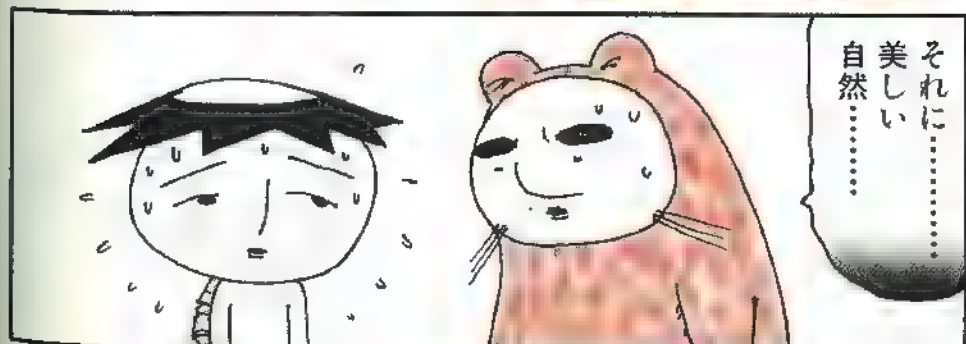
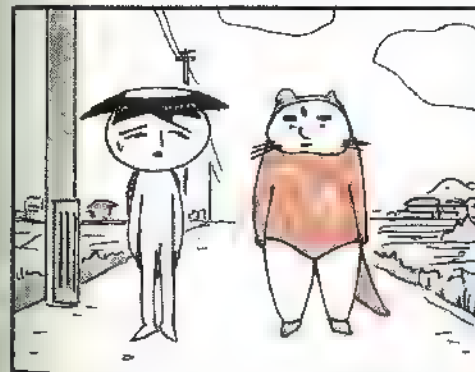
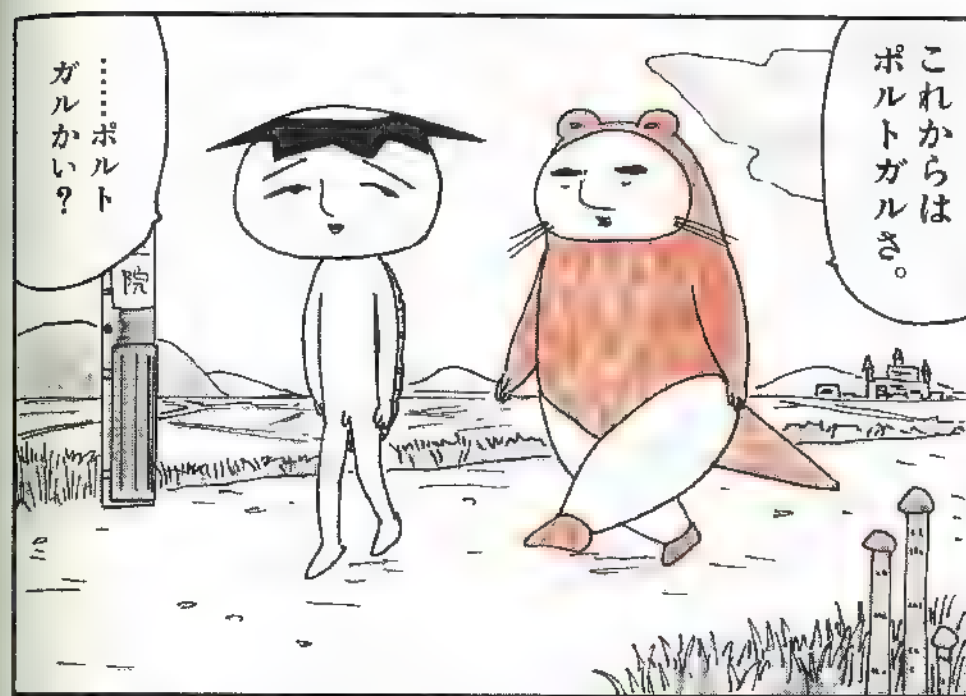


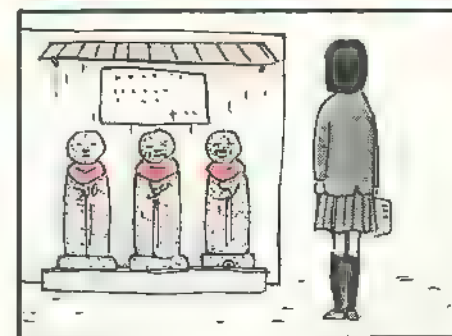
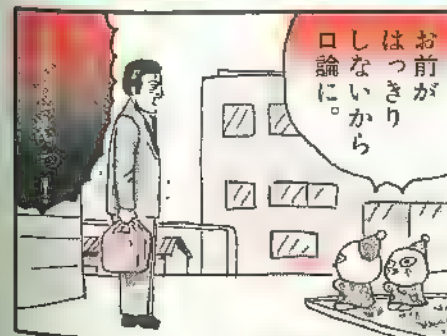
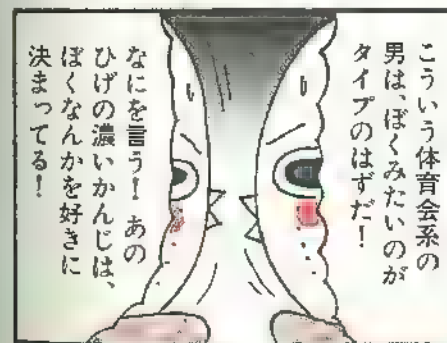
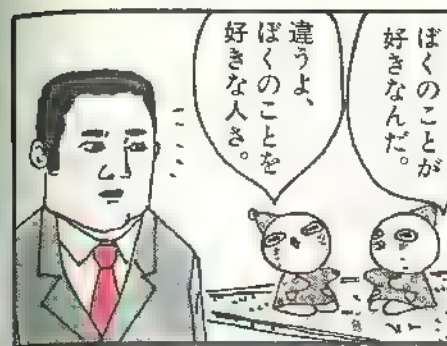
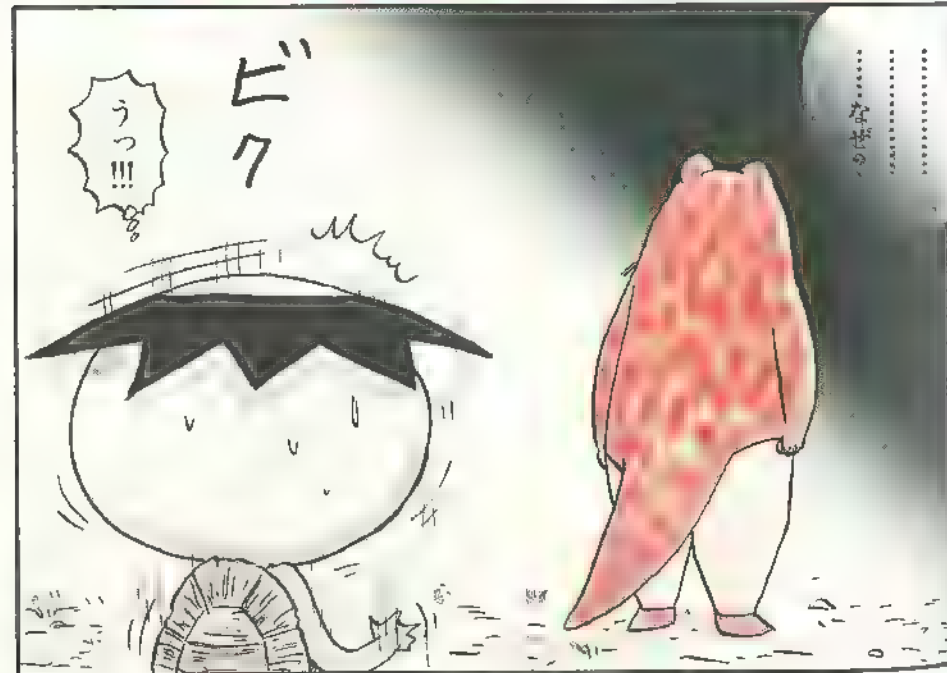
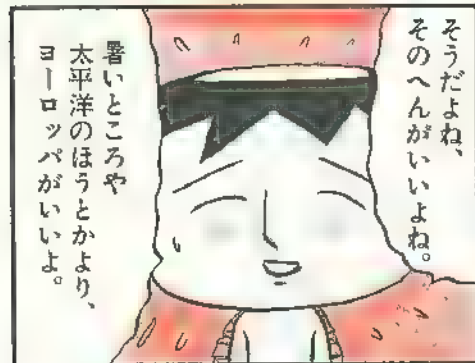
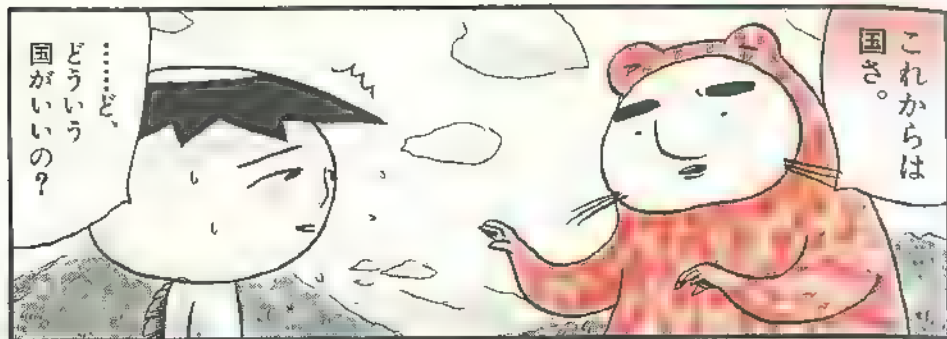


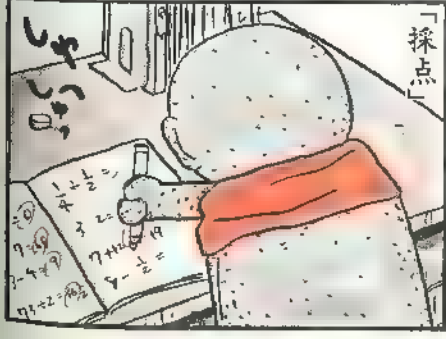
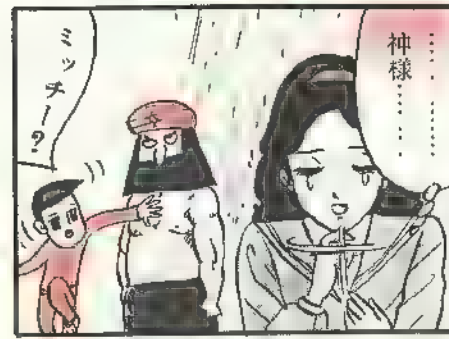
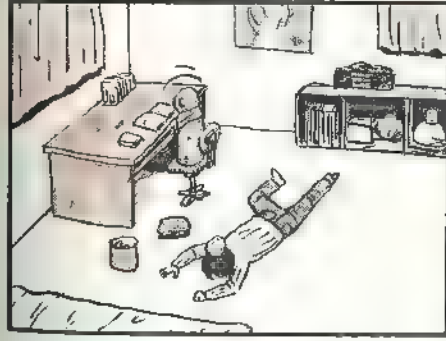
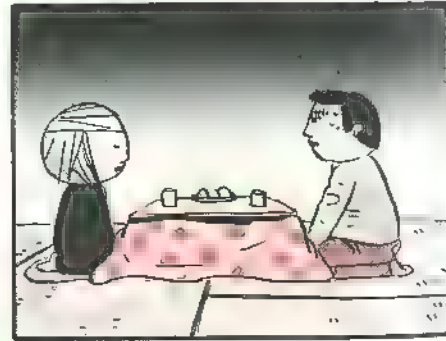
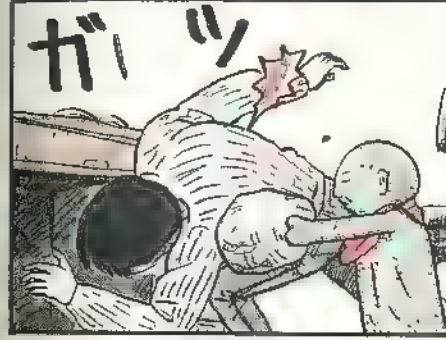
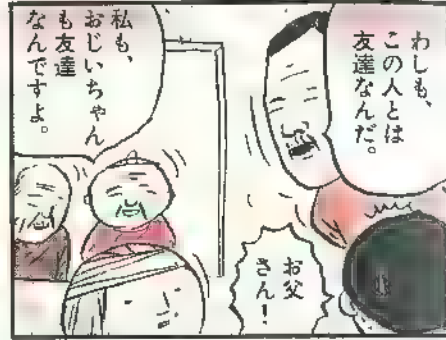
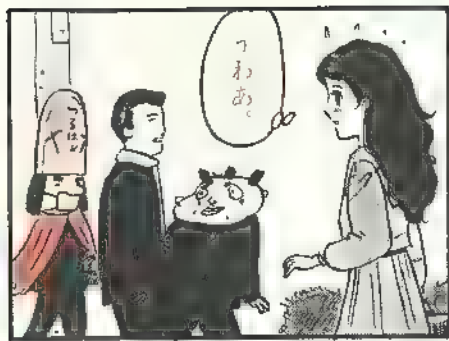


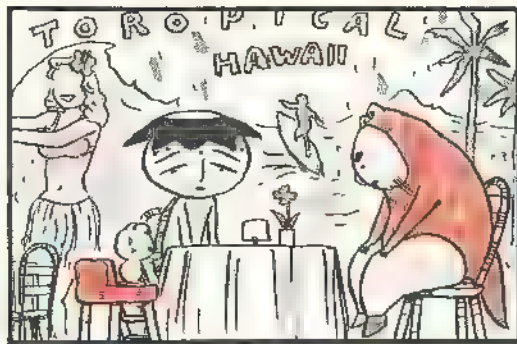




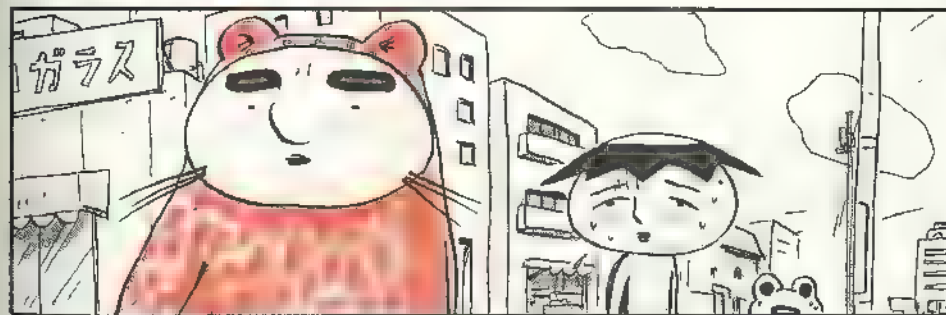
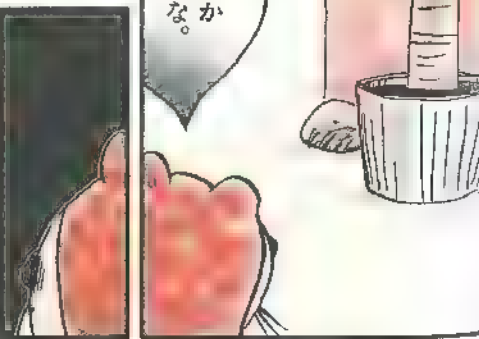
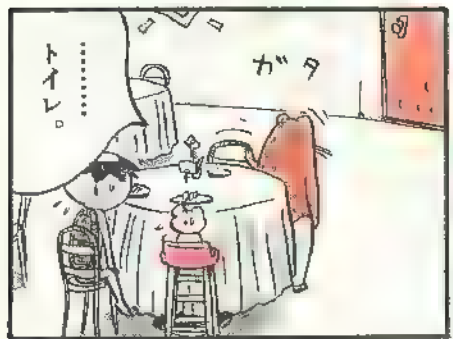
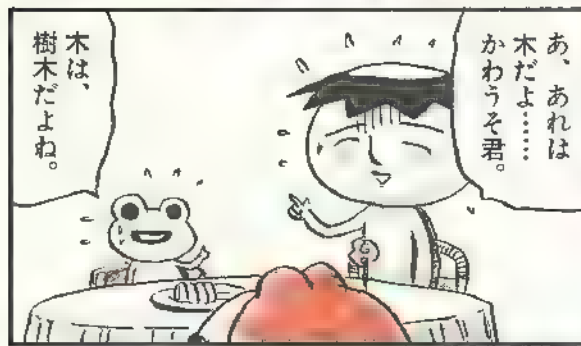
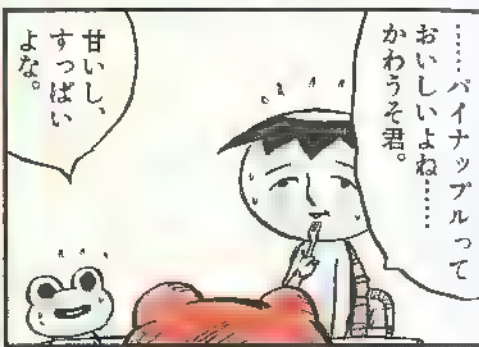
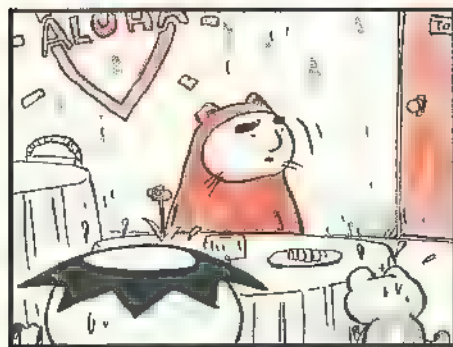


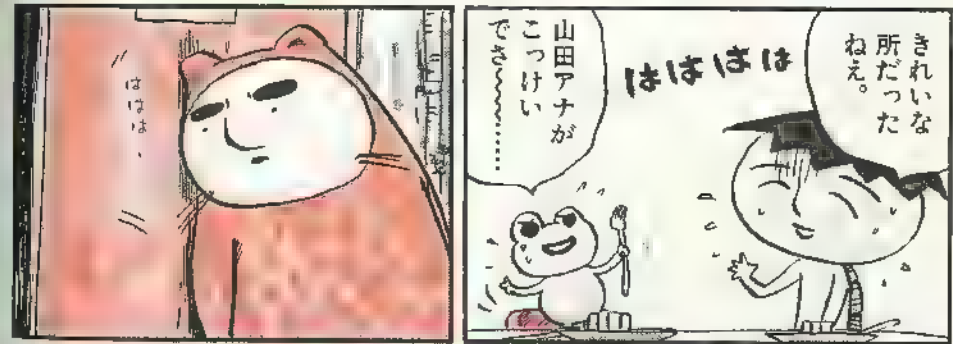
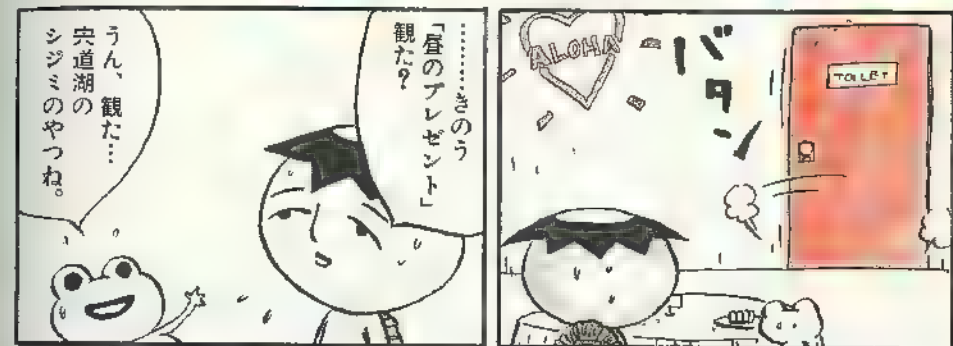
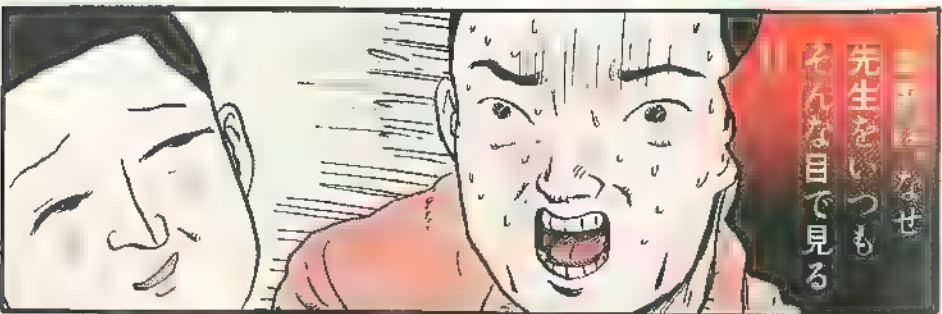
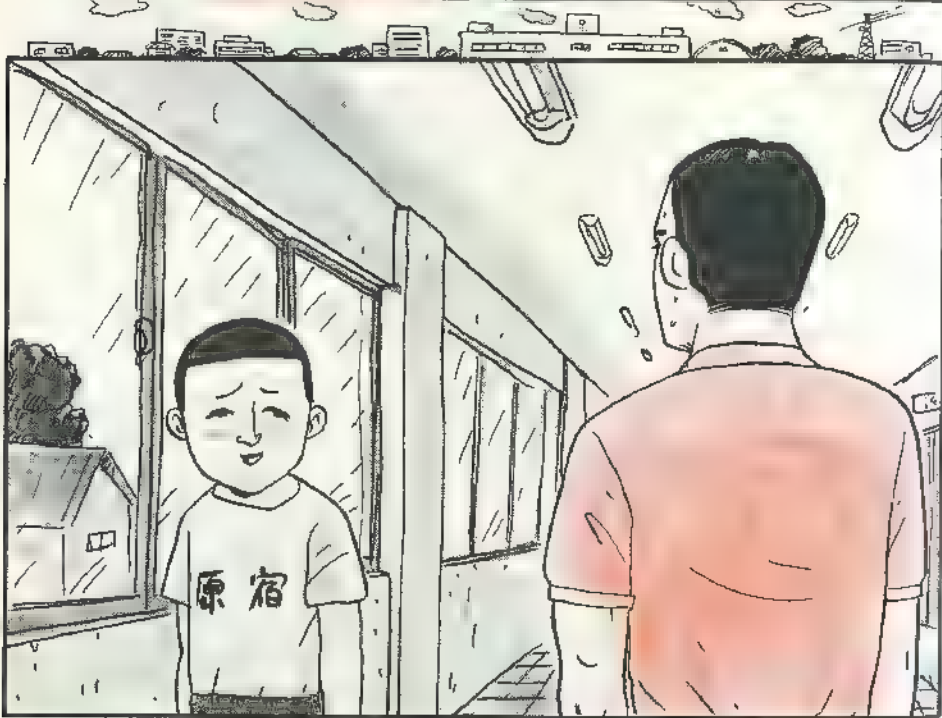
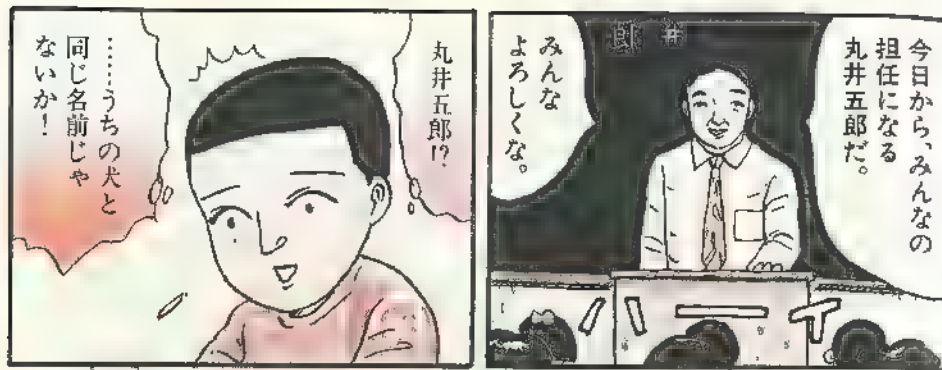


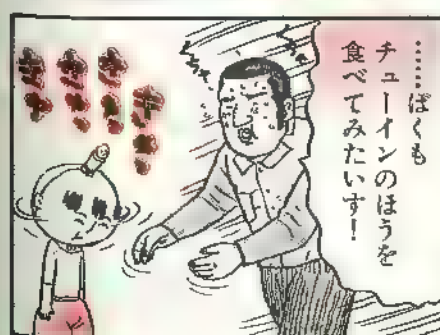
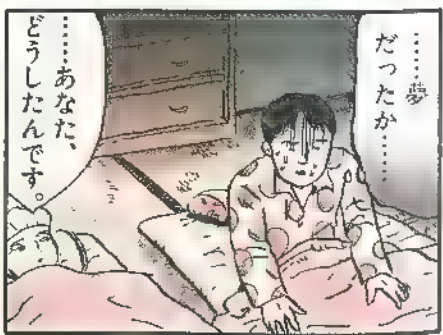
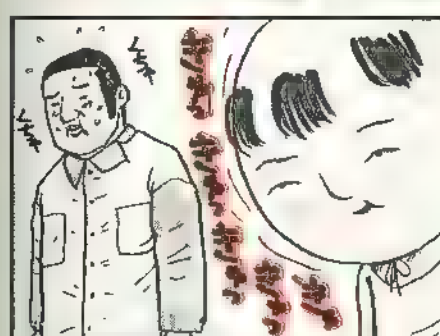
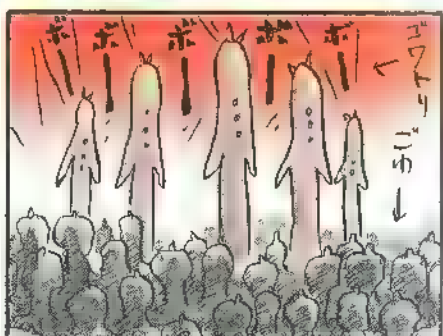
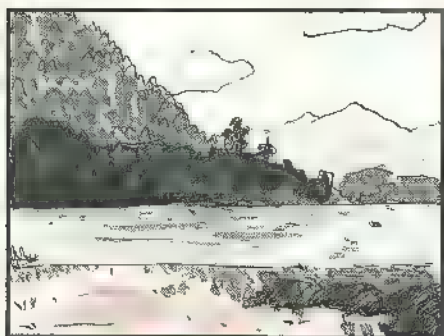
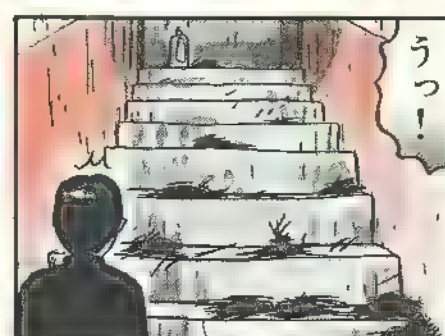
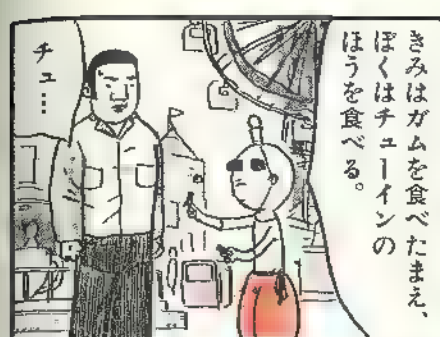




ハワイランチ	6000円
ホノルルセット	7900円
アロハライス	2200円
直営ハワイディナー	2900円
島腰ミノ	1900円
日枝汁	1200円
パイナップル	350円
パイナップルジュース	400円
ハワイザー	500円





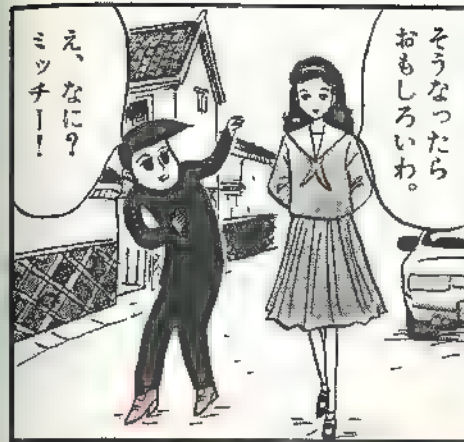


ベドロ君が、私と
トオル君の仲を
嫉妬し、
私をいじめに
米ますように……



そうになったら
おもしろいわ。

え、なに？
ミッチー！



またソースか？
貸してもいいが、
きみいつもすごく
使うからなあ！

す、
すみません
……気を
つけます。



まったく安藤課長は
せこいんだからよ。

楠課長の
ソース
うんちくに
くらべりや、
安藤課長の
ほうが
まだマシさ。



どうしても
吐かない気か!?
……よし……



バタン



け、刑事さん、あんた
血液型を調べに!?



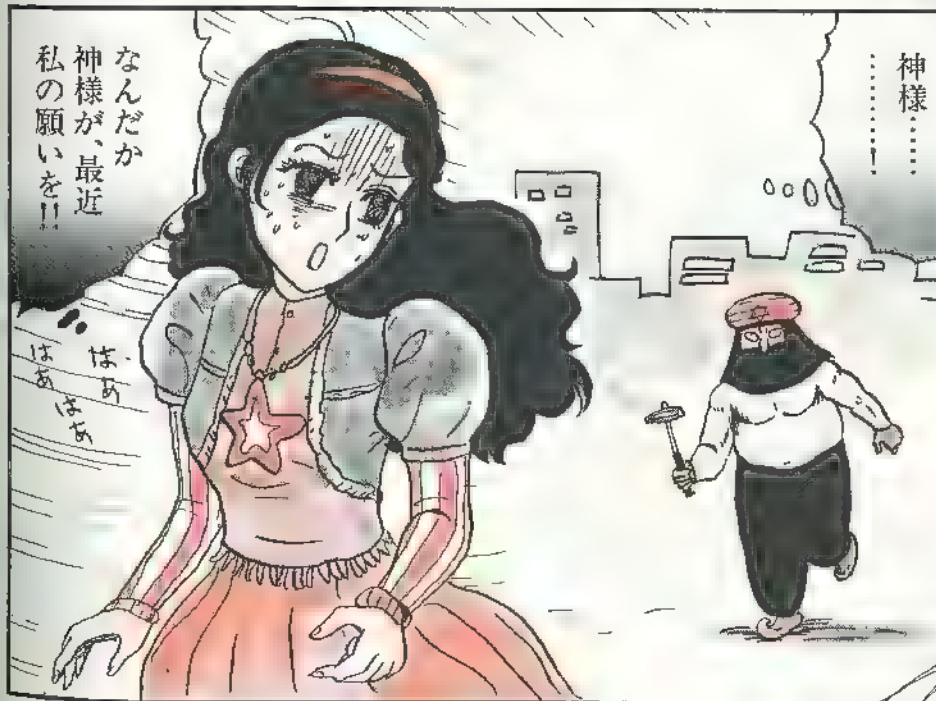
村井部長は？
あの人は、
気持ちよく
ソース貸して
くれそうじゃない。



おれの血が何型か
知りたければ、
白状しろ。

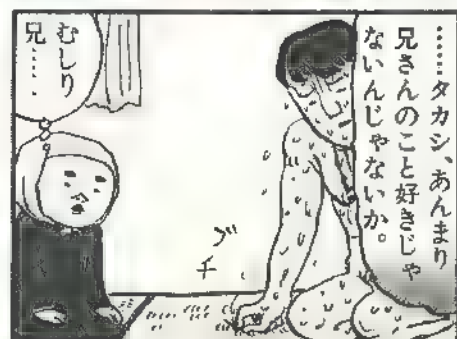
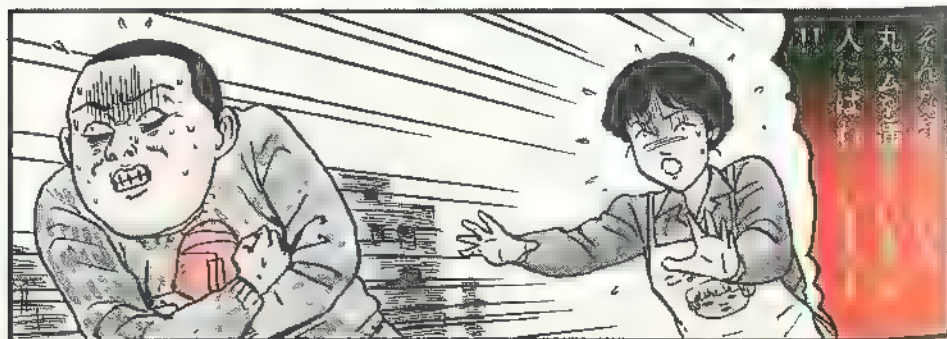
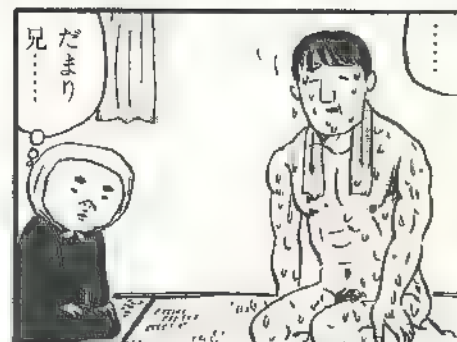
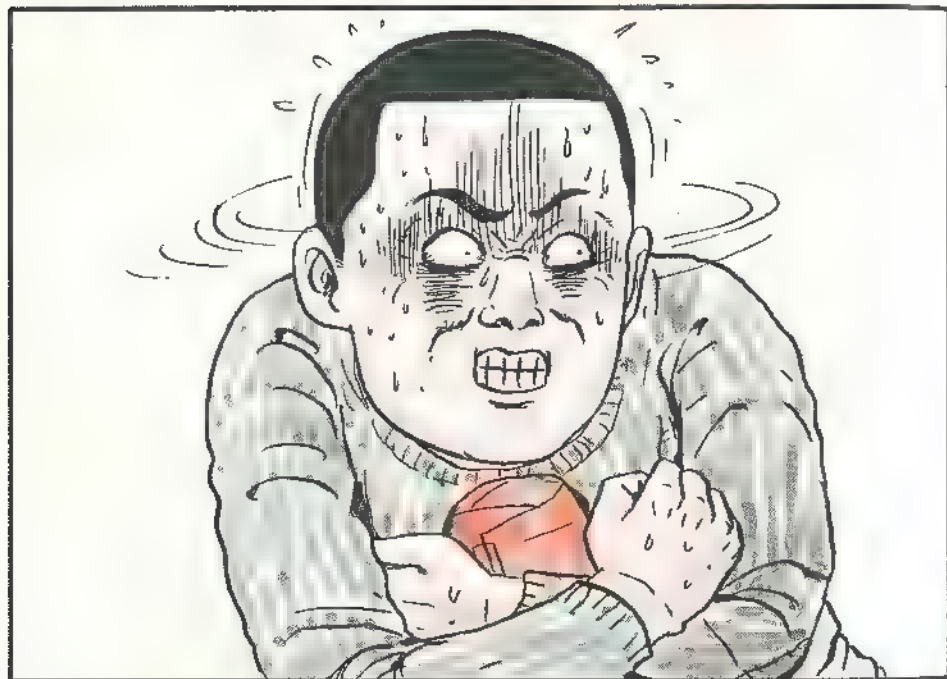
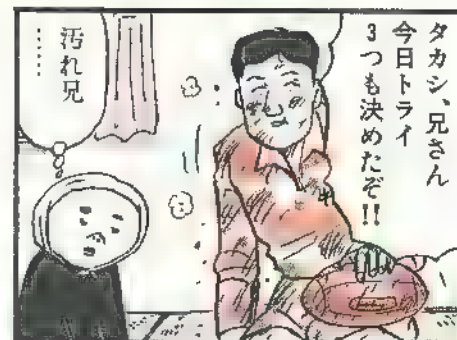
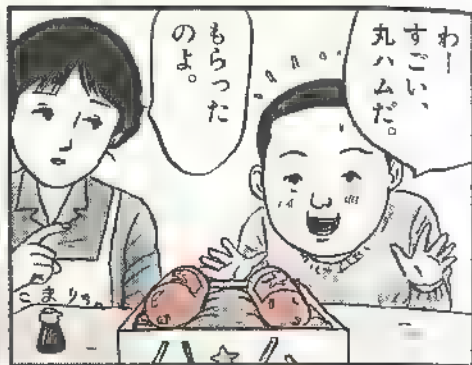


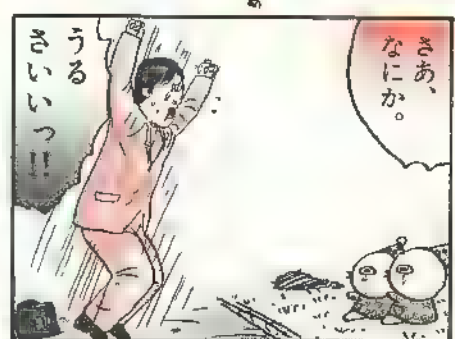
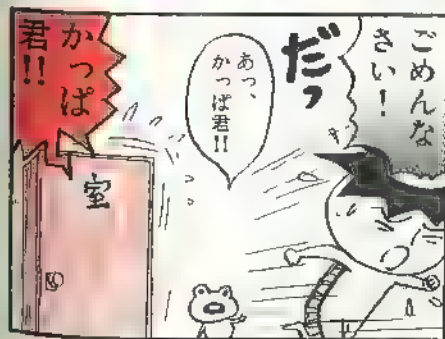
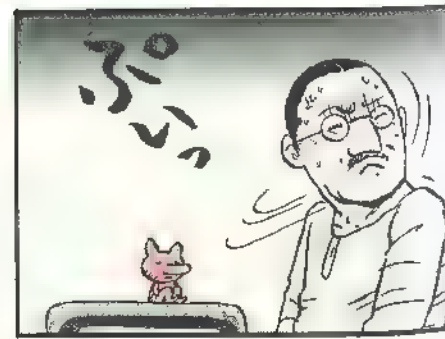
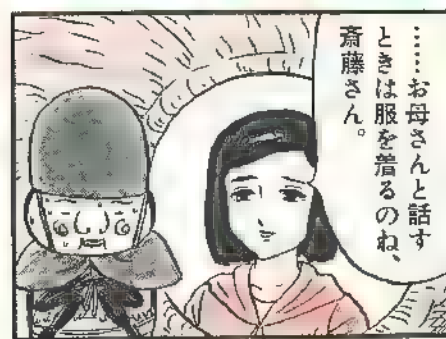
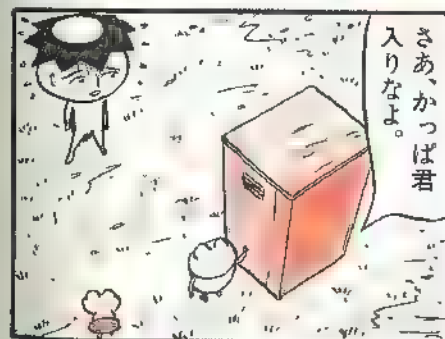
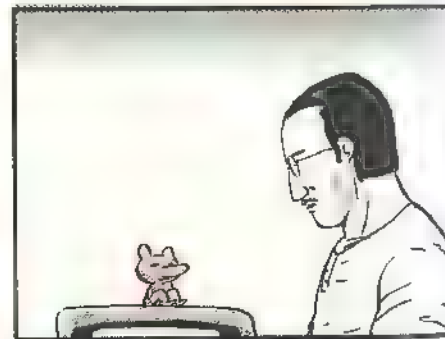
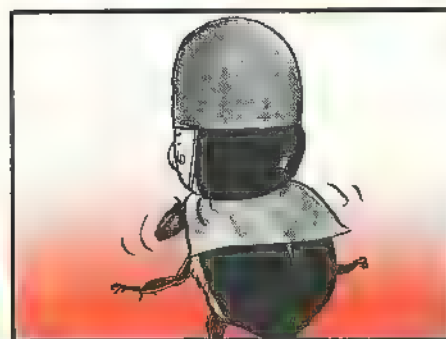
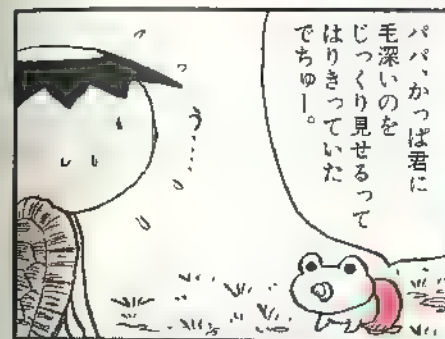
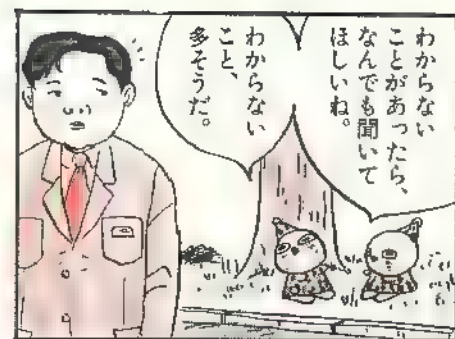
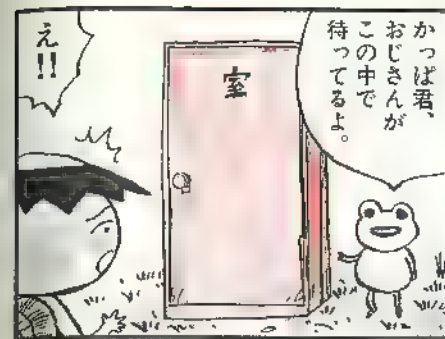
なんだか
神様が、最近
私の願いを!!

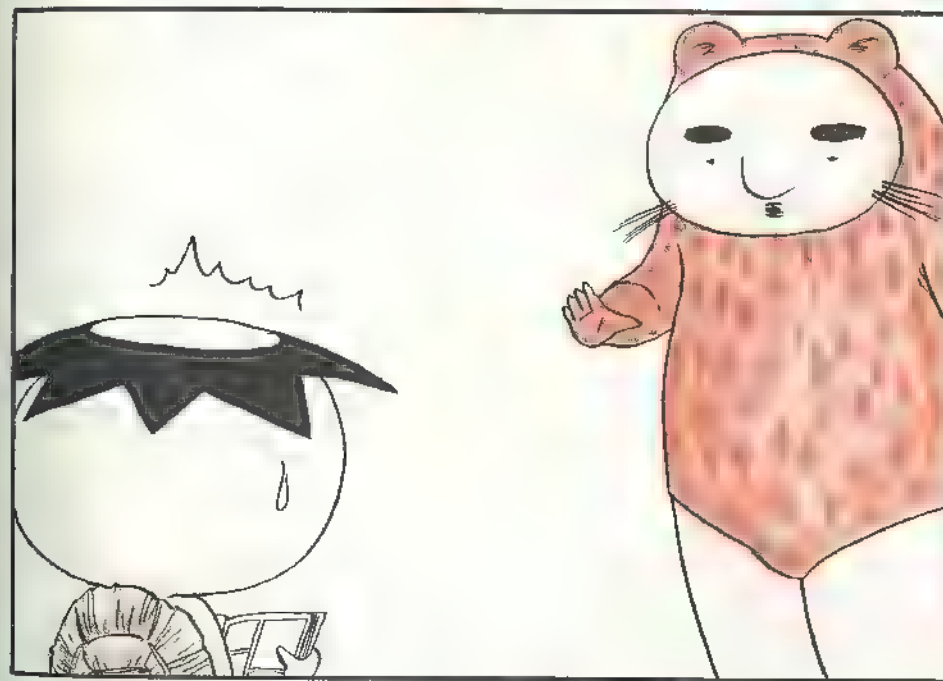
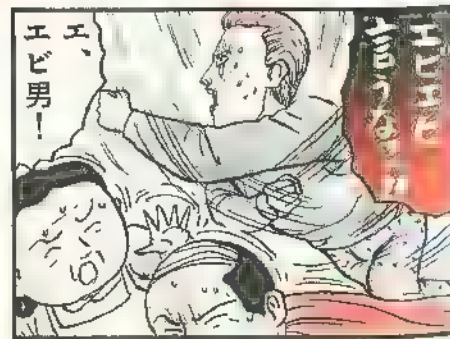
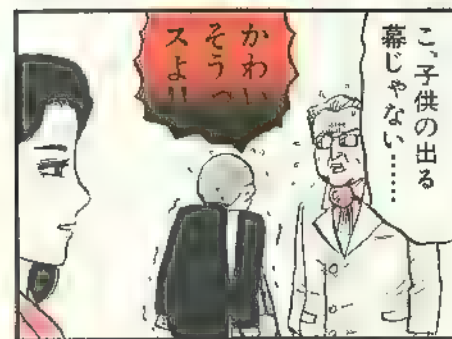
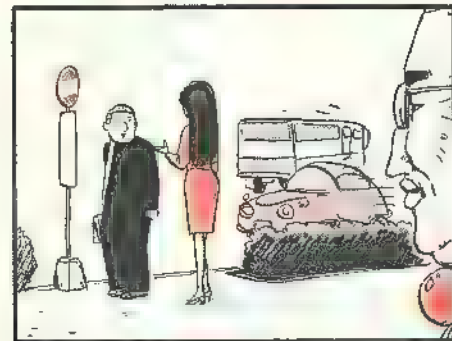


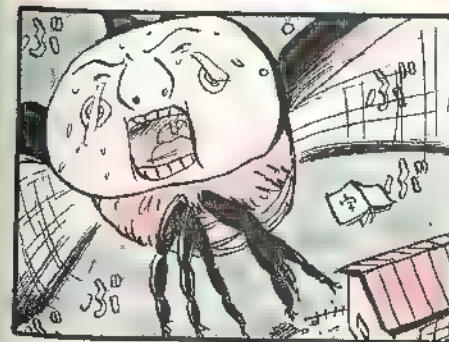
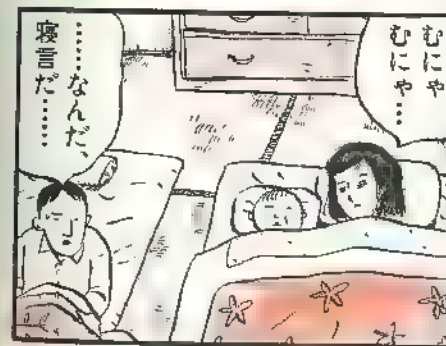
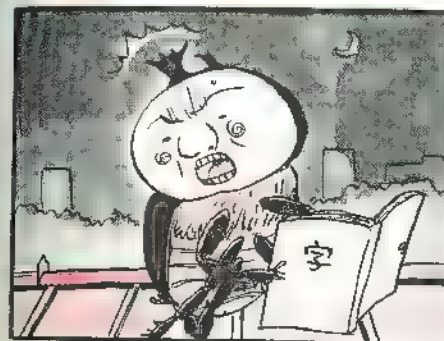
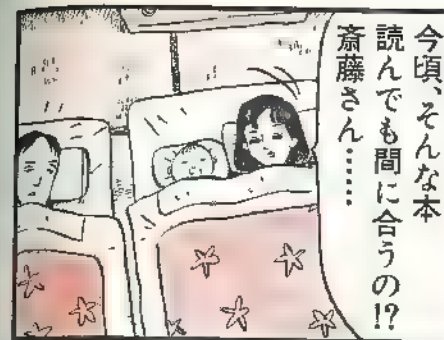
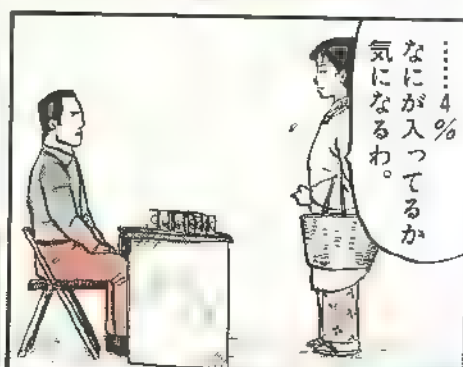
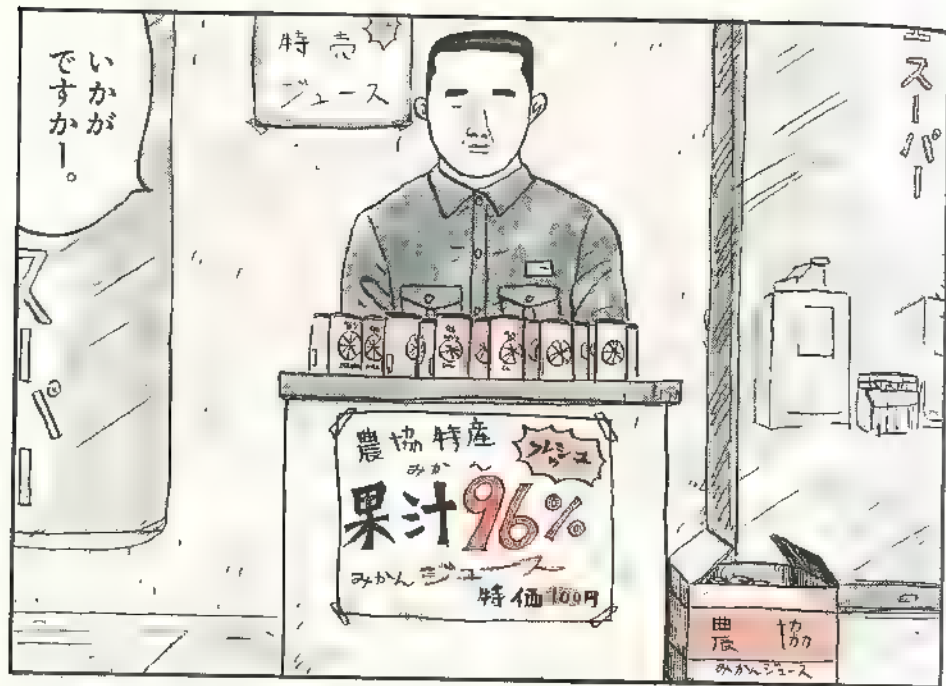
……
神様……
……!

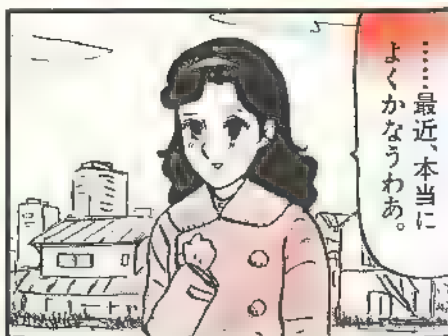
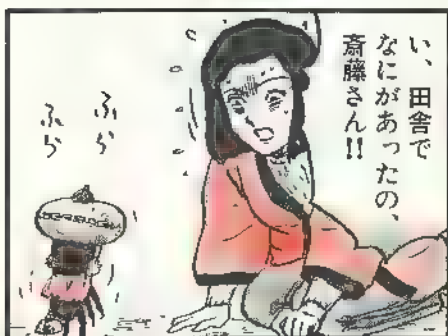
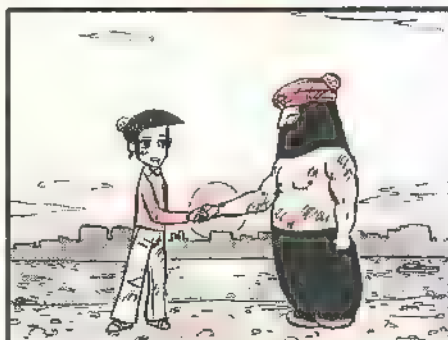
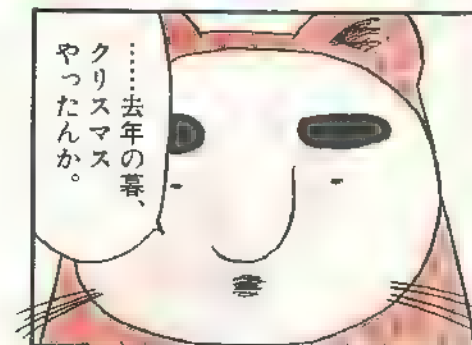
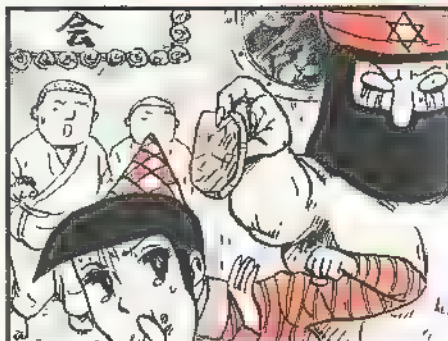
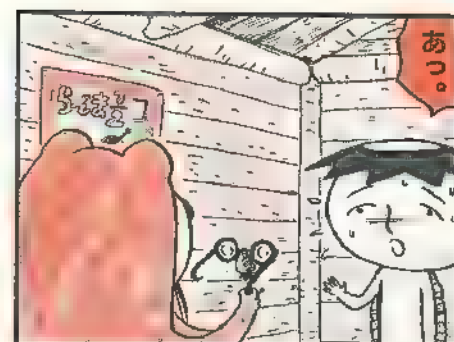
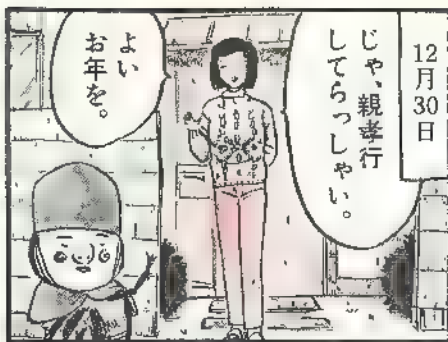
はあ
はあ
はあ

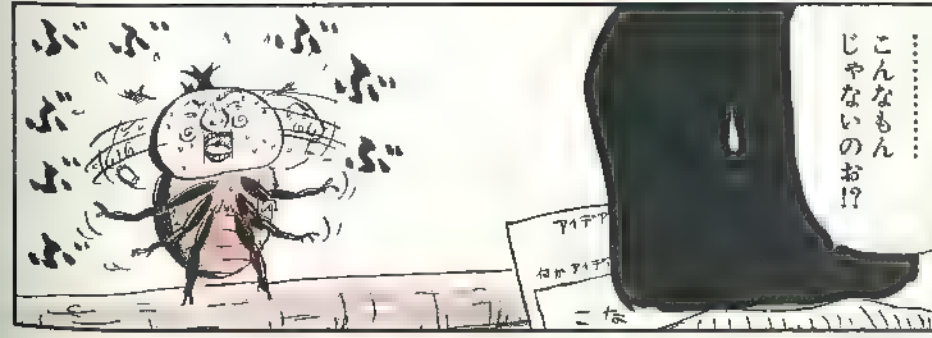
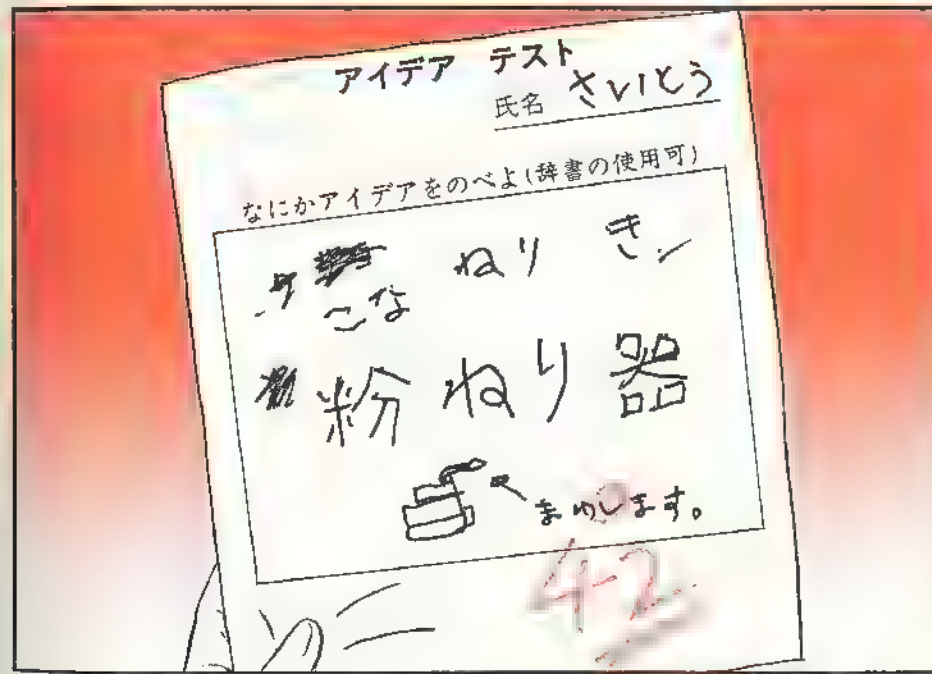
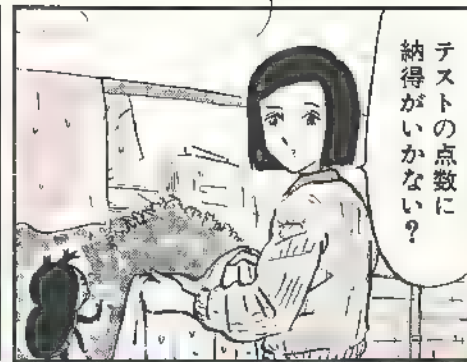
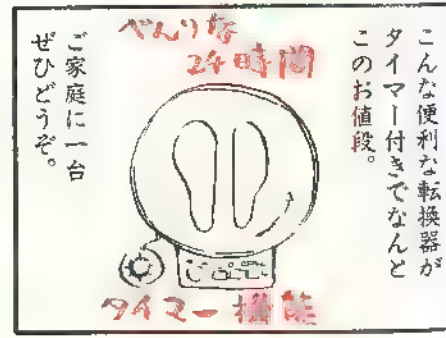
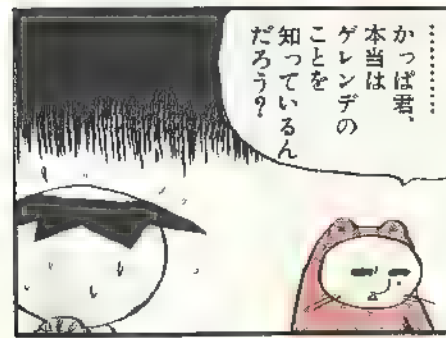
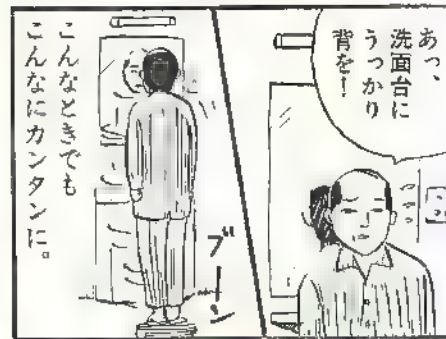
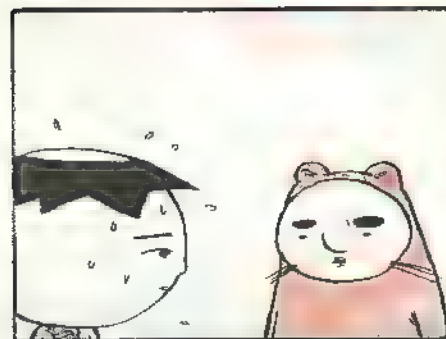
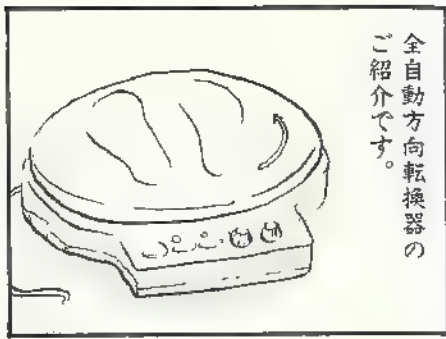


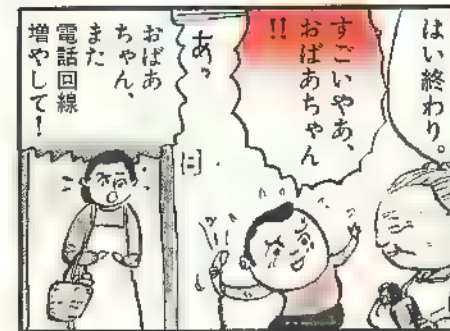
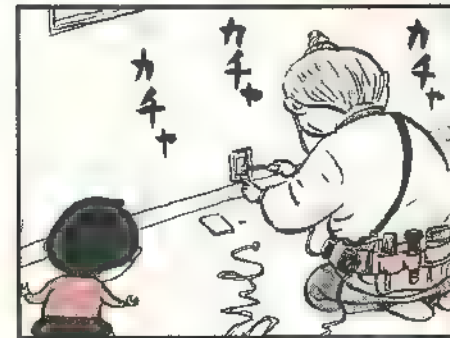
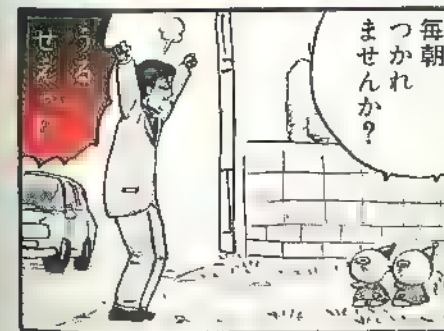
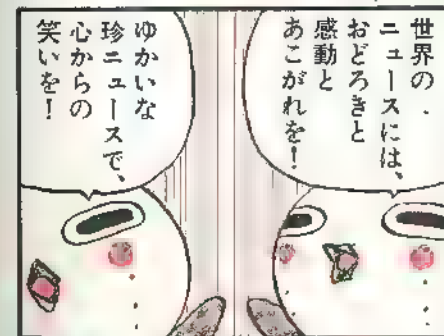
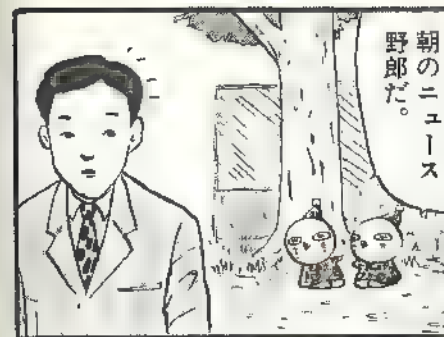
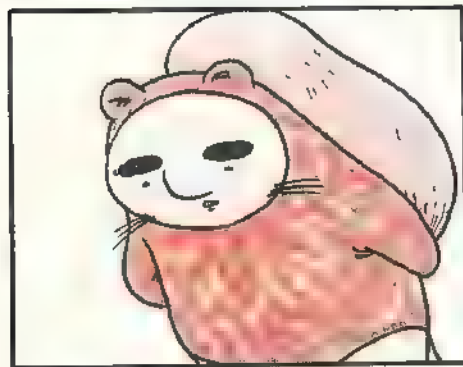
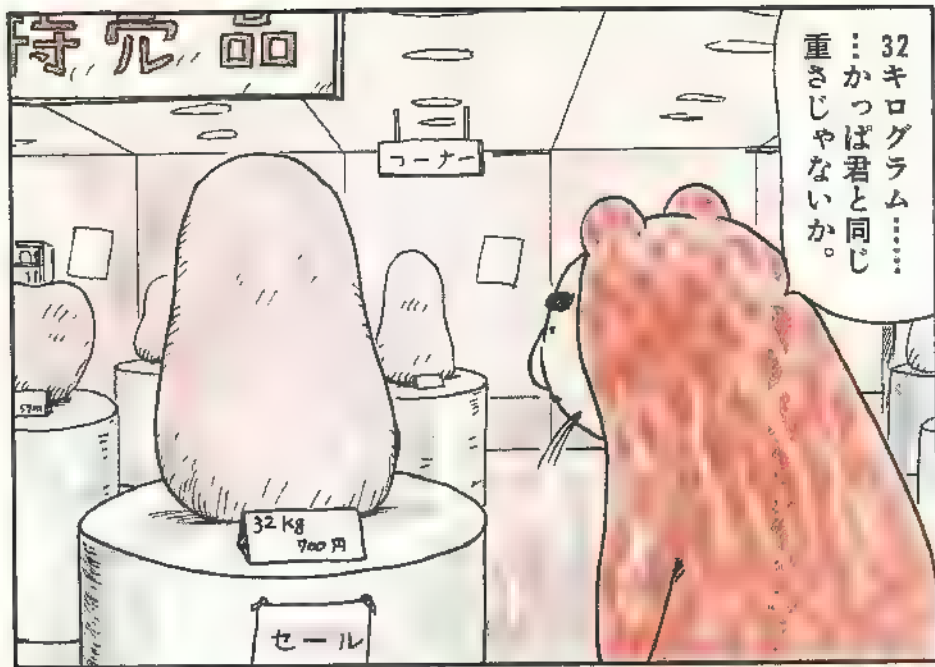


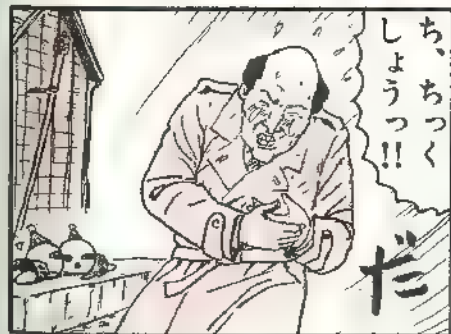
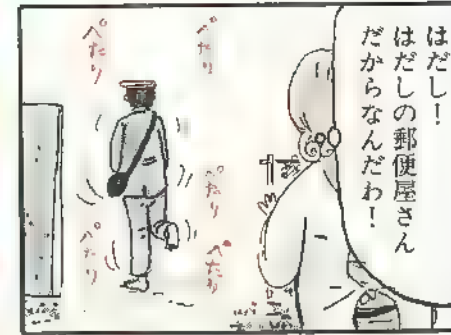
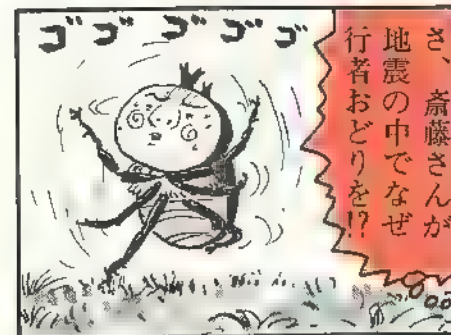
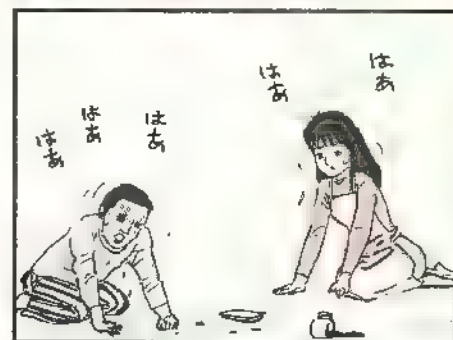
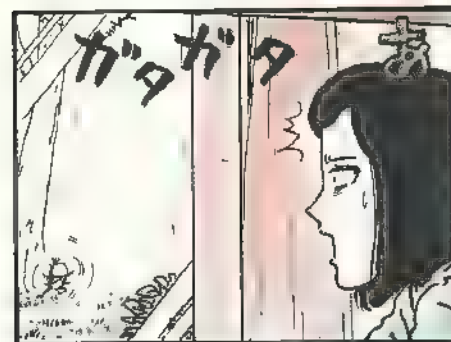
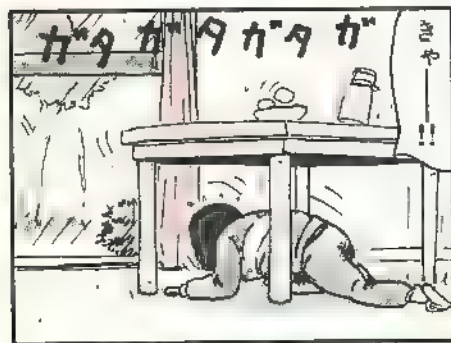
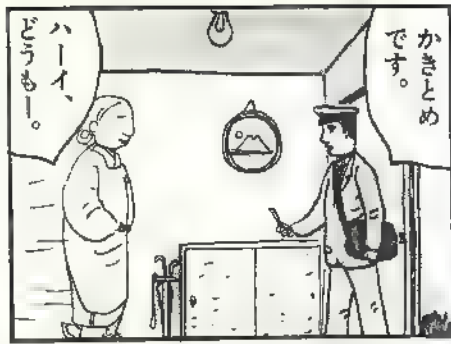


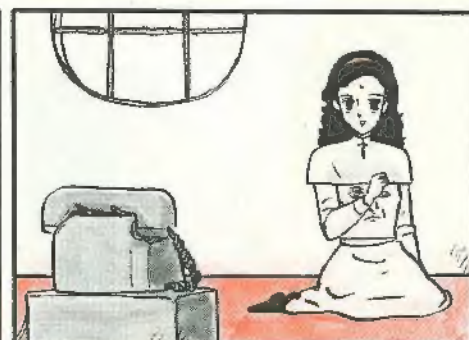
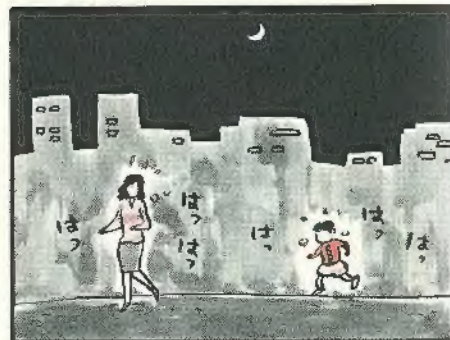
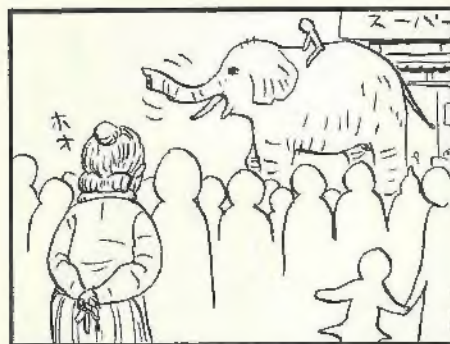
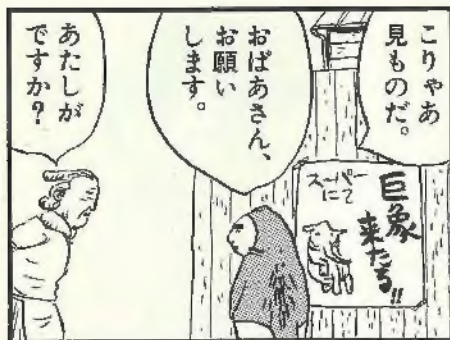


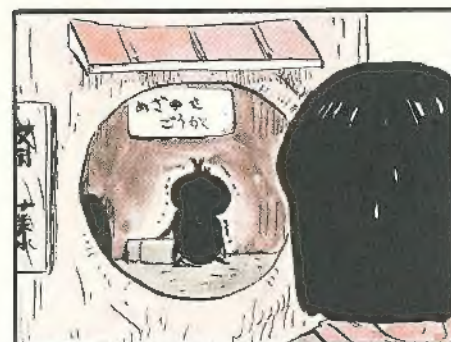
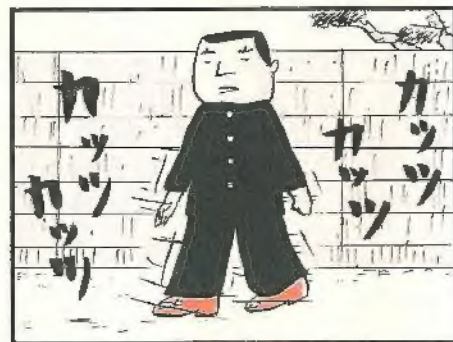
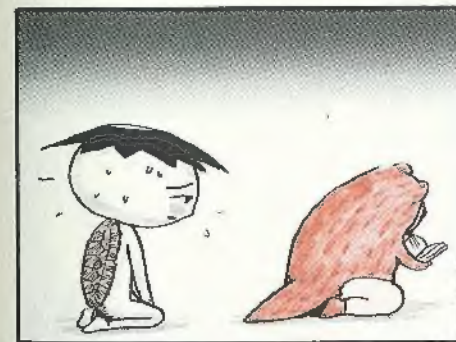
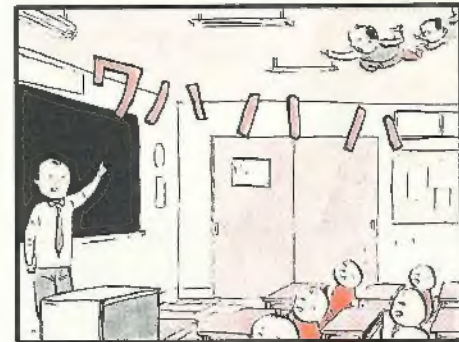












かわうそ国



(あ) と が き

かわうそを思いついたのは、平成元年の六月頃のことだった。

これが、その時の絵だ。(X)

実はスピリッツ用ではなく、他の漫画用に物を考えていて、ふと出てきた。

それを「伝染るんです」で使うことになったのは、当時の担当の江上に見られたからだだった。

なぜ見られたかというと、日記によるとこの絵を描いた少し後、六月二十九日に、中川いさみ、さくらももこなどと初めて会う機会があり、そこで中川の使っていたコースターに「こういうものを考えた」と言って描いた時に江上が横にいたからである。

この時、見られていなければ、かわうそは「伝染るんです」には出てこなかった、と思えば、見られて本当によかったのだ。

でもこの「かわうそ国」とやらのお話も、もし描いていたらどういうふうになったのだろうと、少し興味がないでもない。

さて、この第二巻が、前巻にくらべるときつちりしたこと全員お気づきだろうと思う。

第一巻の時は、でたための限りを尽くすのが気持ちよかったが、第二巻では、きつちりすることがよくなったからだ。

全員に「ほう、きつちりしたね」とつぶやいてニッコリほえんでもらえれば幸せである。

きつちりするにあたり、前巻の祖父江慎氏に替わりデザインを担当してくださった、貫一に心からお礼を申し上げたい。

そして全員にもありがとうと言いたい。

平成三年十月二十八日(月曜日)

吉田戦車

